

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

2015 年度学校評価報告書



2016 年 3 月

目 次

1	本校の概要	1
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
3	アンケートの実施状況について	6
4	アンケート結果の分析	7
	◆中高教員対象（組織・個人）学校評価	
	◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
	◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	10
6	校長の意見書	13
7	アンケート結果（参考資料）	14

1 本校の概要

(1) 沿革

- ① 1922 年 6 月 5 日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから 3 年後の 1925 年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身であり、北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1946 年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008 年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010 年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2016 年の 4 月には関西大学北陽高等学校第 9 期生、関西大学北陽中学校第 8 期生の入学式が行われる。

(2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者と共に生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：学ぶ力の向上について 達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 「自ら考え判断する力」を養うための教育内容・方法の改善 【評価指標】 ・科学技術振興機構の科学研究実践活動推進プログラムに応募する。 ・高3理系において、外部模試の物理・化学の成績を全国平均以上とする。	【取組状況 (Do) (Do)】 「考え判断させる」授業を通して、生徒に知的好奇心を喚起させる。その第一歩として理科教育において「サイエンスパートナーシッププログラム」「科学部振興プログラム」の更なる充実と英語のネイティブスピーカーとのコラボレーション授業など新しい取組を実施した。また、これらの取組によって、目に見える学力である確かな学力の向上を図った。 【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・科学研究実践活動推進プログラムに応募したが、広い分野から課題を発見する取組でなかったため採択されなかった。(△) ・外部模試3回の物理の平均偏差値 50.7 (○) 化学の平均偏差値 54.8 (◎) で目標を達成した。特に、化学においては、高い学力を身につけさせた。 【今後の改善方策 (Action)】 理科教員全員の参加により、教科での協力体制を強化し、外部機構のプログラムに積極的に応募していく。また、来年度も、外部模試の成績において、全国平均以上を達成すべく放課後の補習や自学自習を通して、下位層の底上げを図る。
イ 英語教育による基礎・基本の徹底と実践的コミュニケーション能力の育成 【評価指標】 ・中学3年の合格目標を英検3級80%とする。 ・高校3年の合格目標を英検2級＝特進アドバンス 65%、特進・文理 15%、準2級＝特進アドバンス 90%、特進・文理 60%とする。	自己評価 【取組状況 (Do)】 ペア、グループ、クラス全体でのアウトプット活動を増やし、英語学習へのモチベーションや達成感、自己肯定感を高めさせた。その具体的な指導法について、関西大学から英語教育アドバイザーの先生をお招きして、授業スキルの向上を図った。また、英検を中1から高3まで自分のレベルに応じて受験し、英語力向上を図るための尺度とした。 【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・中学3年の合格率は、3級70% (△) ・高校3年の合格率は、2級＝特進アドバンス 65% (○)、特進・文理 13% (△) 準2級＝特進アドバンス 93% (○) 特進・文理 57% (△) で、概ね達成している。 【今後の改善方策 (Action)】 中学校では、教材を生徒のレベルにあったものに見直し、進度より定着に重きを置き、基礎・基本を反復練習させる。高校では、課題、小テスト、定期テストについて、波及効果がより大きなものになるよう工夫し、生徒の自立学習を促す。

(2) 重点目標②：希望する進路の実現について

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学へ送り出すこと 【評価指標】 ・ 関西大学への内部推薦の合格率を 90%とする。	【取組状況 (Do)】 関西大学の学部・学科の研究を進め、3 年間を見通した指導計画の策定と必要な情報開示、周知を行った。特に、内部進学に大きく影響する高校 3 年次の外部模試において、生徒に目標を持たせるとともに、模試分析を行い、各教科が対策を立てるために必要な情報を提供した。
	【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・ 北陽中学出身生徒は、内部推薦希望者 102 名中 87 名合格。合格率は 85.3% (△) ・ 高校からの入学生は、内部推薦希望者 179 名中 166 名合格。合格率は 92.7% (○)
	【今後の改善方策 (Action)】 高校からの入学生は、目標を達成したが、中学校からの一貫生は達成できなかった。特に、一貫生は学力差が大きいため、スローラーナーへの対応が重要になってくる。そのような生徒に対して、学力向上を図るため、進路意識を高め、個別指導などを精力的に行う。
イ コースの教育内容を充実させ、生徒の希望が叶う進路の実現	自己評価
【評価指標】 ・ 特進アドバンスクラスから近畿圏を中心に上位国公立大学へ 15 名を含め、合計 20 名の進学。 ・ スポーツコースから、スポーツ推薦、指定校推薦で主要大学へ 40 名の進学。	【取組状況 (Do)】 関西大学の併設校にないコース制のもと、国公立大学への進学を目指す特進コースのアドバンスクラスにおいて、講習の充実と計画的な進路指導を実施した。また、スポーツコースでは、スポーツ推薦だけではなく、指定校推薦での受験に向けて日々の授業を大切に、授業を通して基礎的・基本的な知識を取得させた。
	【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・ 特進アドバンスから大阪大学、神戸大学をはじめ上位国公立大学へ 14 名 (△) その他の大学への合格者 11 名を含め、合計 25 名 (○) 合格。 ・ スポーツコースから早稲田大学、関西大学、立命館大学ほかスポーツ推薦で 20 名、近畿大学、京都産業大学、大阪経済大学ほか指定校推薦で 21 名、主要大学へ合計 41 名が進学 (○)
	【今後の改善方策 (Action)】 特進アドバンスの進路については、概ね目標を達成したが、さらに成果が上がるように、中学のコース別募集なども検討したい。また、スポーツコースにおいては、大学進学後も考えて、シラバスの見直しや補習を通して学力の向上も図りたい。

(3) 重点目標③：生きる力を育み、社会で活躍できる人材の育成について

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 学校行事や生徒会活動の活性化 【評価指標】 ・「学校行事指導体制」項目で保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 80%以上	【取組状況 (Do)】 学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援するとともに、学校と P T A が協力して取り組んだ。 【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・ (高校) 保護者対象アンケート：85% (○) 生徒対象アンケート：80% (○) ・ (中学校) 保護者対象アンケート：81% (○) 生徒対象アンケート：77% (△) 【今後の改善方策 (Action)】 学業だけでなく学校行事や生徒会活動に積極的に関わるという学校方針が浸透してきて、高い肯定率となった。生徒が、さらに主体的に取り組める体制を作っていきたい。ただ、中学生は、アンケート結果から、行事の準備などに負担を感じているように思われる。この点は、行事のスケジュールリングなどを見直し、余裕を持って取り組める環境づくりを進めていく。
イ クラブ活動の充実 【評価指標】 ・「部活動支援」項目で、 (高校) 保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 80%以上 (中学校) 保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 70%以上	自己評価 【取組状況 (Do)】 生徒が心身ともに成長できるように、クラブ活動を通して計画的に指導支援し、達成感や自尊感情を育んだ。活動場所となる新体育館、人工芝グラウンドが効率的に使用できるように各クラブに割り当てるなど活動の場を工夫した。 【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・ (高校) 保護者対象アンケート：81% (○) 生徒対象アンケート：78% (△) ・ (中学校) 保護者対象アンケート：69% (△) 生徒対象アンケート：68% (△) 【今後の改善方策 (Action)】 高校に比べ中学校のクラブ数が少ないため、肯定率の目標値に差を設けた。その中でも、中学校は、目標値に届かず改善の余地がある。活動場所、教員数の関係でクラブ数を増やすことは出来ないが、放課後、補習を受けたり、個別指導に時間を取られないように指導法を見直し、勉強とクラブが両立できるようにする。

(4) 重点目標④：学校の組織力の向上と活性化について

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 教職員間における連携の強化 【評価指標】 ・「教職員間連携」における関連項目で、教員対象アンケート肯定率 70%以上	【取組状況 (Do)】 管理職と教員あるいは教職員同士の間で、面談などを通して信頼関係を築く努力を行った。主任（学年、分掌、教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営の活性化を図った。
	【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・管理職と教員、教員同士の連携 (組織面) 教員アンケート：61% (△) (個人面) 教員アンケート：83% (◎) ・ミドルマネジメントによる組織運営 (組織面) 教員アンケート：71% (○)
	【今後の改善方策 (Action)】 管理職と教員、教員同士の連携において、ここ数年、組織面と個人の意識の面で大きな乖離が見られたが、今年度は、その幅が縮小した。しかし、組織面で目標達成に至らなかった。今後も、メンバーの特性にあった役割分担と各自の役割に責任を負う体制作り、情報共有を進め、各担当チーフのもと業務を行うなど組織化を図っていく。また、教員が掲げた自己目標の達成状況と課題を、面談を通して、確認、解決し、信頼関係を築いていく。
イ 会議の有効性を高める 【評価指標】 ・「会議の有効性」における関連項目で、教員対象アンケート肯定率 70%以上	自己評価
	【取組状況 (Do)】 有効でない会議を減らし、職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営できるようにした。教員は、それぞれの立場にこだわらず、常に学校全体の立場から意見交換を行うようにした。
	【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・会議の有効性 (組織面) 教員アンケート：64% (△) (個人面) 教員アンケート：86% (◎)
	【今後の改善方策 (Action)】 会議の有効性において、組織面の肯定率は、昨年度 50%であった。既存の組織の会議を活性化するため、プロジェクトなど期間限定の組織を解体し、会議の数を減らしたため、今年度は、64%と目標達成には至らなかったが、改善が見られた。これからは、管理職から主任、主任から若手教員に権限を委譲し、さらに建設的な意見が出される会議体にしていきたい。

3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

- ① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を 14 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ② 「保護者対象」及び「生徒対象」ともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ 13 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③ 上記の 3 種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクするように工夫を行った。
- ④ 「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

I 教員対象学校評価

「個人」及び「組織」 12 月 11 日（金）～12 月 22 日（火）

II 保護者対象学校評価

高校 3 年 1 月 8 日（金）～1 月 27 日（水）

高校 1・2 年及び中学校 1 月 8 日（金）～1 月 19 日（火）

III 生徒対象

全学年 1 月 27 日（水）

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、2 月中旬に評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見を「自己点検・評価委員による分析」にまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4 アンケート結果の分析

◆ 中高教員対象（組織・個人）学校評価

（１）概括的な分析

教員が北陽を組織として見た場合、「学校運営が組織として十分に機能していない、教員間の連携が弱い」などのように、組織としての評価は極めて低い。ところが一方で、教員が個人として自己評価した場合には逆に極めて高く、組織と個人の乖離が大きいというのが本校の自己評価の最近の特徴であった。その傾向は基本的には今年も変わらない。しかし、組織面の自己評価については、全ての項目で上昇しており、また、個人面の自己評価についても、3項目を除いて上昇している。組織面が平均で 0.21、個人面が平均で 0.09 上昇しており、その乖離は、今年度、縮まっている。少しずつであるが、職場が組織的に機能し始めたといえるのではないかな。

＊「組織」と「個人」の平均値の差

2013 年：0.38 2014 年：0.35 2015 年：0.23

（２）組織面の自己評価「教職員間連携」の分析

①管理職と教員、教員間の連携

管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。

2013 年：1.94 2014 年：2.20 2015 年：2.59

②ミドルマネジメントの組織運営

主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。

2013 年：2.10 2014 年：2.39 2015 年：2.76

③会議の有効性

職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。

2013 年：2.28 2014 年：2.54 2015 年：2.73

（３）教育内容「知徳体」の分析

昨年度、組織面のすべての項目で下降し、また、組織面だけでなく個人面も低下していたが、今年度、個人面の項目の人権教育の指導体制以外、上昇した。管理職と教員、教員間の連携、ミドルマネジメントの組織運営がなされつつある結果だと考える。いずれも 2013 年→2014 年→2015 年の順に記載している。

〔例〕スローラーナーへの対応

（組織）2.63 → 2.57 → 2.59 （個人）2.81 → 2.69 → 2.86

（４）生徒支援の分析

昨年度、組織面のすべての項目で上昇したが、個人面は低下した。しかし、今年度、個人面も上昇した。この項目においても、管理職と教員、教員間の連携、ミドルマネジメントの組織運営がなされつつある結果だと考える。いずれも 2013 年→2014 年→2015 年の順に記載している。

〔例〕学校行事指導体制

（組織）2.93 → 3.06 → 3.07 （個人）3.13 → 3.03 → 3.30

（５）その他

個人面の自己評価で下降した項目は次のとおりである。

- ①危機管理の初動対応（3.09） ②人権に対する指導体制（3.05） ③教員研修（2.88）

①、②に関しては、高止まりしているが、教員研修においては、各分掌がテーマを持って研修を企画し、中長期の計画を立て教員のスキルアップを図っていきたい。

◆ 高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①満足度（学園生活）

保護者：2012年度以降、評価は3.30～3.37と高い。

生徒：2013年度以降、評価は2.94～2.98と高くなっている。

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：例年通り大きな変化なく評価は高い。

生徒：2012年度以降、評価は下降していたが、2015年度は少し回復した。

③知育（学力向上における組織的な取組み）

保護者：2012年度以降、ほとんど変化がない。（2.88～2.91）

生徒：2012年度より昨年度まではほとんど変化がないが、2015年度は評価が少し高くなった。

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2012年度以降、ほとんど変化がない。（2.70～2.72）

生徒：2013年度より2015年度にかけて、評価が上昇傾向である。

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2012年度以降、ほとんど変化がない。（3.18～3.22）

生徒：2012年度以降、評価は徐々に上昇傾向である。

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：2012年度以降、評価は大きな変化はない。（2.82～2.86）

生徒：2012年度以降、評価は徐々に上昇傾向である。

⑦⑧生徒会活動（部活動支援状況・学校行事指導体制）

保護者・生徒とも、評価は上昇傾向にあり、高い評価を得ている。

（２）分析

「学園生活の満足度」の推移を見ると、年度ごとの評価はそれほど変化がないが、1年から3年へと進級するにつれて保護者も生徒も評価が上昇する。保護者の生徒会活動の評価、生徒の進路指導や生徒会活動を中心とするほぼ全項目における評価の上昇が、その理由として考えられる。保護者対象の「学力向上における組織的な取組」「スローラーナーへの対応」、生徒対象の「自分の学力は向上していると感じているか」「適切なフォローをしてもらっていると感じているか」の評価は年度ごとに上昇傾向にある。本校の教員の取組を理解していただいているのではないかと。特に今年度は、北陽中学1期生の卒業に合わせたコース改編により、進路実現のためのきめ細かな指導の結果、満足のいく進路結果が高い評価の理由と考えられる。

◆ 中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①入学させて良かったか

保護者 2012 年度から 3 年連続下降しているが、本年度から回復傾向であり、特に良かったと答えた方が 5 % 増えている。

生徒 2013 年度を底に上昇傾向で、70%以上が良いと評価

②教育方針理解

保護者 平均的に下降しているが、80%の方が理解されている。

生徒 通年本人たちの理解が 60%と低迷ぎみである。

③組織的な取組

保護者 学力向上への取組がここ 2 年 60%程度となり伸び悩んでいる。

生徒 少しずつではあるが上昇傾向であり、70%以上が向上していると回答

④補習授業

保護者 2012 年度をピークに下降傾向である。

生徒 通年 75%程度が補習などの学習フォローを評価している。

⑤マナー・モラル

保護者 多少下降しているがほぼ同等傾向である。

生徒 通年 75%程度が指導されていると回答

⑥進路指導

保護者 通年低迷である、基本内部進学なので高評価とはなりにくい。

生徒 内部進学が基本であり、高評価は難しい。

⑦クラブ活動

保護者 学習とクラブでの限られた時間の指導となるが、約 70%の評価を得ている。

生徒 2013 年より上昇傾向である。7 時間授業もあり多少の不満もうかがえる。

⑧学校行事

保護者 常に 80%以上の評価を得ている。

生徒 学校行事に関しては生徒も保護者も 3.00 以上が多く評価が高い。

（２）分析

全体として、保護者と生徒間での差が気になるところである。学習活動ノートや保護者連絡を密にして情報の共有をもっと図る必要があると感じる。学校方針や進路指導では、生徒全体への発信機会を作り、また進路では内部進学のための指導を 1 年生時から積極的にする必要がありと考える。例年、学校行事は高評価であり、このまま維持させるために積極的に行事を改革する必要がある。上記の③組織的な取組④補習授業について、保護者の評価が思うように伸びていない。これは、保護者が、生徒の学力レベルに応じた指導ができていないと感じているように思われる。教科の中でも、学力差が大きい英語において 2016 年度から指導法を抜本的に見直し、教材を少なくし、1 人学びやグループワークを通じて、英語学習へのモチベーションや達成感、自己肯定感を高める授業を展開する。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

ア 重点目標①：学ぶ力の向上について

保護者の立場からすると、担任、副担任に生徒の情報がしっかり共有されているとともに、教員間の連携もできており、若手の先生も意欲をもって、新たなことに挑戦しようとする気概を感じる。

学力面では、年々、少しずつ向上はしているが、英語や理科に限らず、課題は、学力下位の生徒の底上げではないか。先生方は、様々な業務を抱えているため、学力下位の生徒、「スローラーナーへの対応」を講じる際、関西大学の学校インターシップを活用できないだろうか。学校にとってもメリットがあるが、教員を志望する学生にとっても有意な機会となる。

イ 重点目標②：希望する進路の実現について

関西大学の内部進学率について、中学入学時、定員の90%の枠があり、関西大学の成績基準を満たせば、進学が可能になると聞いていたが、実際達成できるか不安であった。先生方の指導で、北陽中学1期生の内部進学率が85%、北陽高校全体で90%となり、評価できる。

進路指導においても、3年間を見通した指導計画と必要な情報の開示、面談時の的確な指導により内部進学が可能になったと思う。ただ、学部ごとに枠があり、成績順に内部進学が決まると言う点で、年によっては、難易度が上がったり、ミスマッチが起こることが課題ではないだろうか。

ウ 重点目標③：生きる力を育み、社会で活躍できる人材の育成について

部活動の項目で、高校の保護者の肯定率は高いが、中学の保護者の肯定率が低いのが気になる。中学生の保護者にとって、先生から連絡を密にいただけることが非常にありがたい。

また、学習もしっかり行いながら、クラブ活動に十分な時間を確保できるようなカリキュラムをお願いしたい。生徒が興味を示すような授業、指導法を考えていただき、子供をコントロールしていただければと思う。

エ 重点目標④：学校の組織力の向上と活性化について

「学校運営が組織として十分に機能していない、教員間の連携が弱い」というのが特徴だったが、今年度は、大きく改善して、職場が正常に機能しつつあると評価できる。今後、生徒のため、教員のために何をすべきか、管理職はもちろん、年齢に関係なく全構成員が提案し、その提案を頭から非難するのではなく、まず実行し、結果を検討し、改善するPDCAサイクルを推進していただきたい。

(2) アンケート結果について

学校関係者評価委員として、今年で4年目（4回目）の報告書をまとめるにあたり、最初に記述したいことは、本年度から田中校長新体制に替わり、関西大学北陽高等学校・中学

校最大の課題であった教員間の連携が大幅に改善していることが数値に表れていることである。もちろんこの改善への取組は鈴木前校長の頃から行われ、徐々に好転していたが、本年の値は明らかに不満が大幅に減っていると言えるぐらいに変化していると思う。

以下、該当部分を表に抜粋する。

組織面の自己評価	2013 年	2014 年	2015 年
管理者と教員、教員間の連携	1.94	2.20	2.59
ミドルマネジメントの組織運営	2.10	2.39	2.76
会議の有効性	2.28	2.54	2.73

注：この数値は4点満点で3以上は良好で、2以下は問題があると考えられる。

この改善された原因は、以前は主任が一人で行っていた役割などを若手にも分担させ、組織の中で若手に責任を持って任せる仕事を増やしたこと、情報共有の徹底化、各種プロジェクトの見直し・廃止による会議数の減少などである。今後改革が進み、すべての数値が3を超えることを切に望む。

ア 学力に関して

高校・中学を評価する上で最も重要な“授業の満足度”は以前から各教科とも高いので今年も全く問題ない。なお、本年度は北陽中学1期生が高校3年生になると同時に、25年度より変更した高校入試やクラス体制で教育された生徒が最終学年となった年である。3月12日現在で聞いているところでは、関西大学を併設校接続入試で受験した生徒は全員合格しており、また、国公立大学も、大阪大学、北海道大学をはじめ20名近くの合格者を出しており、きめ細やかな教育指導を反映したものと評価する。

別に、本年よりアドバンスコースの理系高校2年生が、関西大学で実験・研究指導を受け、その成果を発表（一部英語）する試みが行われた。生徒は難しい課題であるにも関わらず真剣に取り組む、大きく成長できたものと思う。これらの取組は、生徒側はもとより指導する側も大変な苦勞であるが、それゆえに将来の大きな糧となると思われる。今後これらの取組をスーパーサイエンスハイスクール（SSH）へと発展していただきたい。

イ 徳育に関して

地域評価委員から本年度も大きな問題もなく、生徒が元気で礼儀正しいことが紹介された。先生方の指導のたまものであると評価する。

ウ 最後に

田中学校長新体制の年にあたり、多くの改革が実行され、高校・中学が良い方向に向かっていることが各種データに表れている。今後も関西大学の併設校として、生徒、保護者、そして教員からも高く評価されることが続くよう、更なる改革に期待する。

（関西大学 学長補佐 化学生命工学部 青田浩幸）

2015（平成 27）年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会委員一覧

No.	役職	氏名	任期	備考
1	委員長	田中敦夫	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	学校長
2	副委員長	内田正人	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	教頭（高等学校）
3		川崎安章	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	教頭（中学校）
4		青田浩幸	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	関西大学学長補佐 / 化学生命工学教授
5		西原武一郎	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 会長
6		田中勝宏	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 副会長
7		箕口 昇	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 副会長
8		川鍋秀夫	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	新庄連合振興町会会長
9		筒井 満	H27. 4. 1. ～H28. 3. 31.	新庄小学校校長

6 校長の意見書

重点目標①「学ぶ力の向上」、②「希望する進路の実現」、③「生きる力を育み社会で活躍できる人材の育成」、④「学校の組織力の向上と活性化についての課題と今後の改善方策」については、既に述べている。ここでは、それ以外の項目で、前年度の外部評価委員からの指摘を中心に記載することとする。

(1) 「学力向上における組織的な取組」「スローラーナーへの対応」について課題が見え隠れしており、「生徒指導」や「進路指導」についても、それに近い傾向である。

「学力向上における組織的な取組」「スローラーナーへの対応」については、次の取組を行った。

- ①高3の冬休み（約10日間）、1月中旬から1月末に、成績下位者を対象に、文系で英語・国語の講習、理系で英語・数学・理科の講習
- ②高2の特進コース、英語の授業で習熟度別授業
- ③高1の特進コース、英語と数学の習熟度別授業
- ④中学全学年、高1・高2の特進コース、定期試験後、成績不振者に対して補習

以上の①～④を学校として取り組むとともに、中学・高校とも、各教科担当が单元ごとに小テスト、到達度の低い生徒には再テストを随時実施した。これらの取組が実を結び、関西大学への内部進学合格者90%、国公立大学25名合格し、関西大学以外の私立大学に、医療系、栄養系をはじめ、ほぼ進路が確定した。

また、「生徒指導」、「進路指導」に対しても、組織的に取り組んだことが、進路結果にもつながった。

(2) 「いじめへの対応」について、生徒の評価がやや低い数値を呈している。

「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年2回のアンケートを実施し、丁寧に検討した。その結果、今年度は、いじめにあたる事象は、なかった。

(3) 中学校における「教科道徳」実施にむけての研修が緊急を要する。

2015年度より、道徳教育に造詣の深い講師による授業を各学年で年10回程度実施した。2016年度は、講師による指導のもと、担任による授業を実施し、「教科道徳」の実施に向けて研修を積んでいく。

(4) 「学校生活の満足度」について、中学の保護者では年々低下している。

学級懇談会や三者懇談などでの保護者からの要望を分析する一方、本校の教育方針や教育活動を理解してもらう努力を怠ることなく、改善に取り組んだ結果、3年連続下降した評価が、回復傾向を示し、特に良かったと答えた保護者が5%上昇した。

(5) 「教育方針・教育目標」について、生徒の評価が低い。

中学生、高校生とも2.66という評価で、昨年度から改善が見られない。引き続き、始業式や終業式、全体集会など機会あるごとに生徒に話をし、啓蒙していきたい。

7 アンケート結果

図表

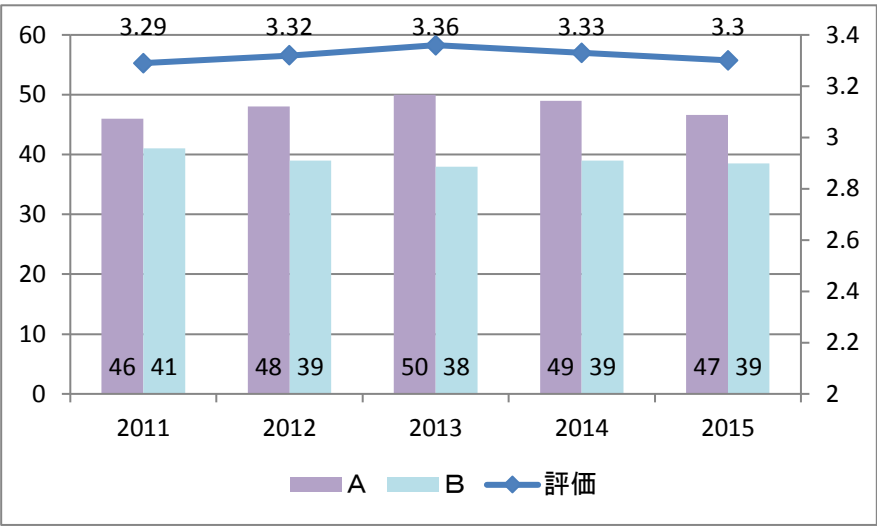
- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導に関して）の推移
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移

数表

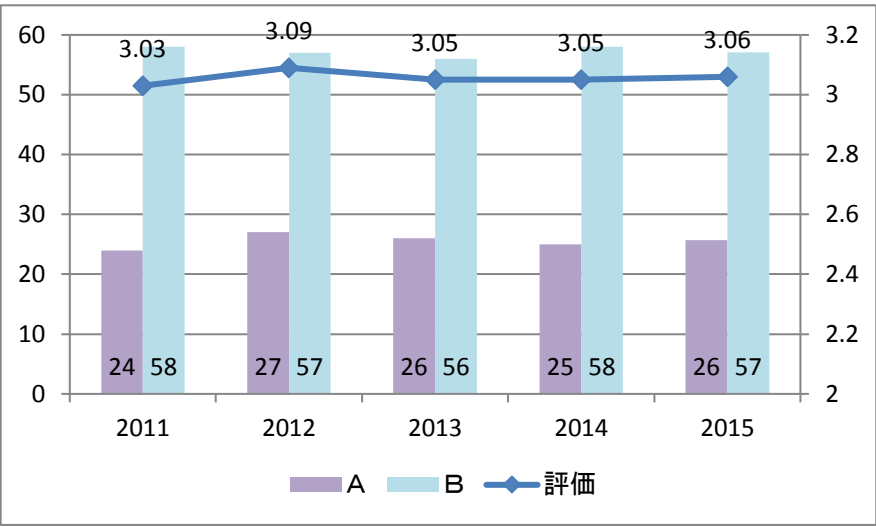
- 資料1—1 学校評価 教員対象アンケート 〈組織〉
- 資料1—2 学校評価 教員対象アンケート 〈個人〉
- 資料1—3 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去4ヵ年比較—
- 資料1—4 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去4ヵ年比較—
- 資料2 ① 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料2—1 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2—2 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2 ② 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料2—3 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去3ヵ年比較—
- 資料2—4 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去3ヵ年比較—
- 資料3—1 ①② 授業評価 教科別
- 資料3—2 ①② 授業評価 学年別 （高校・中学校別）

保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2011年～2015年) 【グラフ ①】

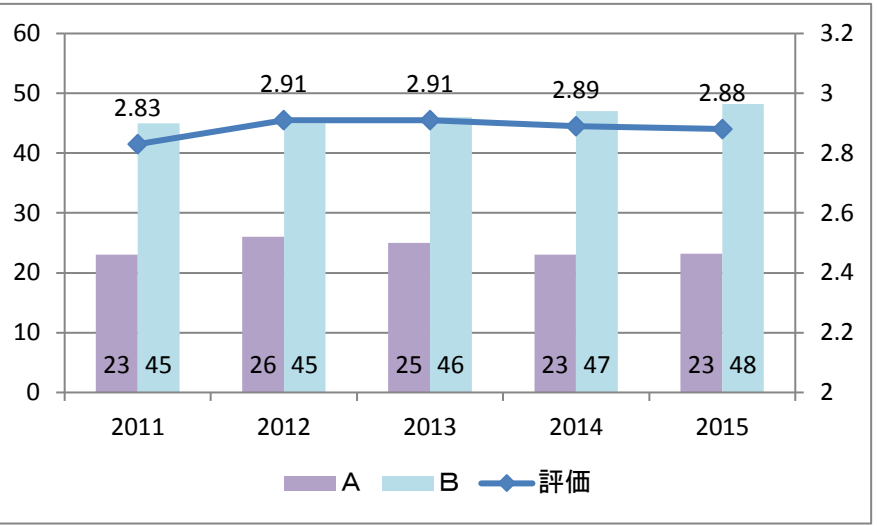
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



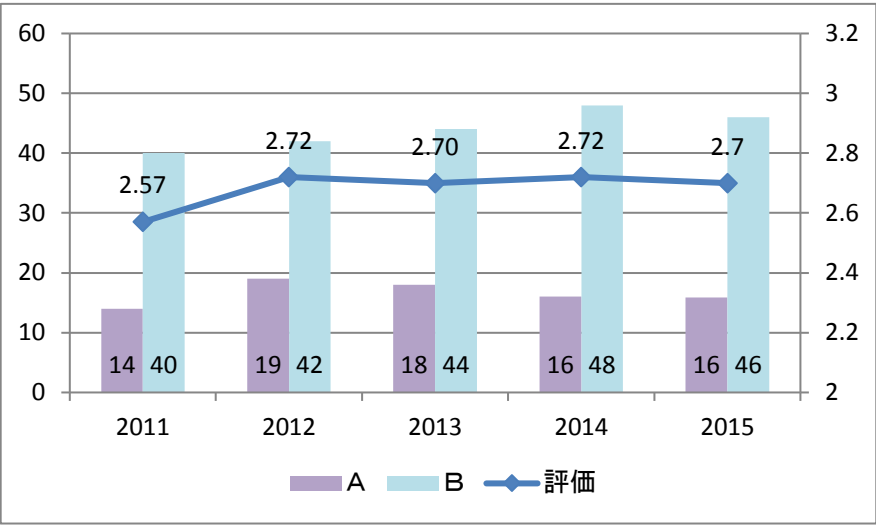
2 本校の教育方針を理解されていますか



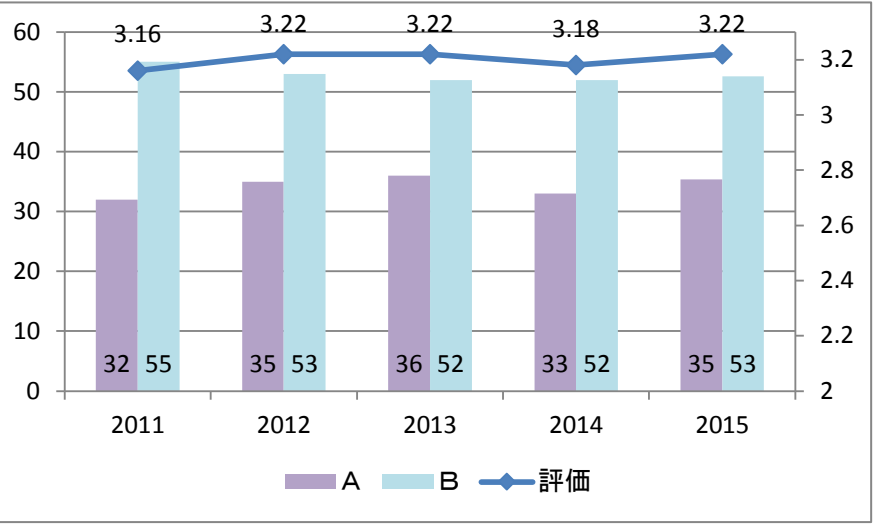
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



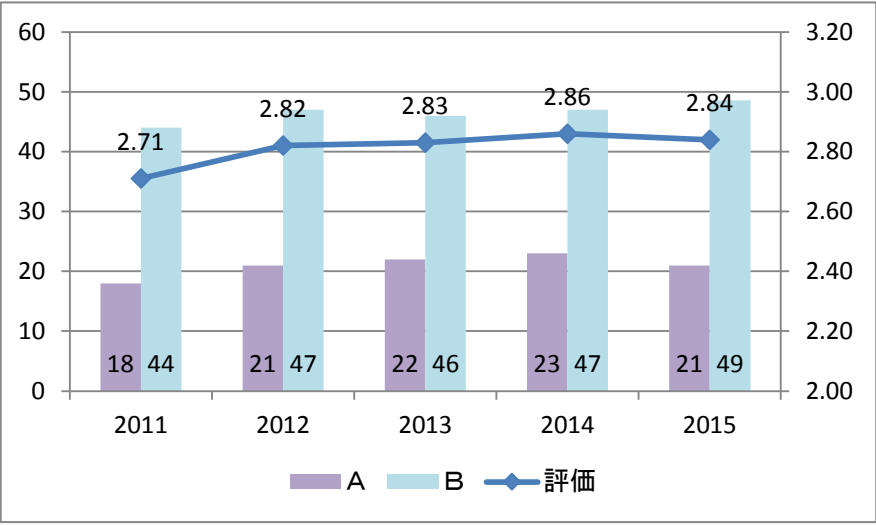
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



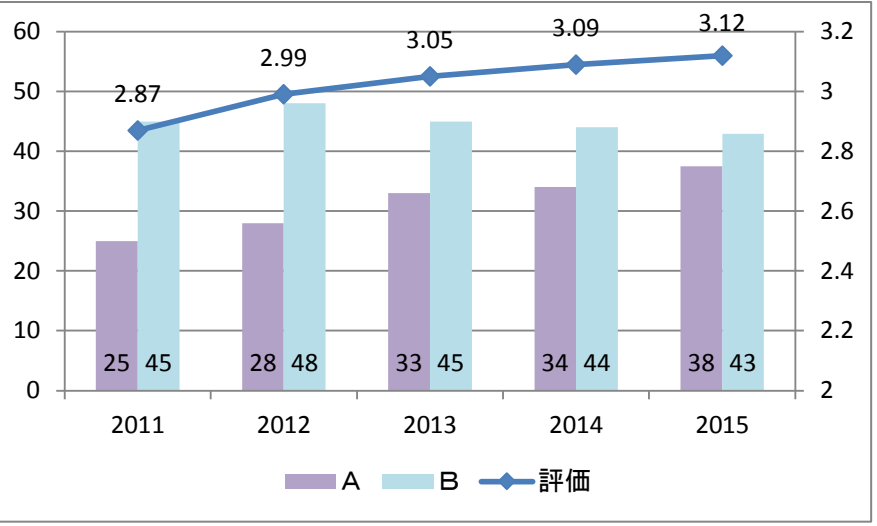
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



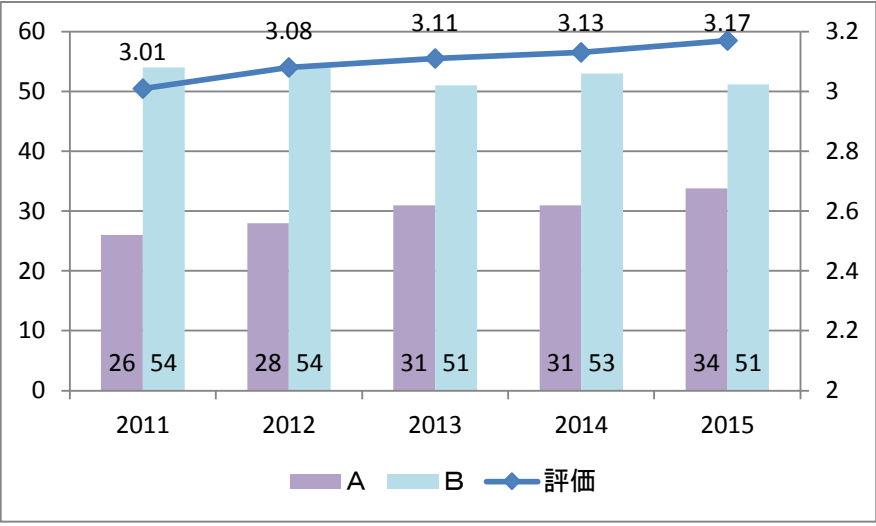
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか

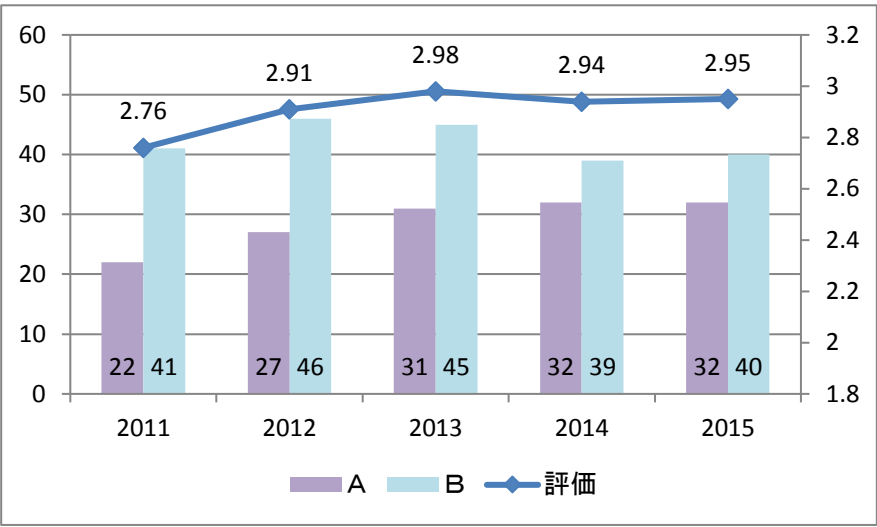


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

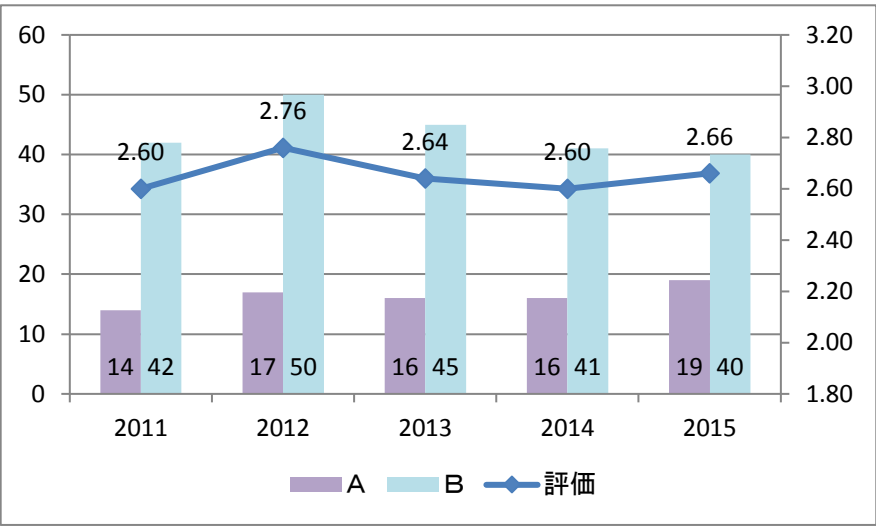
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2011年～2015年）

【グラフ ②】

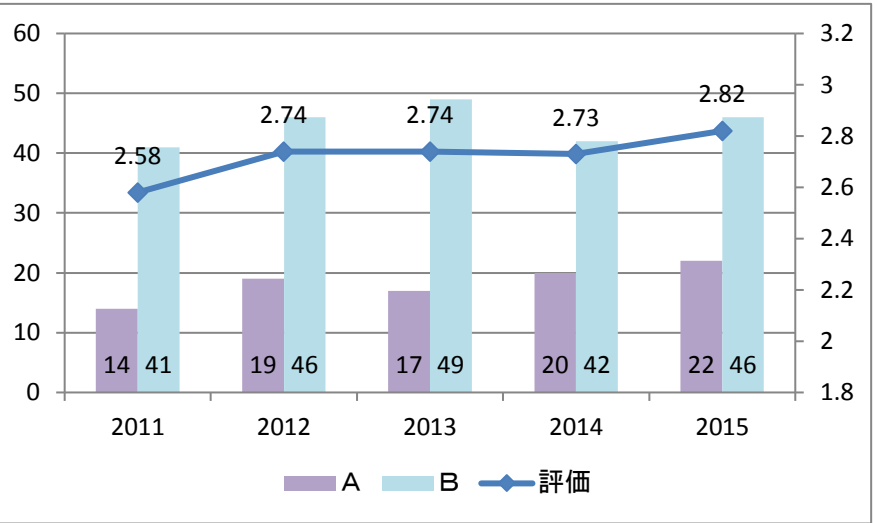
1 この学校に入学して良かったですか



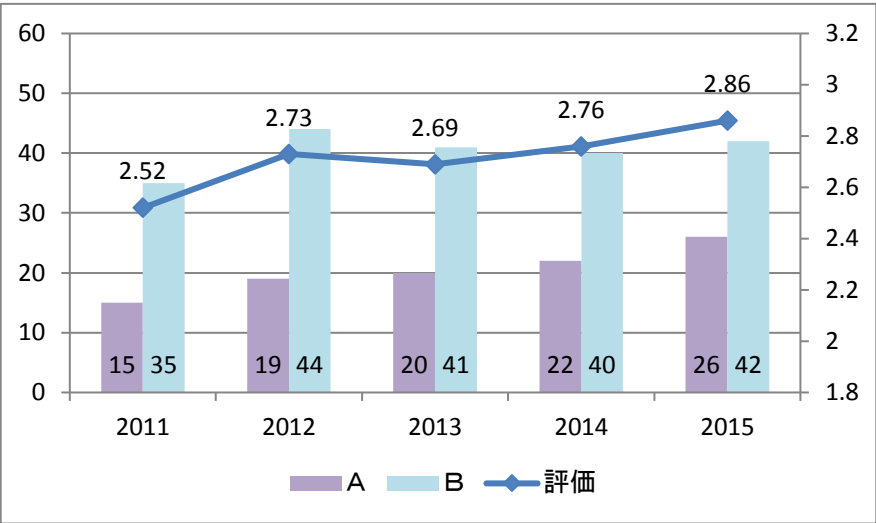
2 学校の教育方針を理解していますか



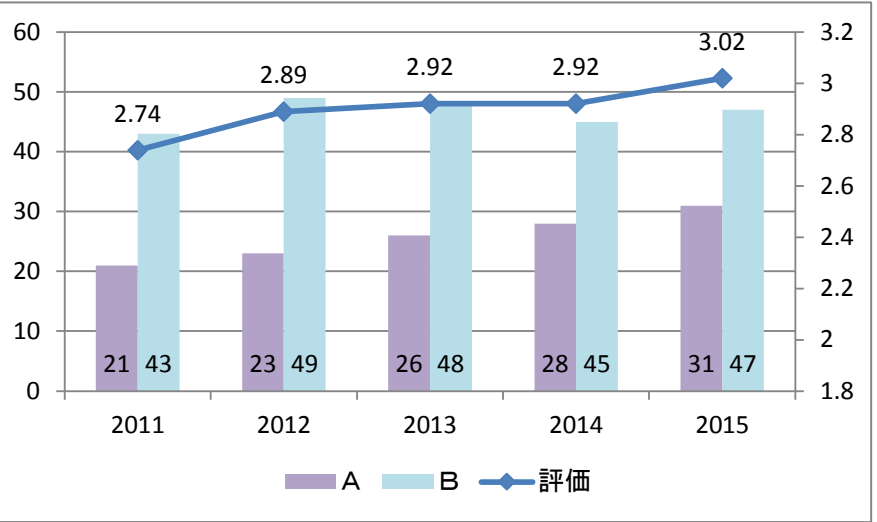
3 自分の学力は向上していると思いますか



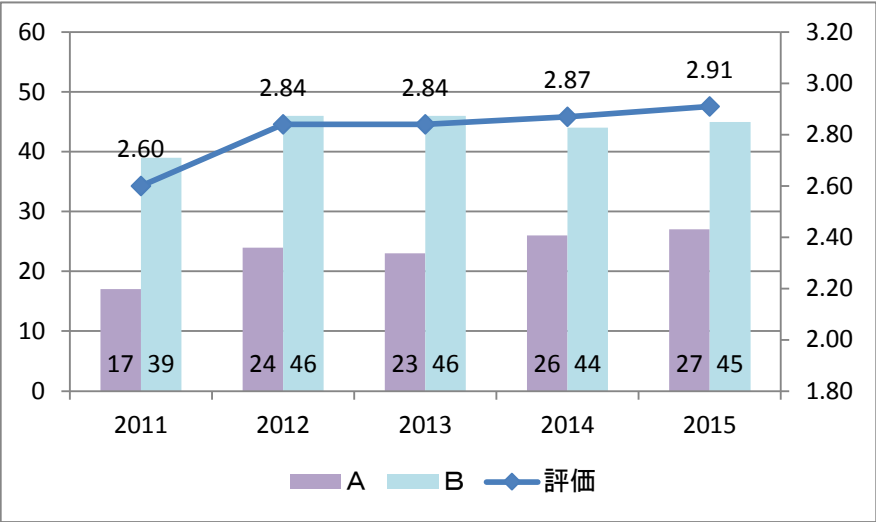
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



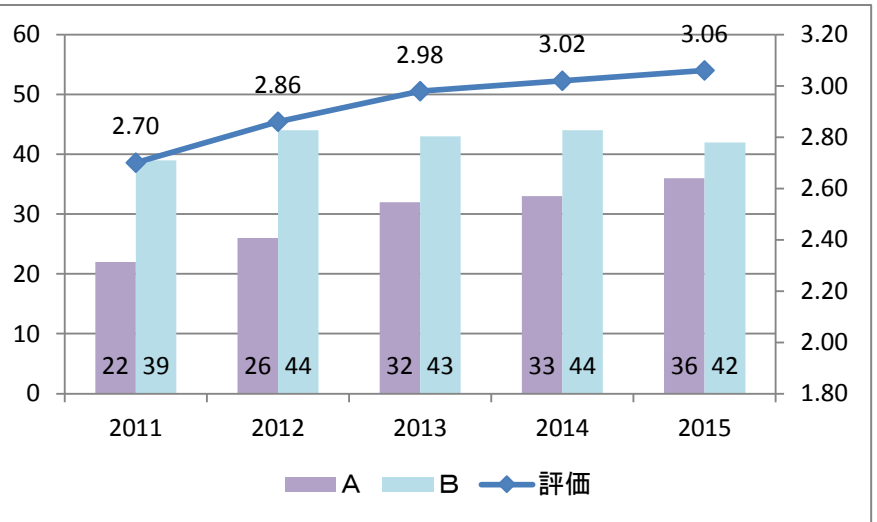
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



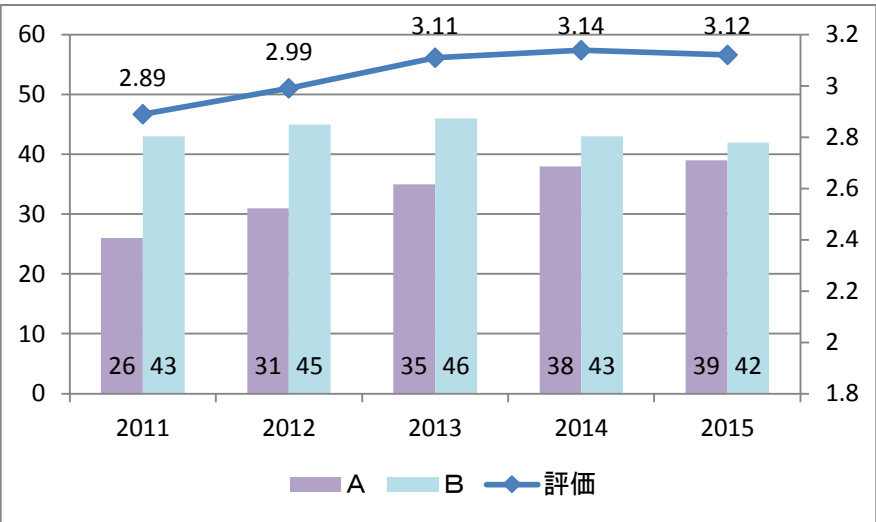
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



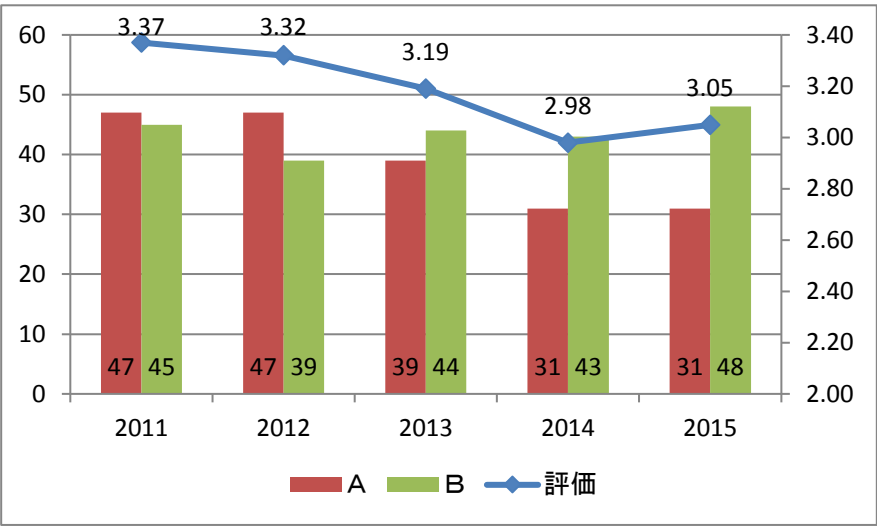
8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



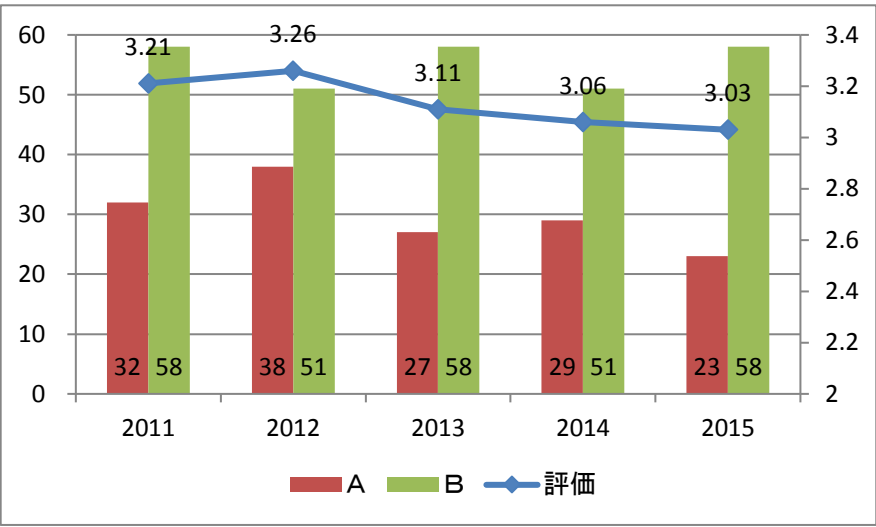
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2011年～2015年) 【グラフ ③】

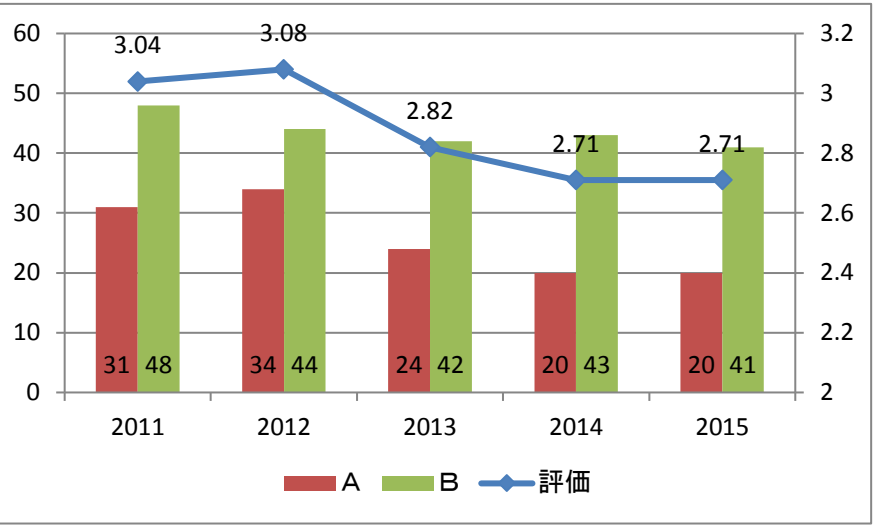
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



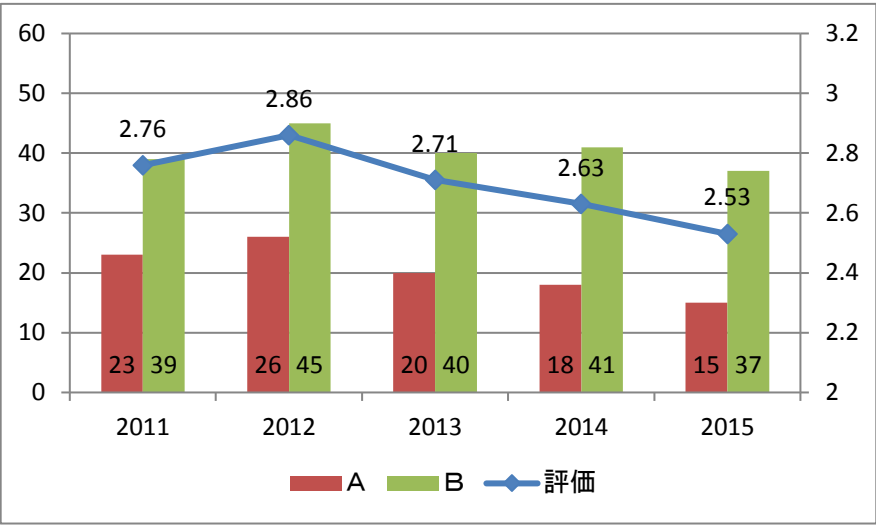
2 本校の教育方針を理解されていますか



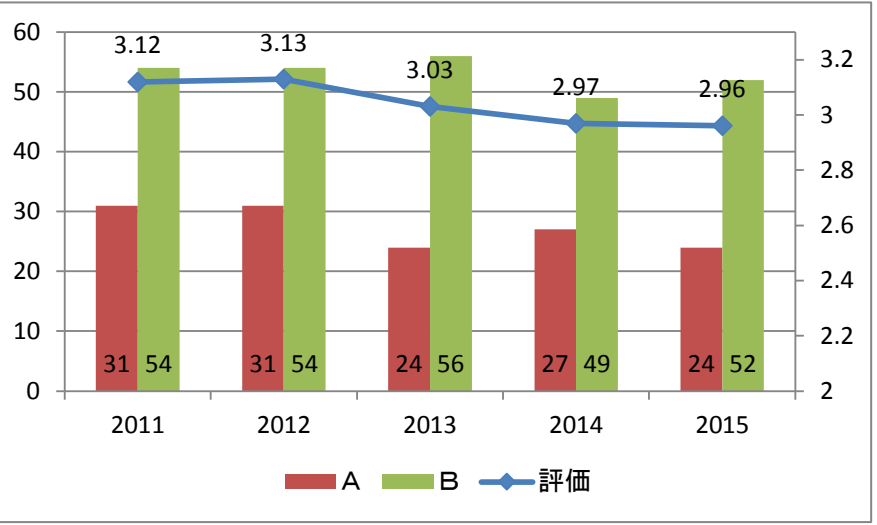
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



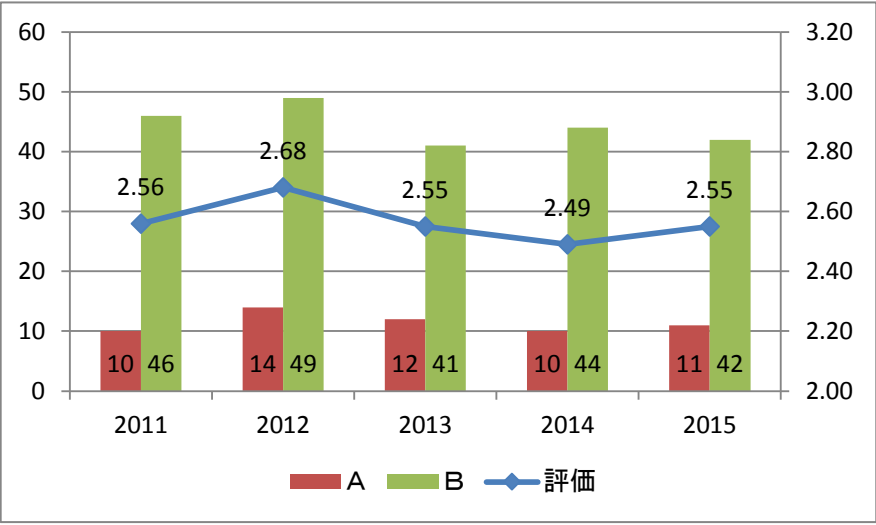
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



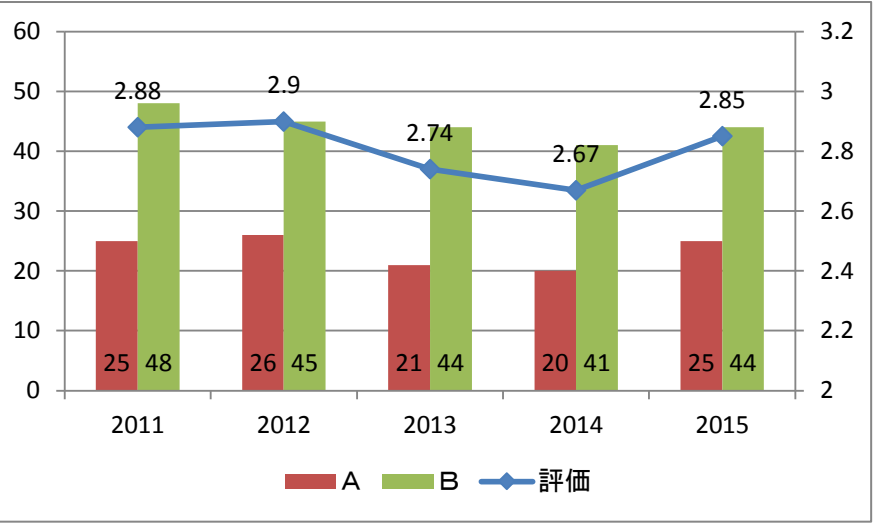
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



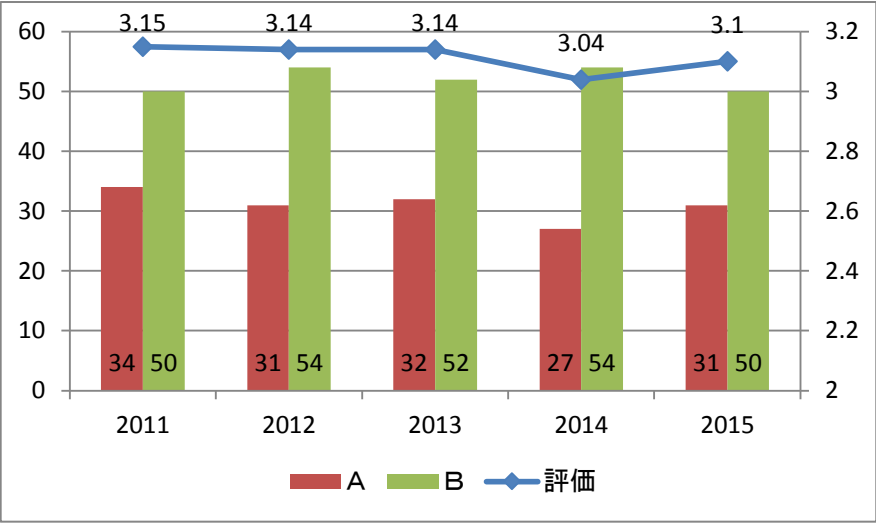
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか

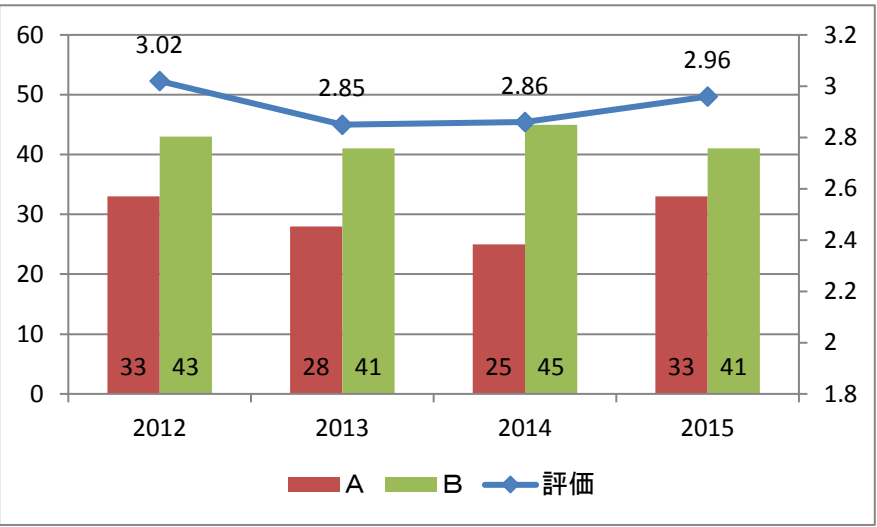


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

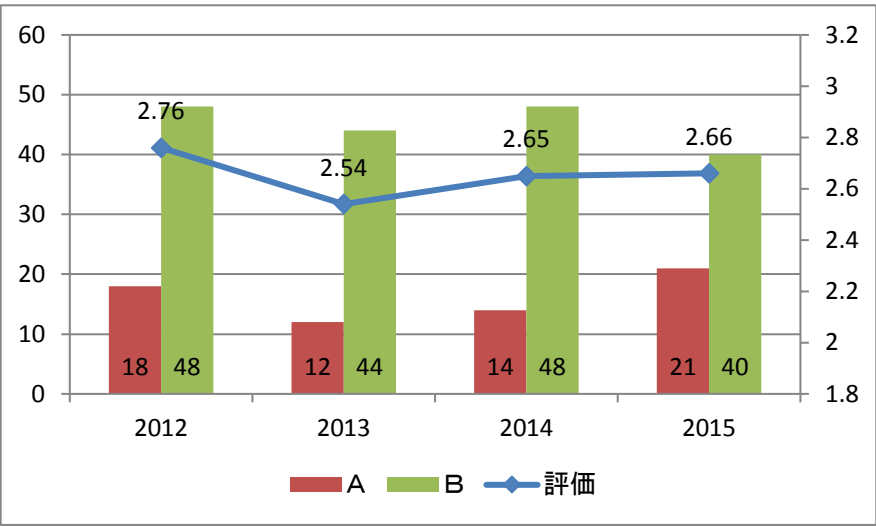
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2012年～2015年）

【グラフ ④】

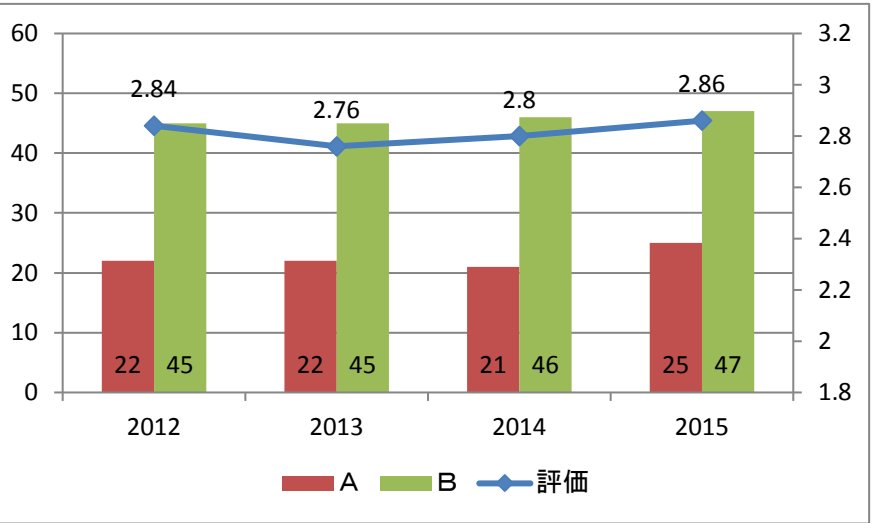
1 この学校に入学して良かったですか



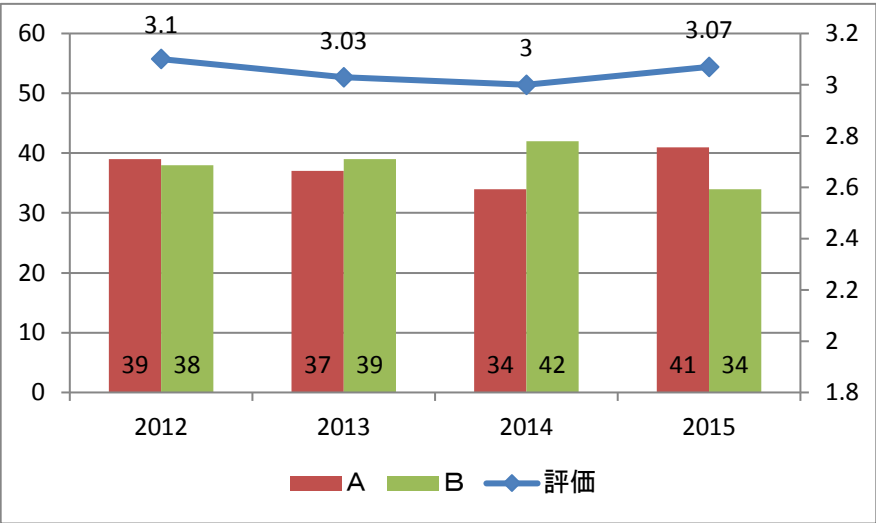
2 学校の教育方針を理解していますか



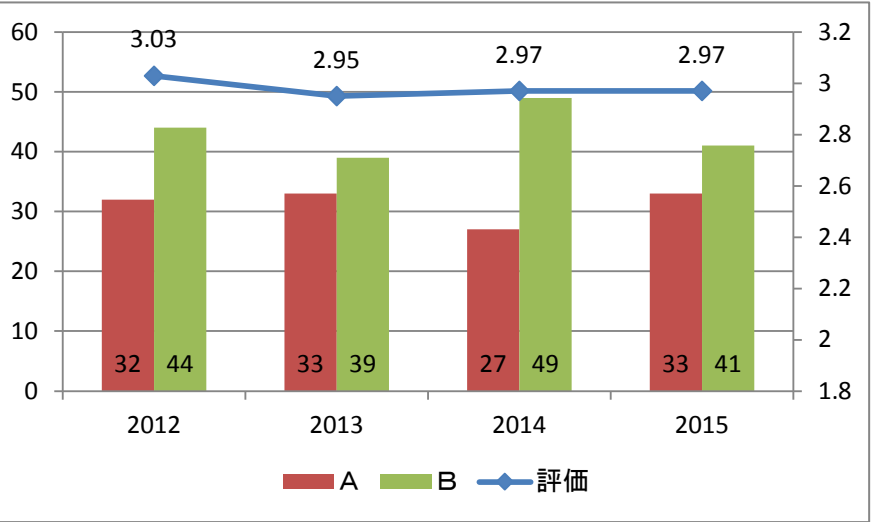
3 自分の学力は向上していると思いますか



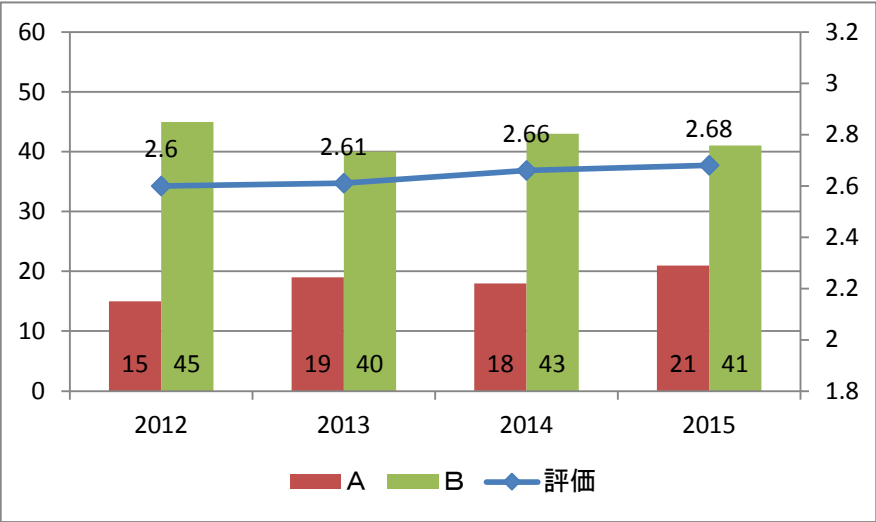
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



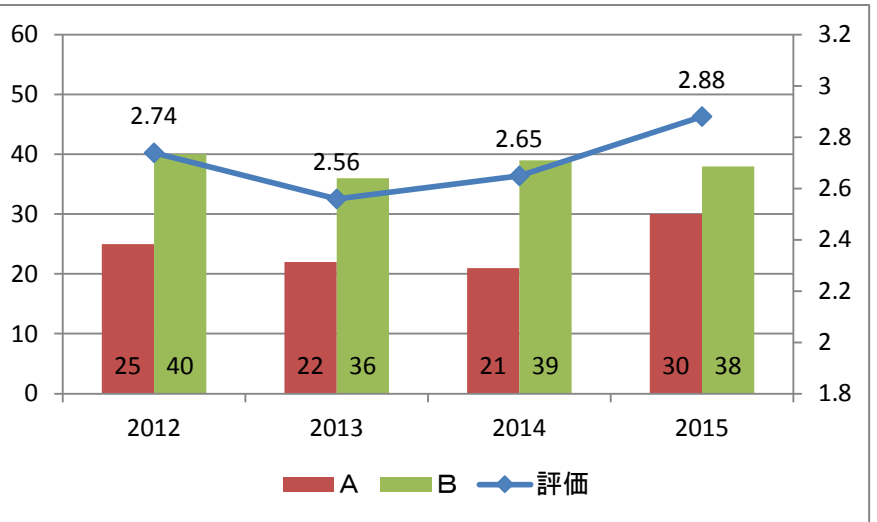
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



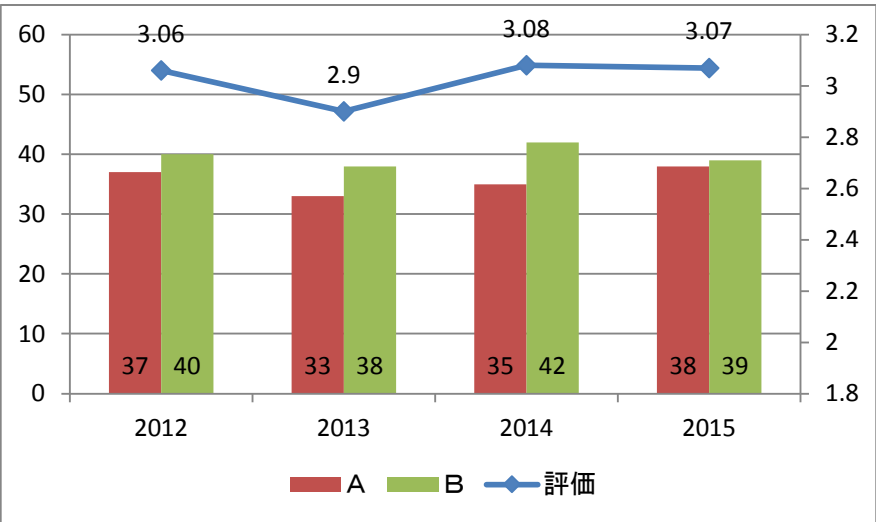
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

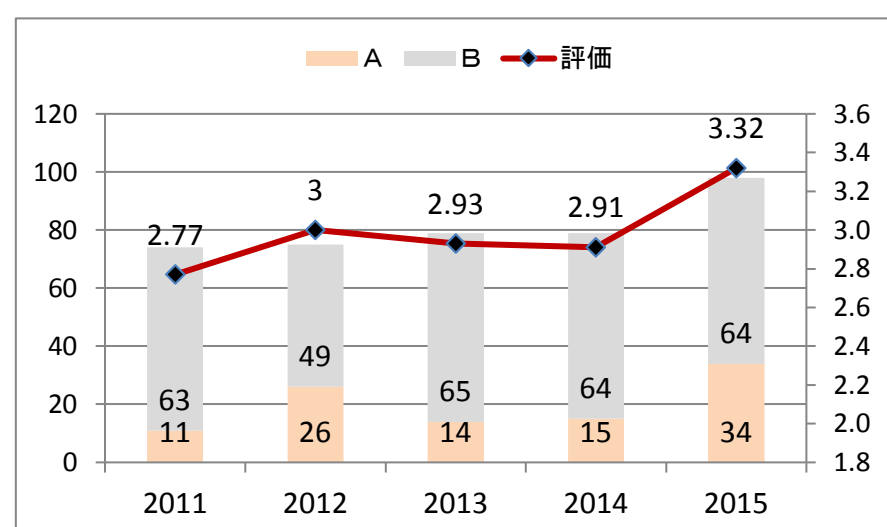


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

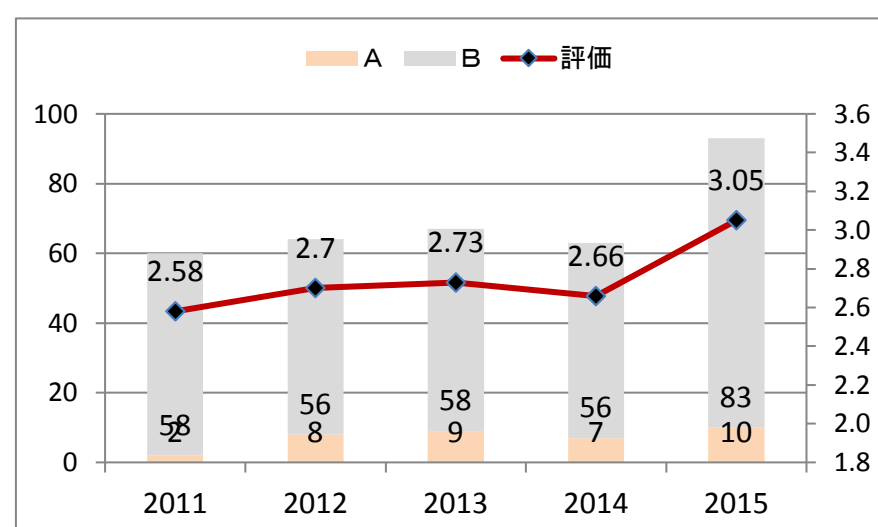
「学校生活の満足度」の推移（2011年～2015年）

【グラフ ⑤】

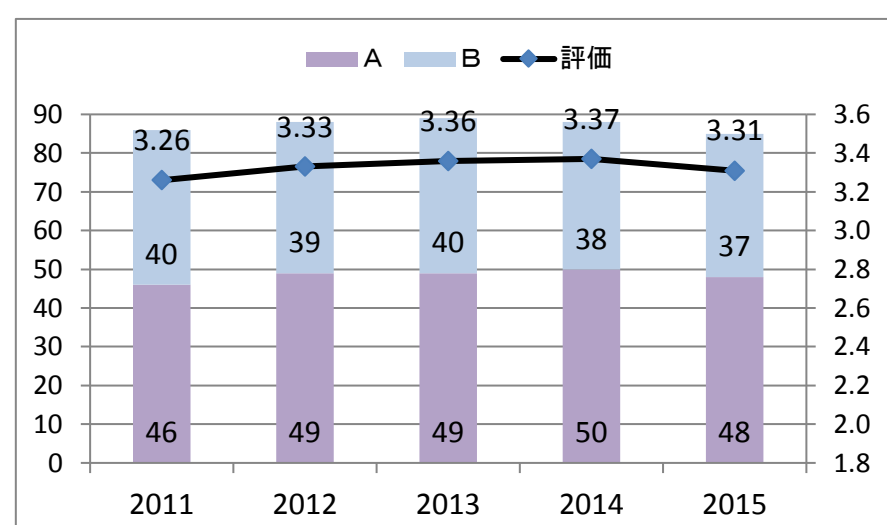
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員対象)



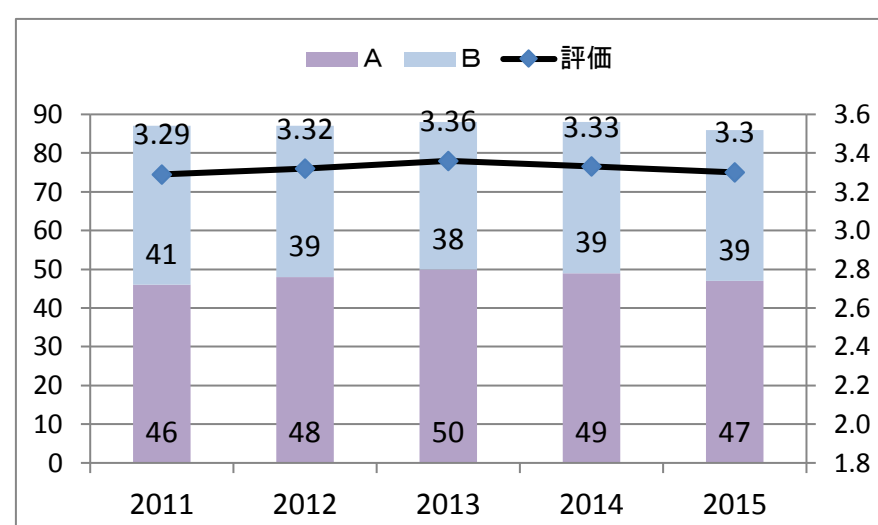
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員対象)



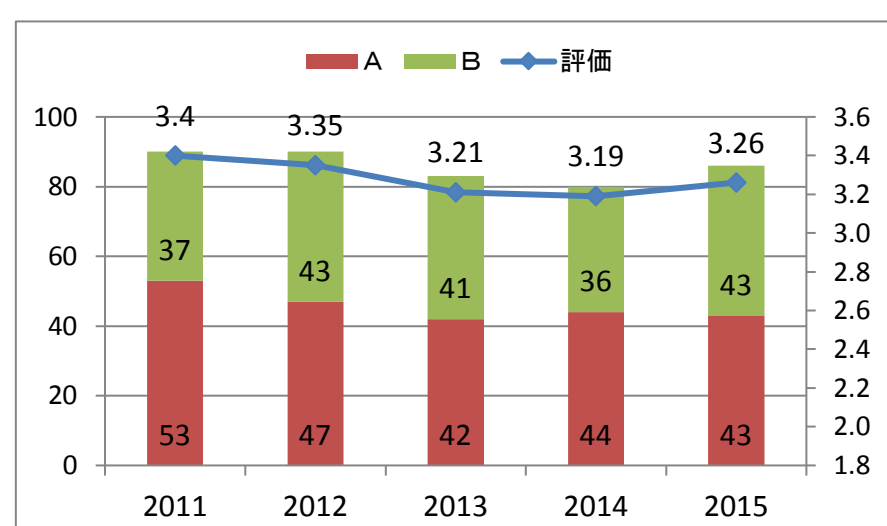
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



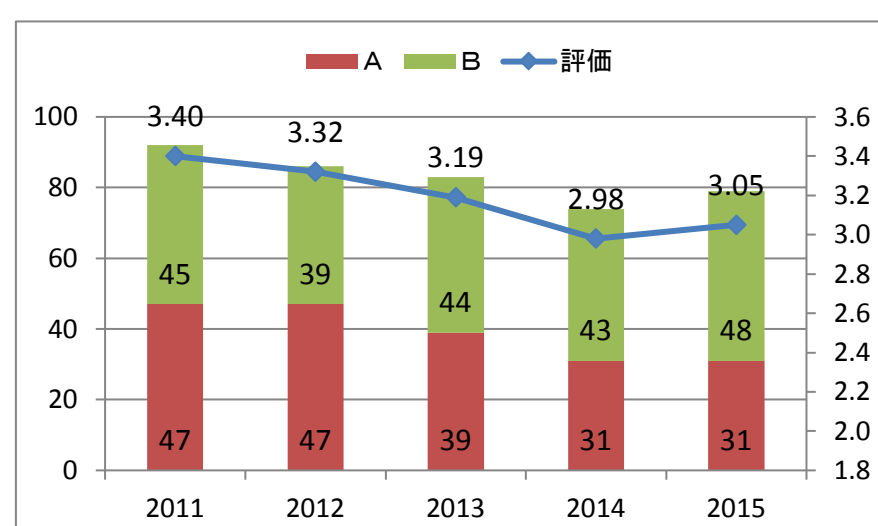
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



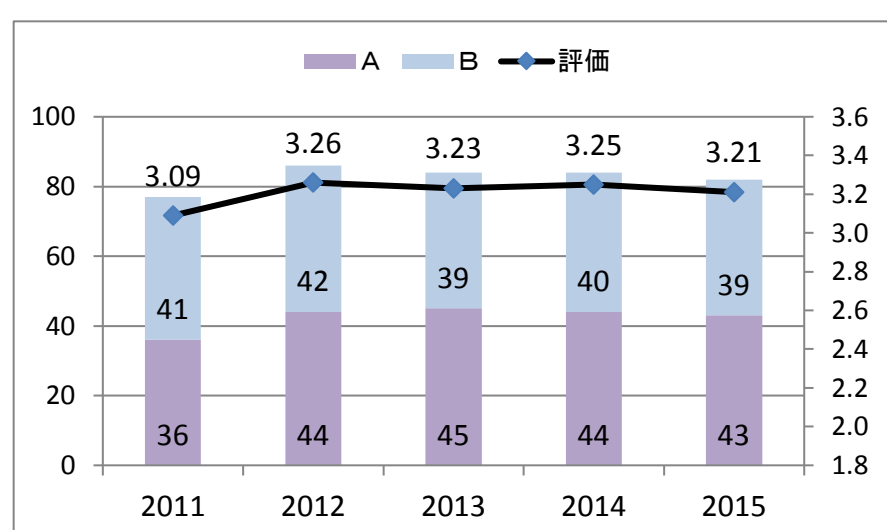
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



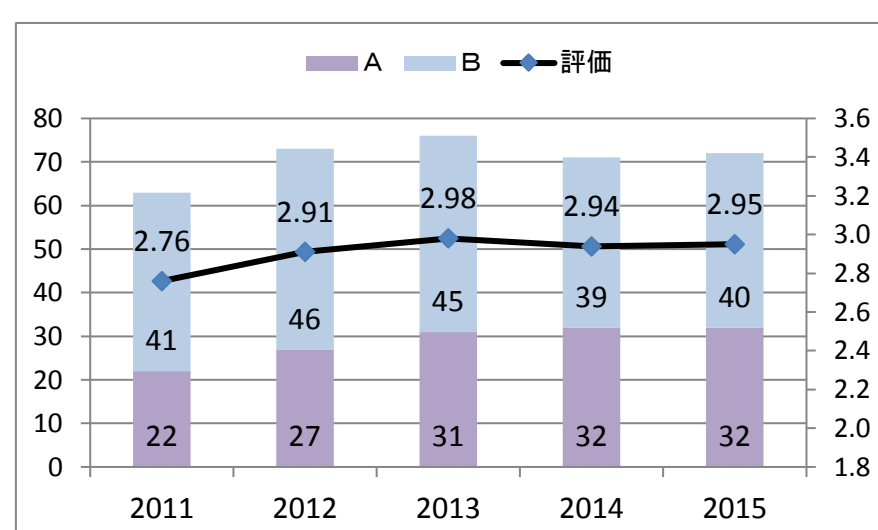
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



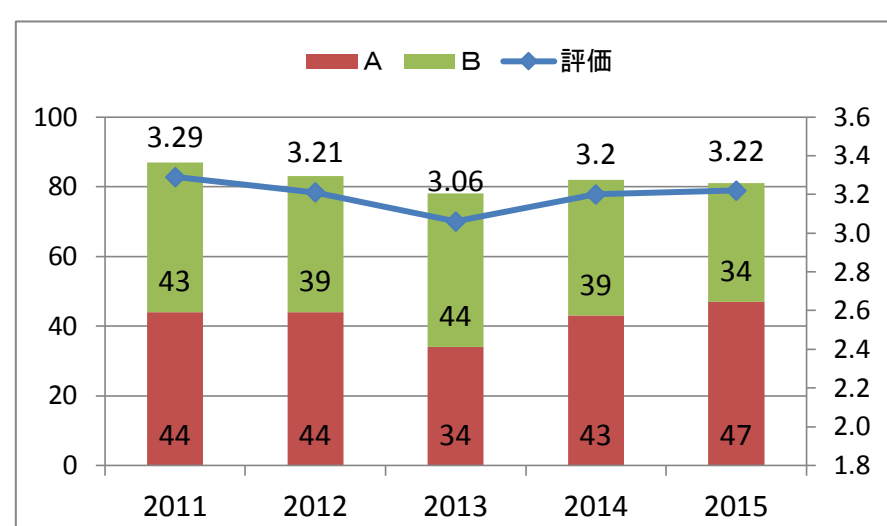
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



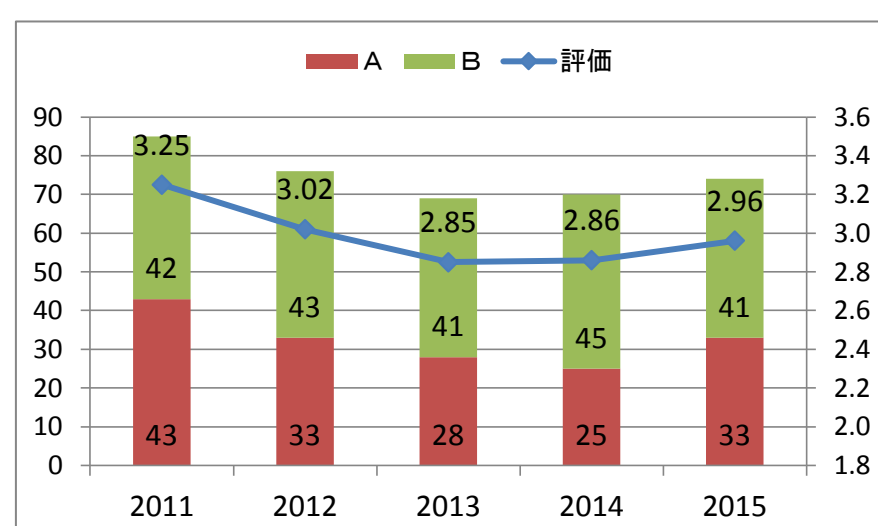
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)

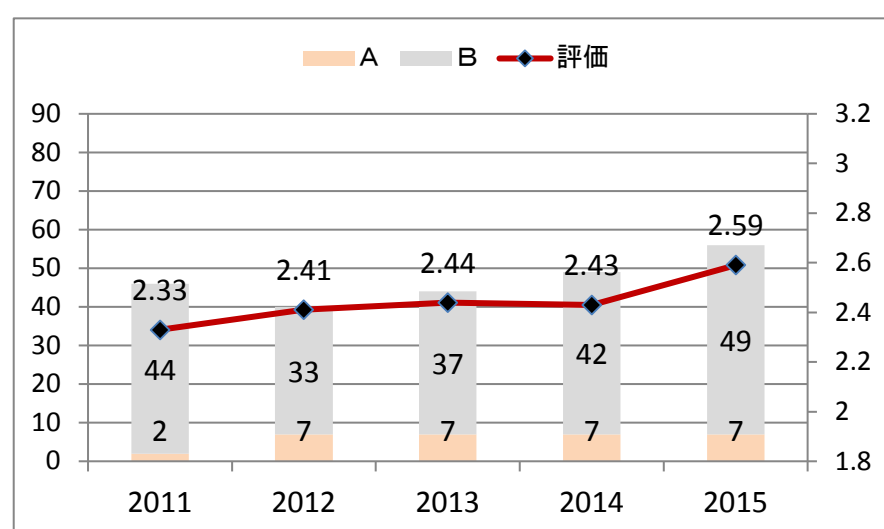


10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)

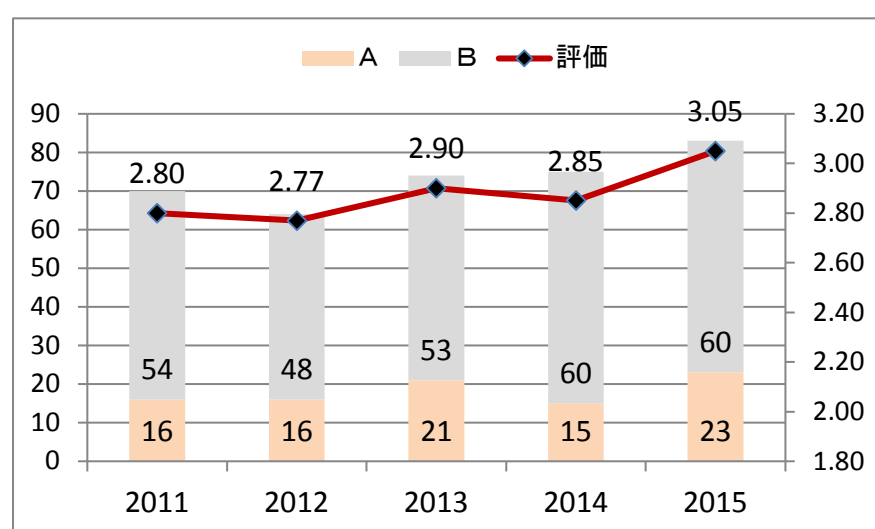


「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移（2011年～2015年） 【グラフ⑥】

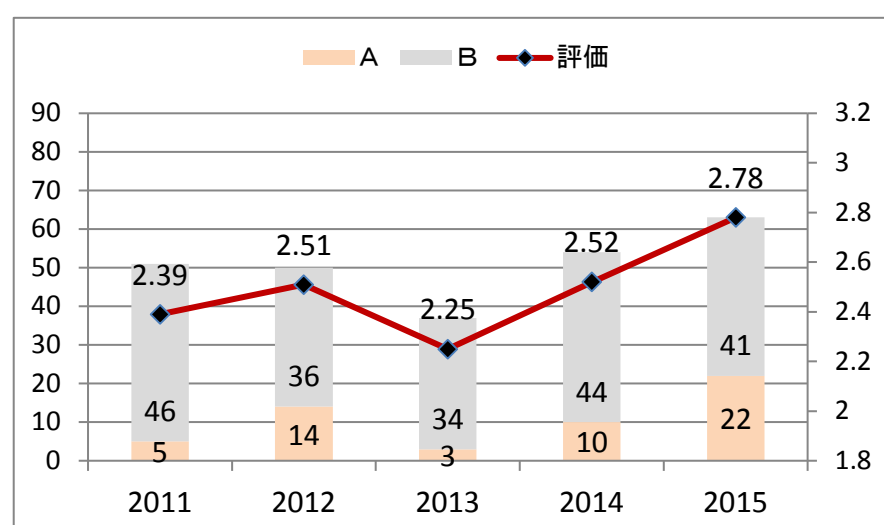
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



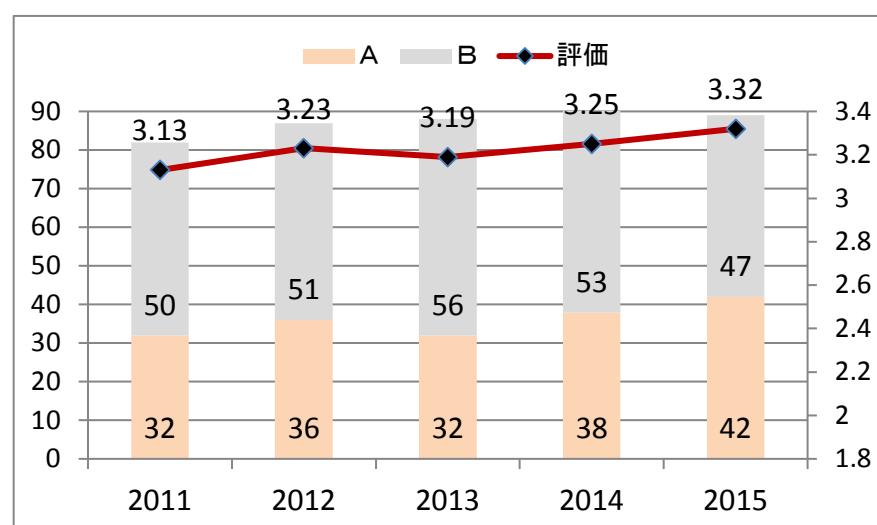
2. 建学の精神、教育方針を理解しているか。（教員個人）



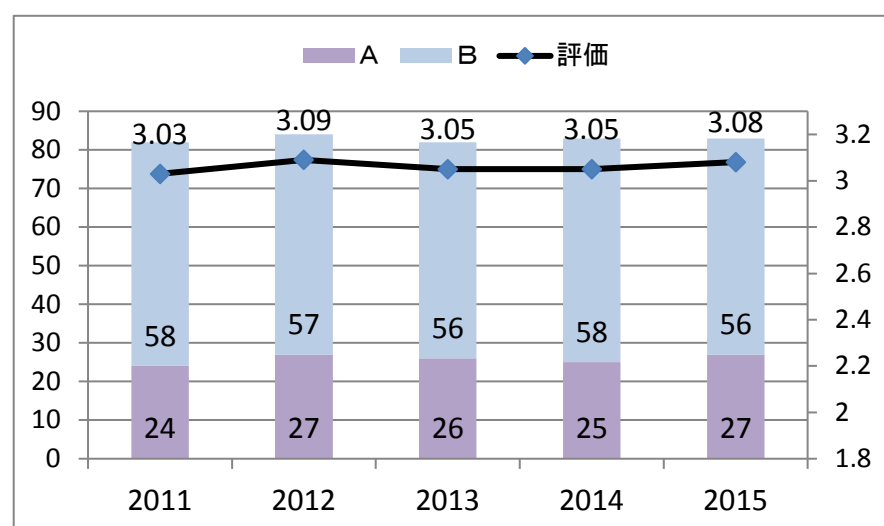
3. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



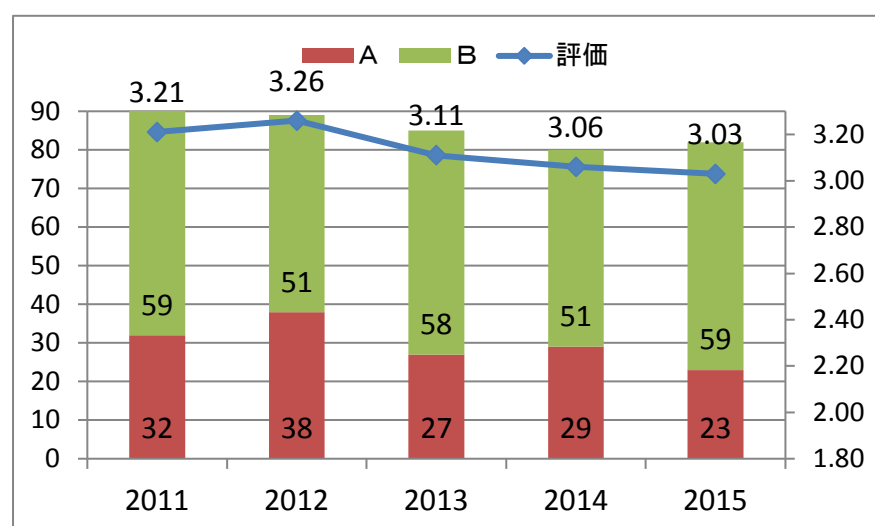
4. 併設校としての使命を自覚した上で生徒の指導にあたっているか。（教員個人）



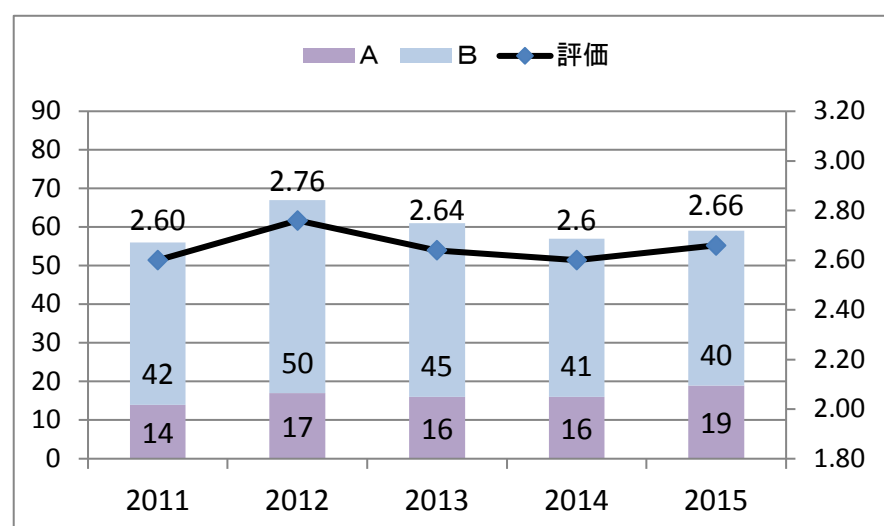
5. 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者）



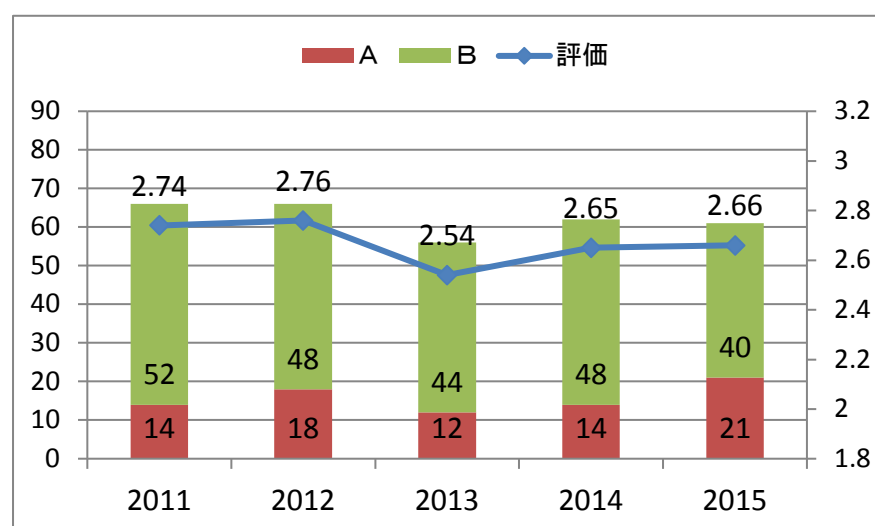
6. 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者）



7. 本校の教育方針を理解していますか。（高校生）

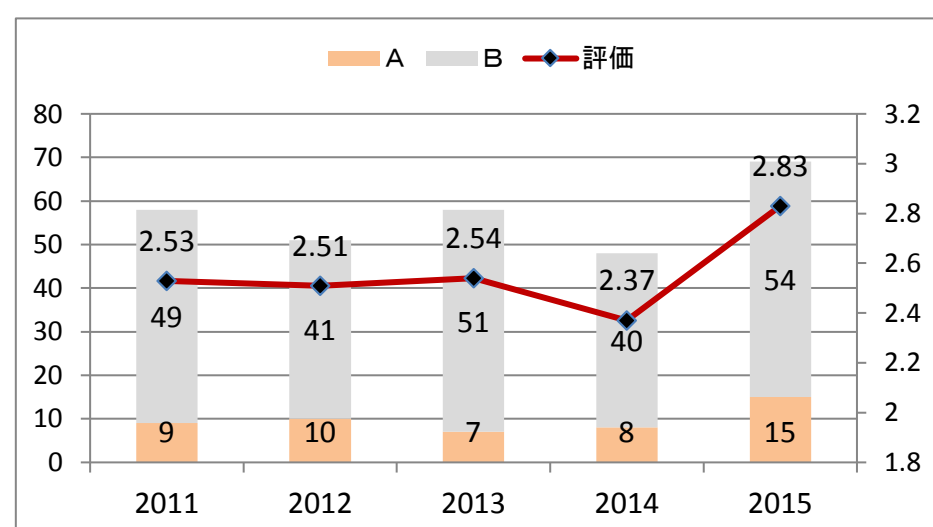


8. 本校の教育方針を理解していますか。（中学生）

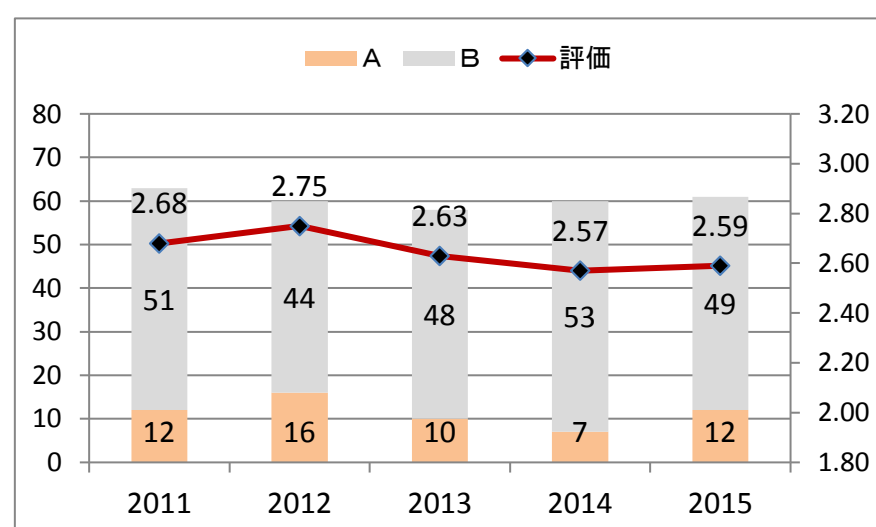


「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2011年～2015年） 【グラフ ⑦】

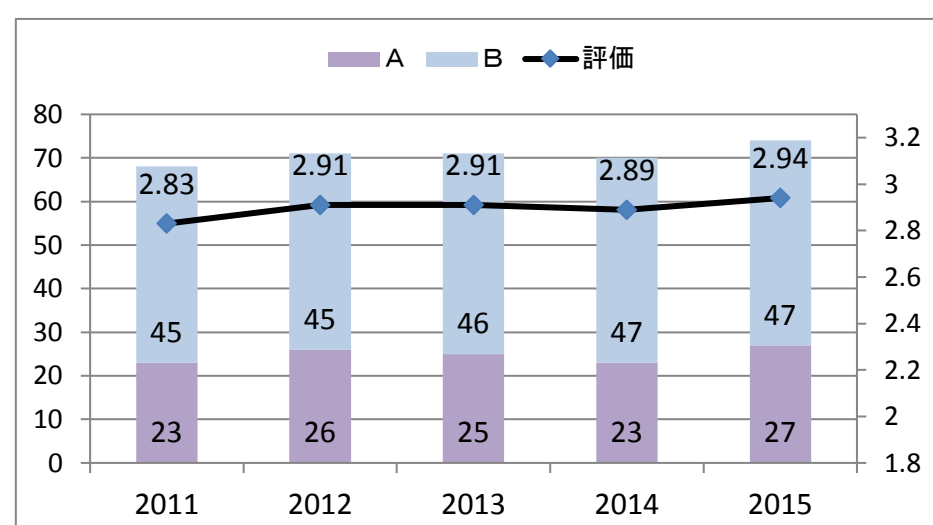
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



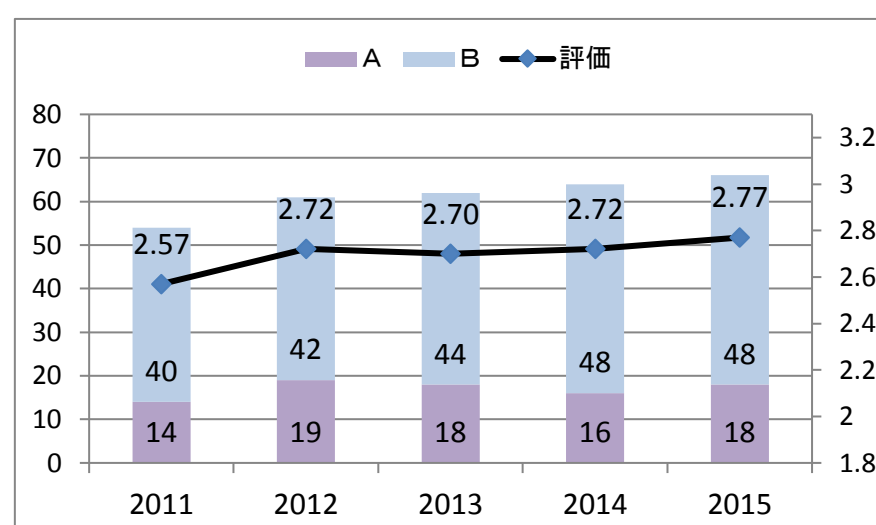
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



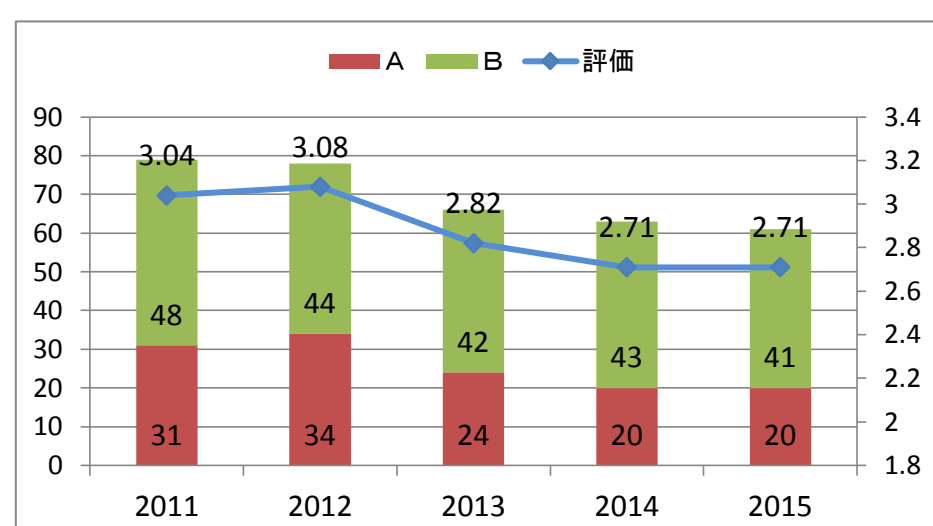
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



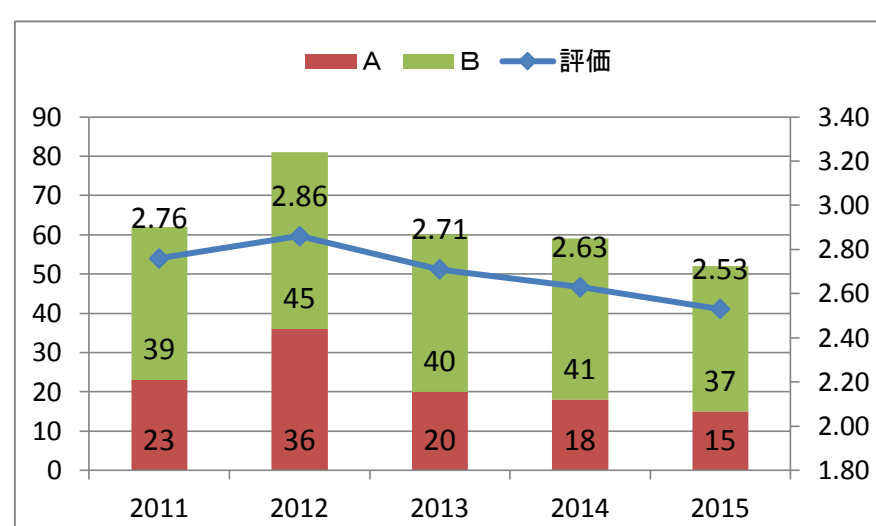
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



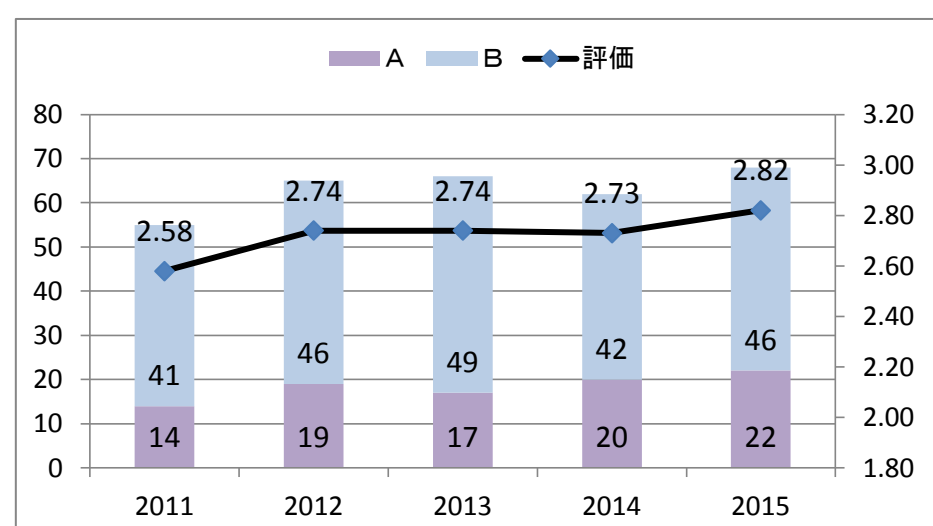
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



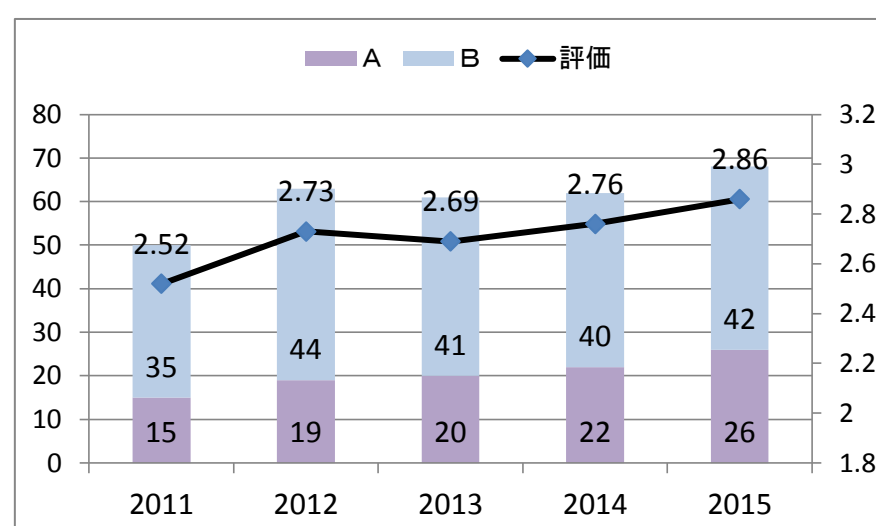
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



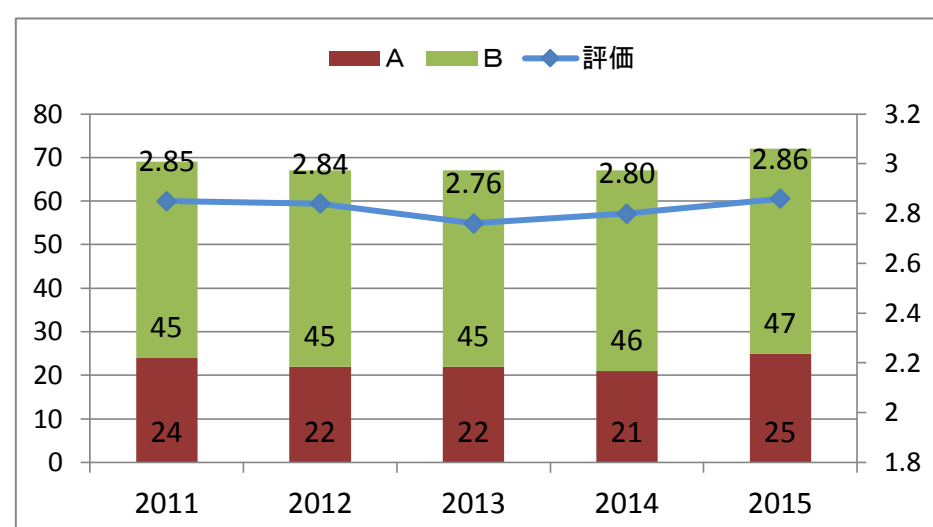
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



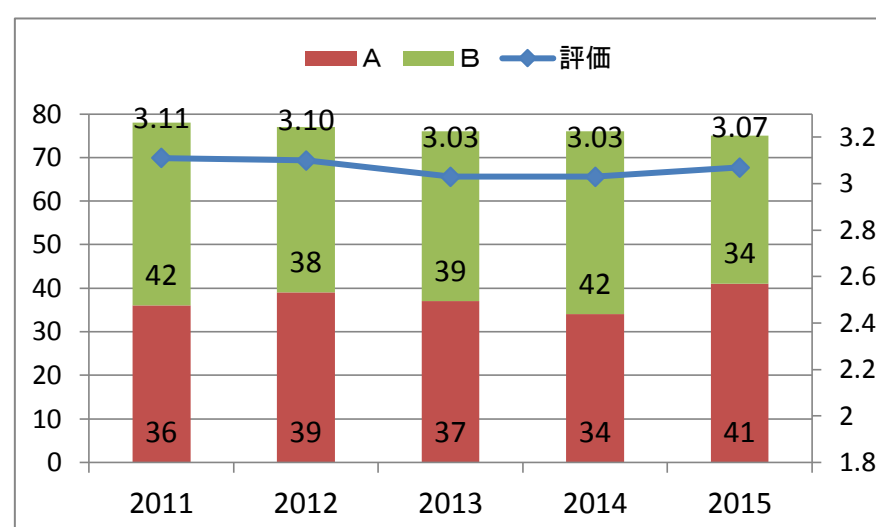
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)

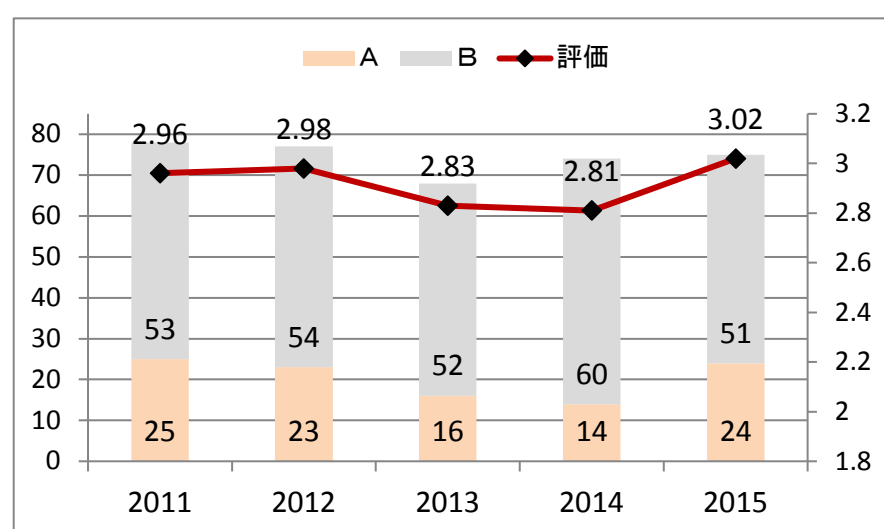


10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)

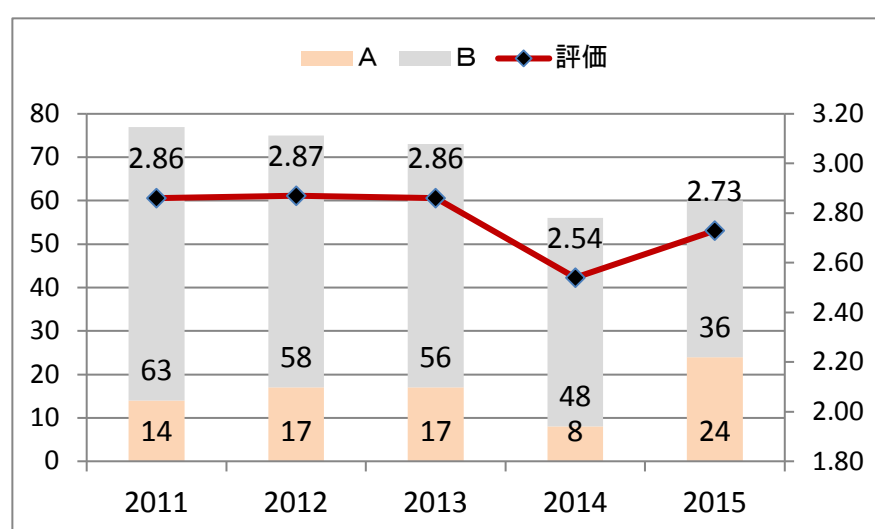


「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2011年～2015年) 【グラフ ⑧】

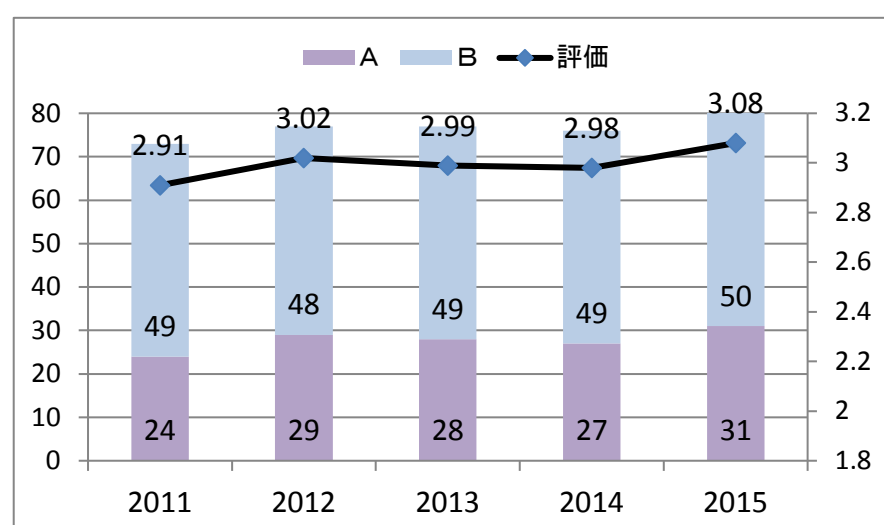
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



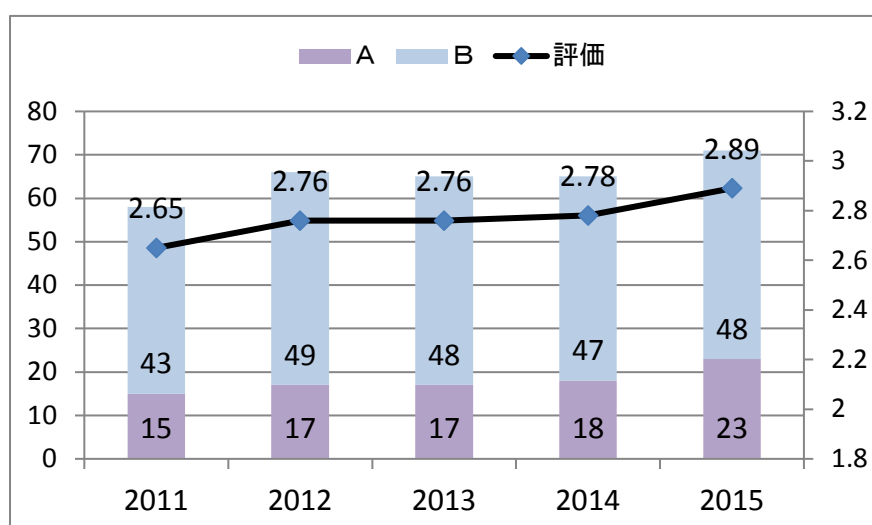
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



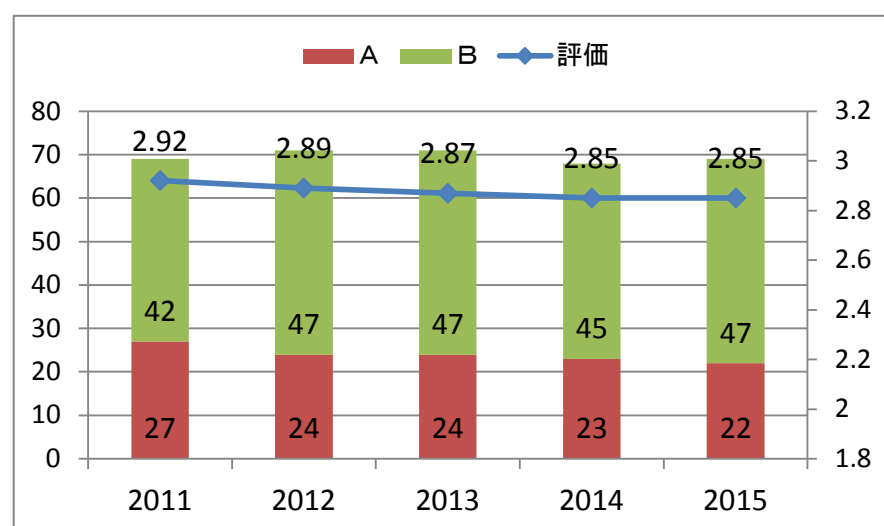
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



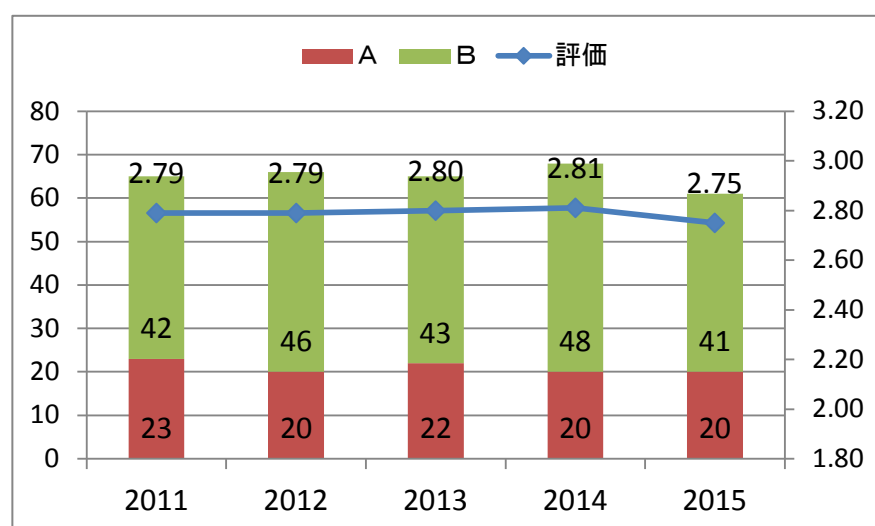
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



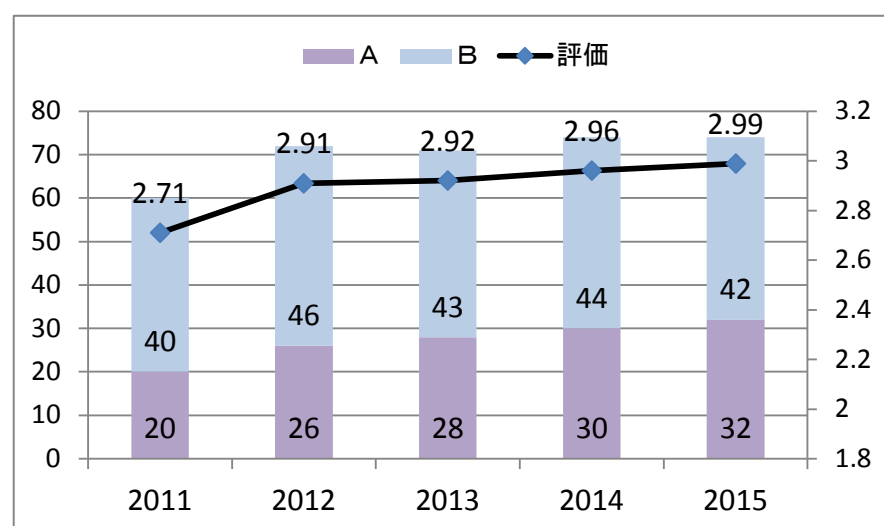
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



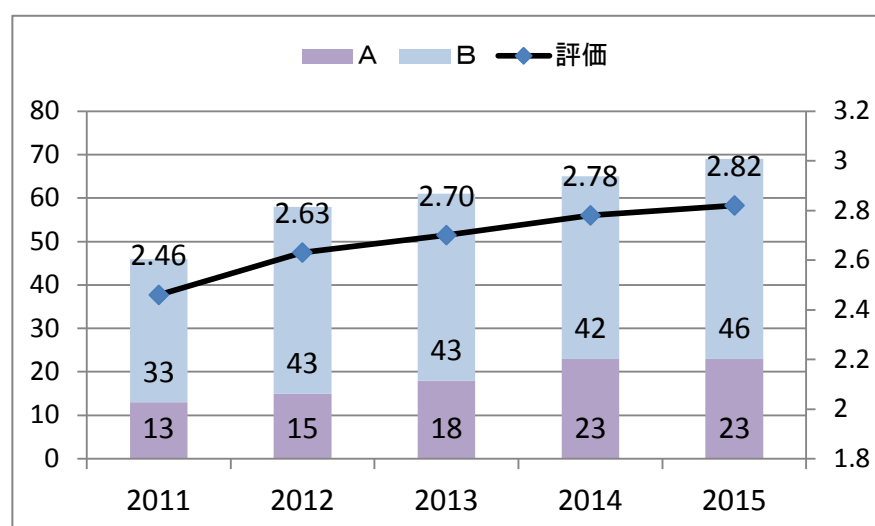
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)

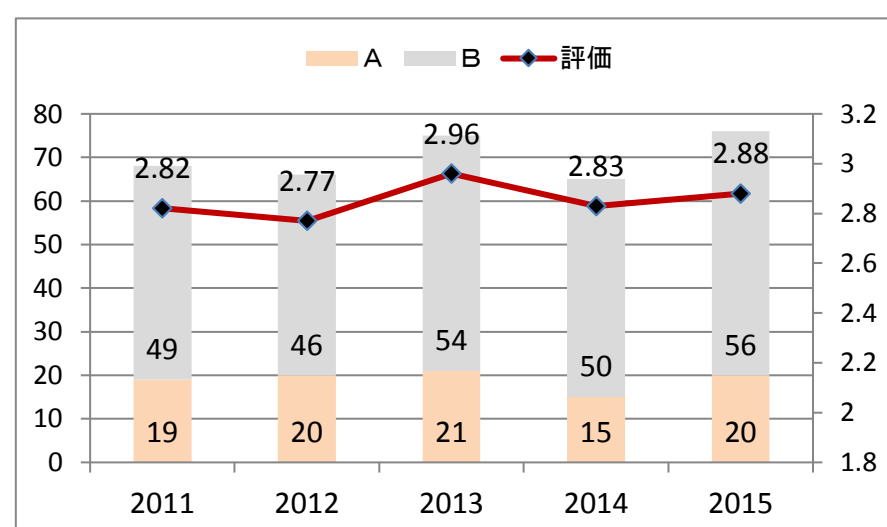


8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)

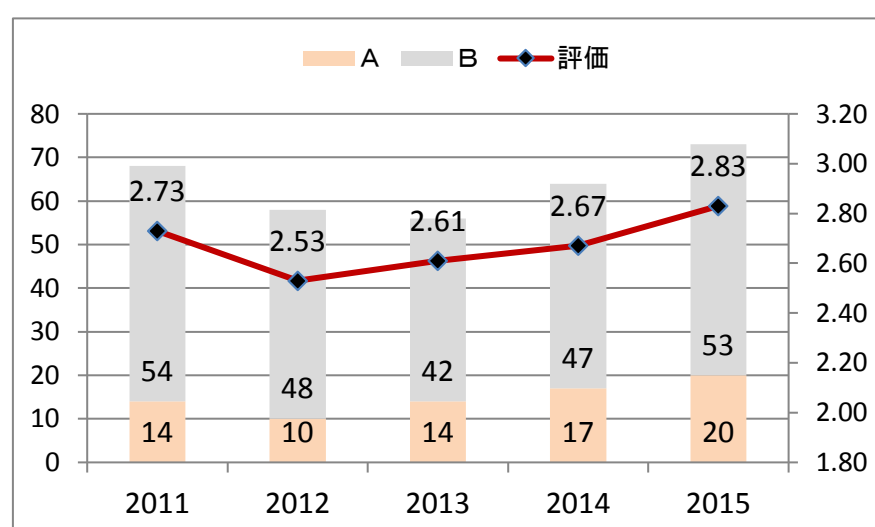


「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2011年～2015年） 【グラフ ⑨】

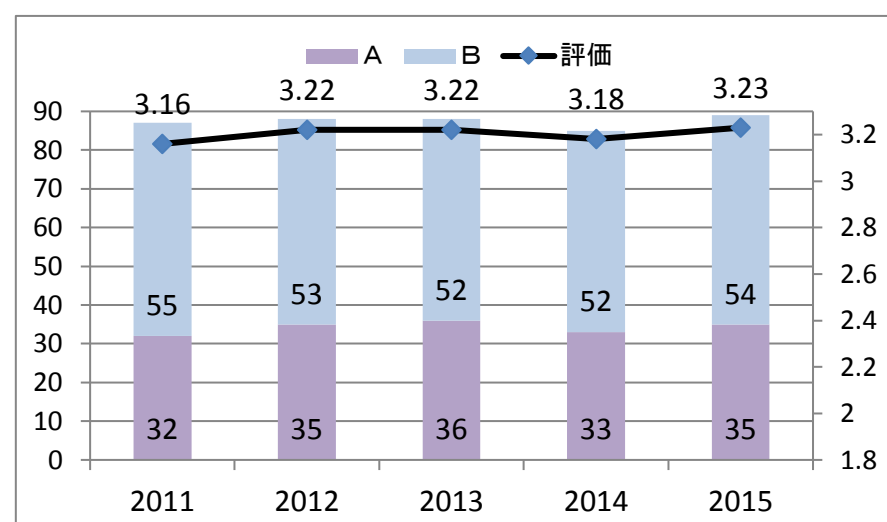
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



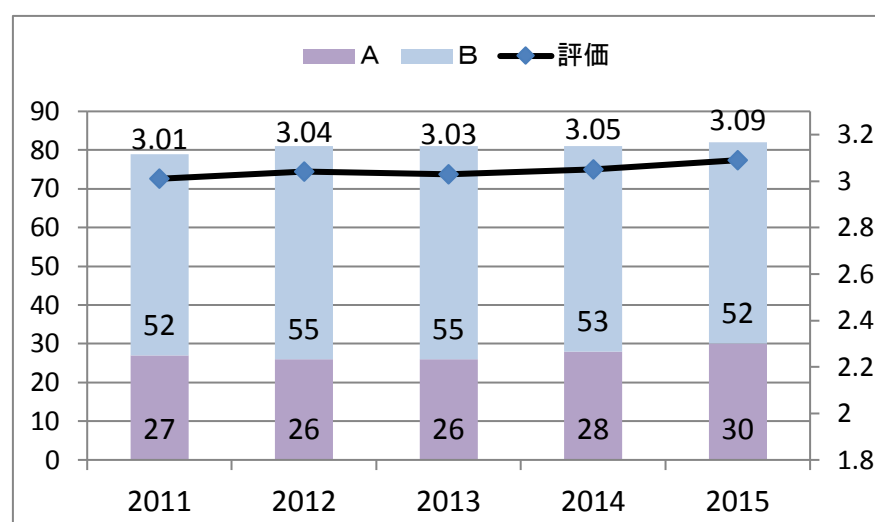
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



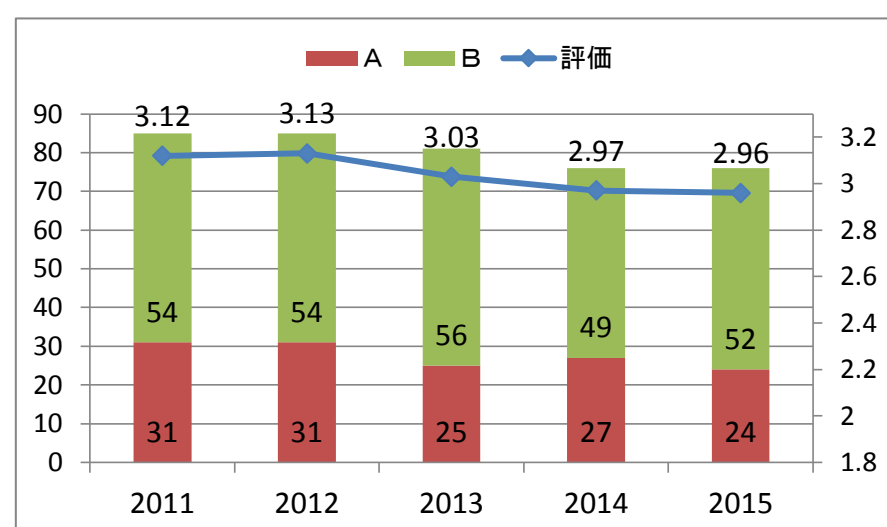
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



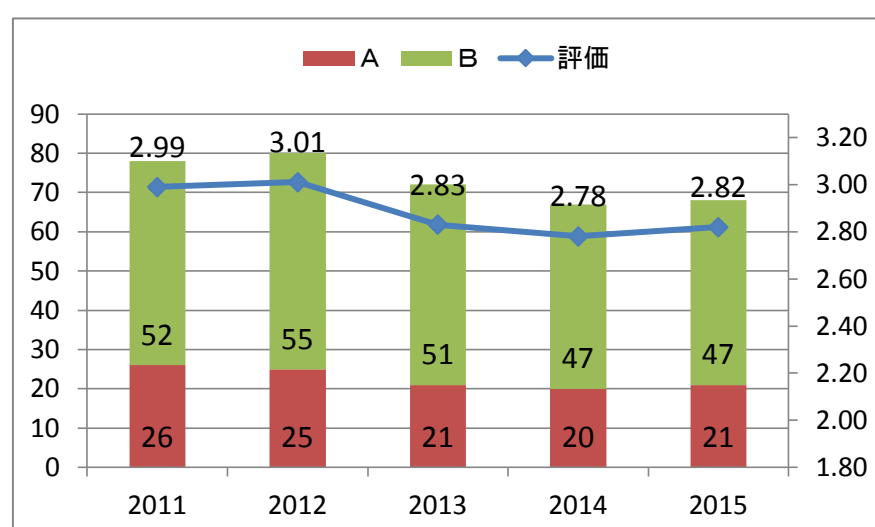
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



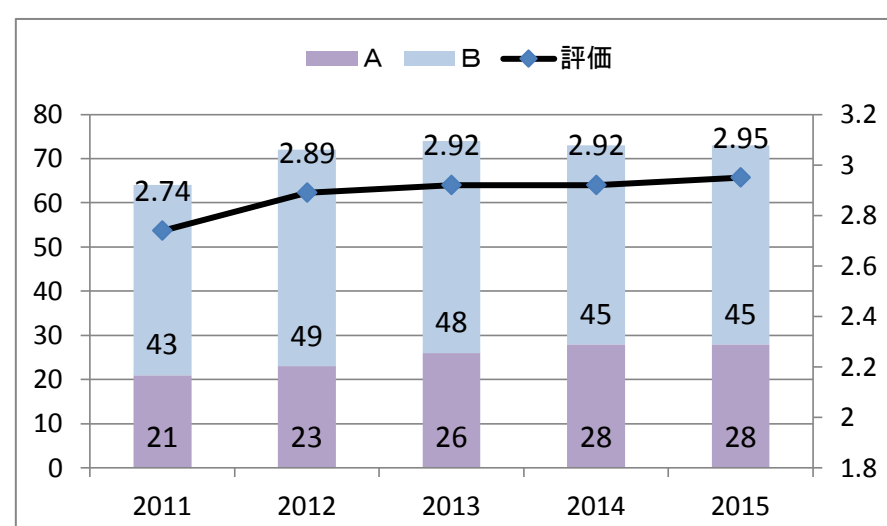
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



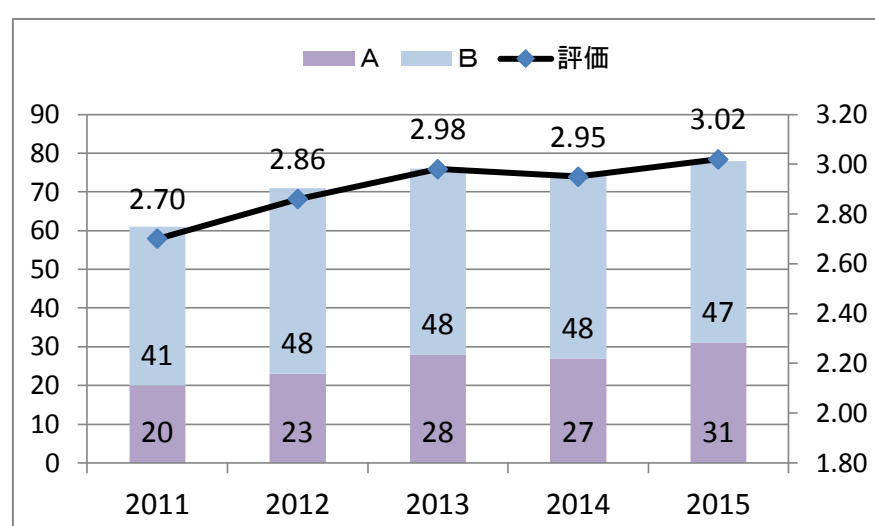
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



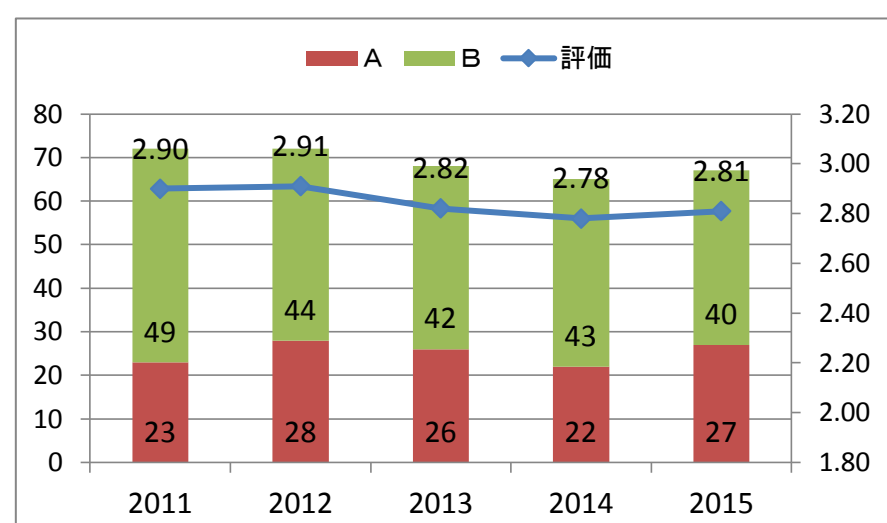
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



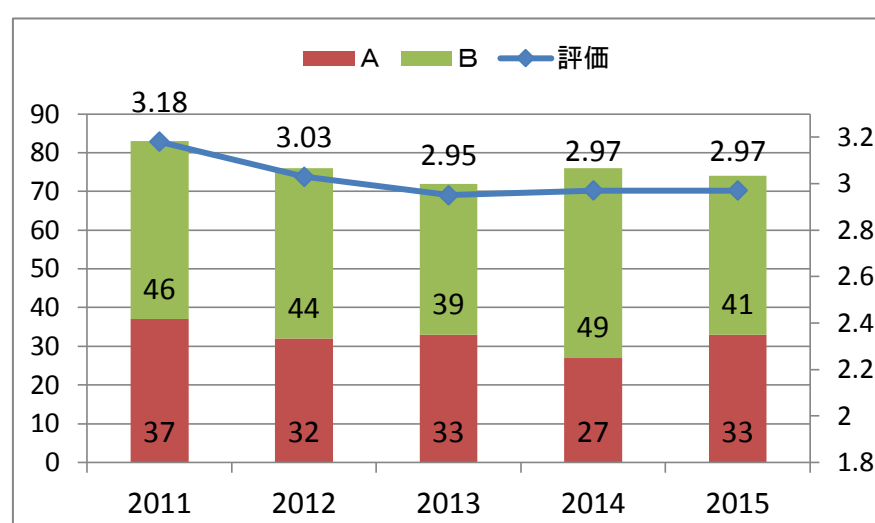
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



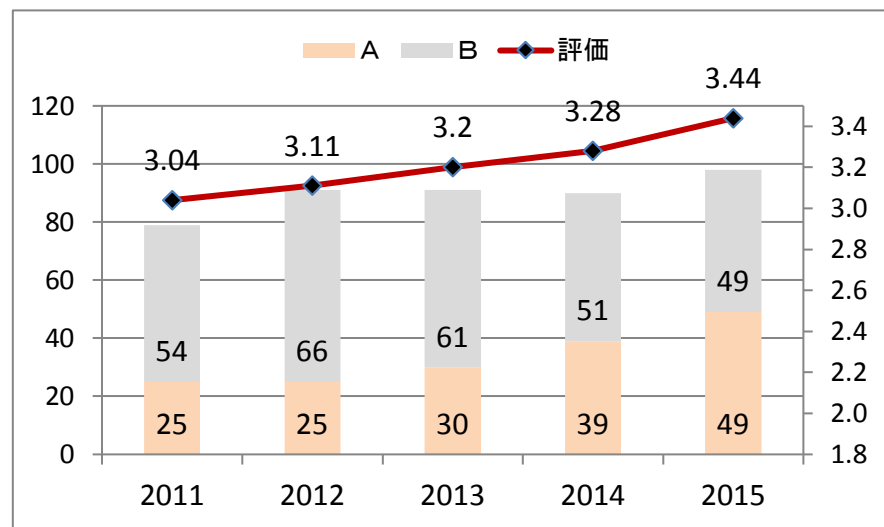
10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



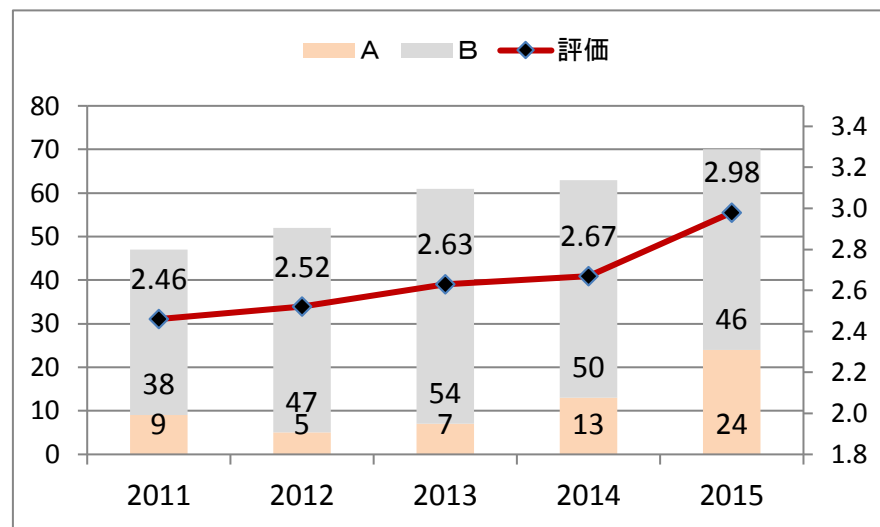
「進路指導体制」の推移（2011年～2015年）

【グラフ ⑩】

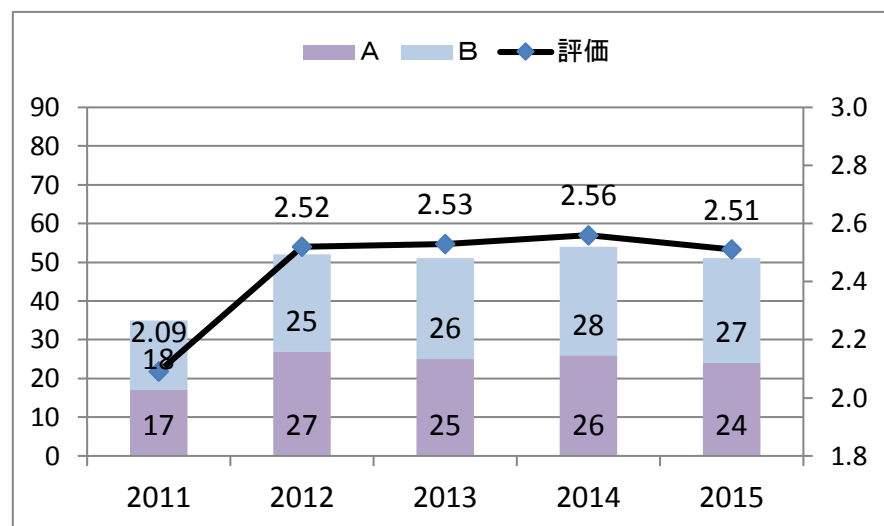
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている(教員組織)



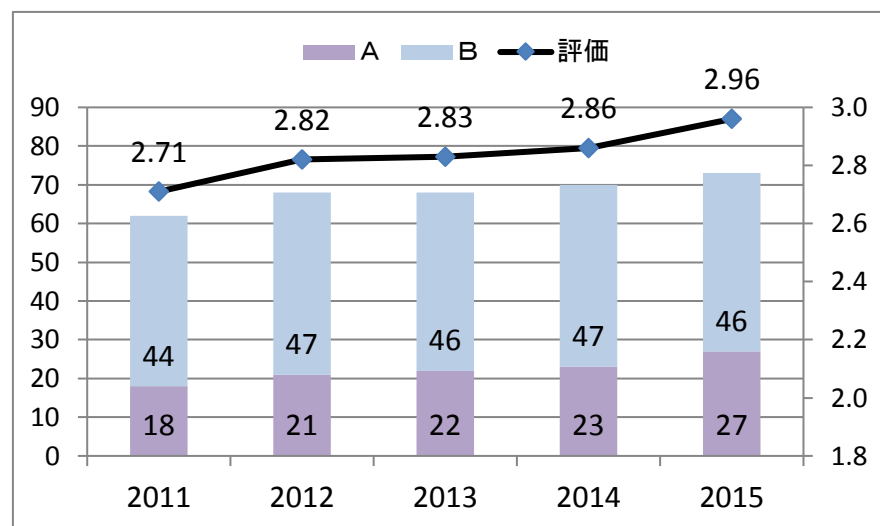
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である(教員組織)



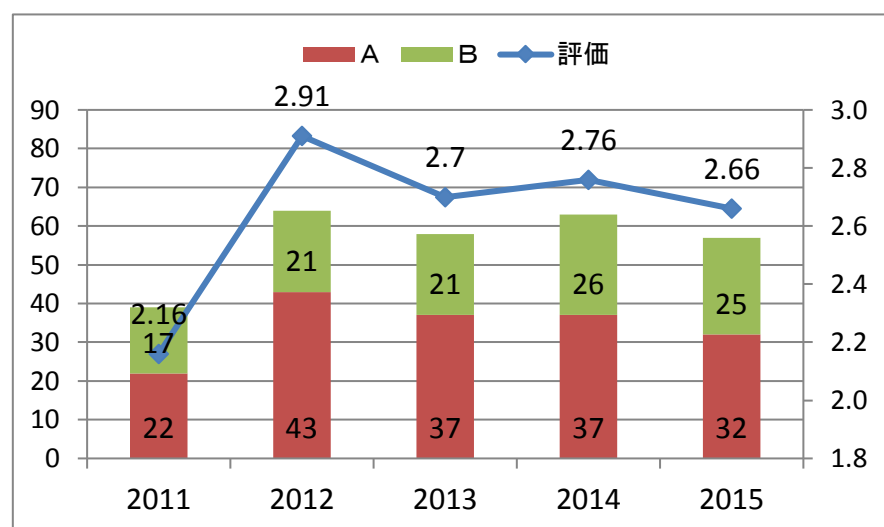
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか(高校保護者対象)



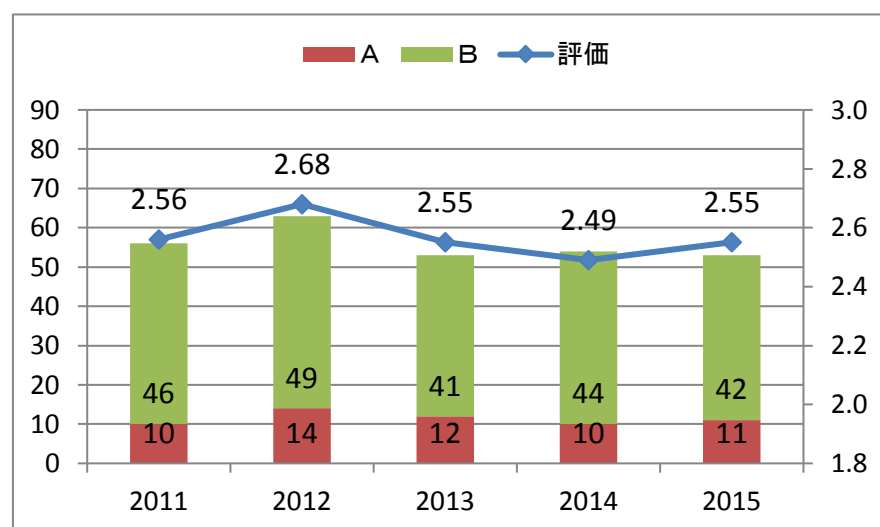
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校保護者対象)



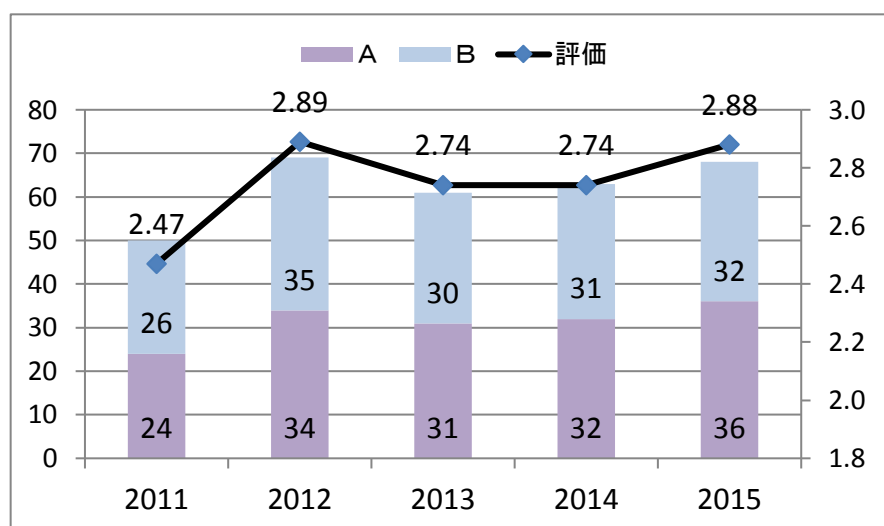
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか(中学校保護者対象)



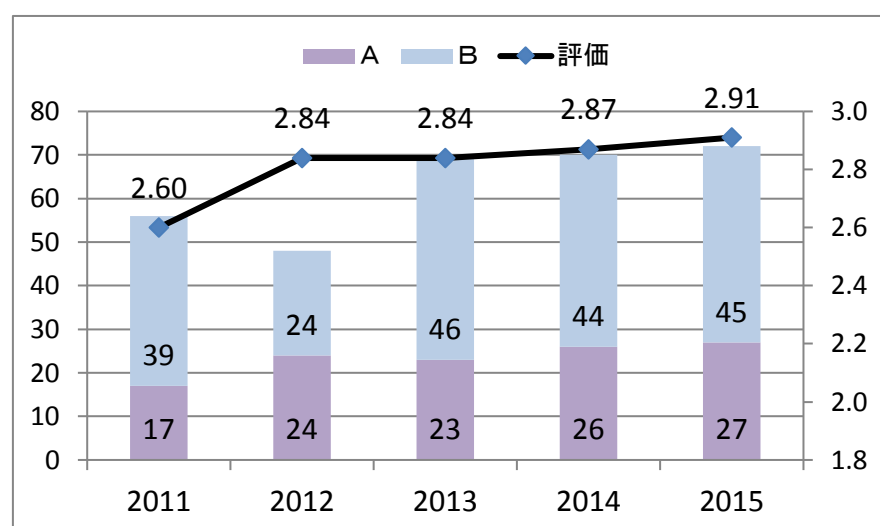
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学校保護者対象)



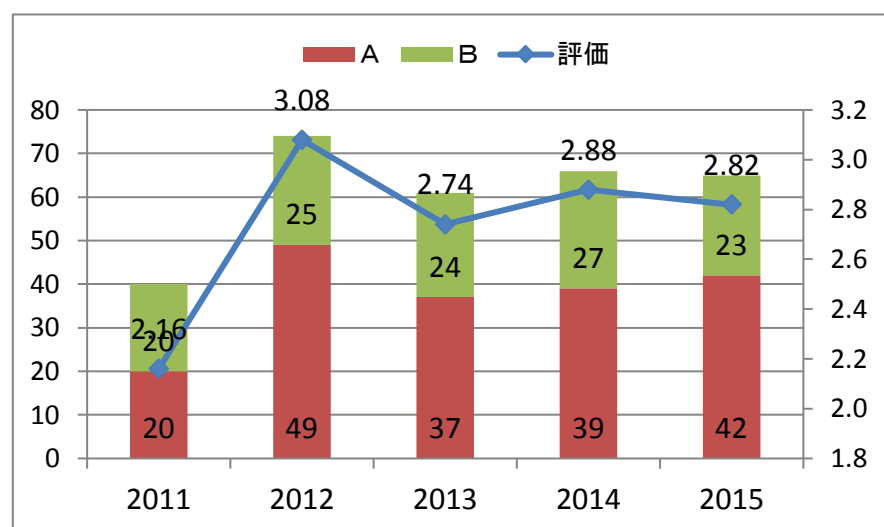
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか(高校生対象)



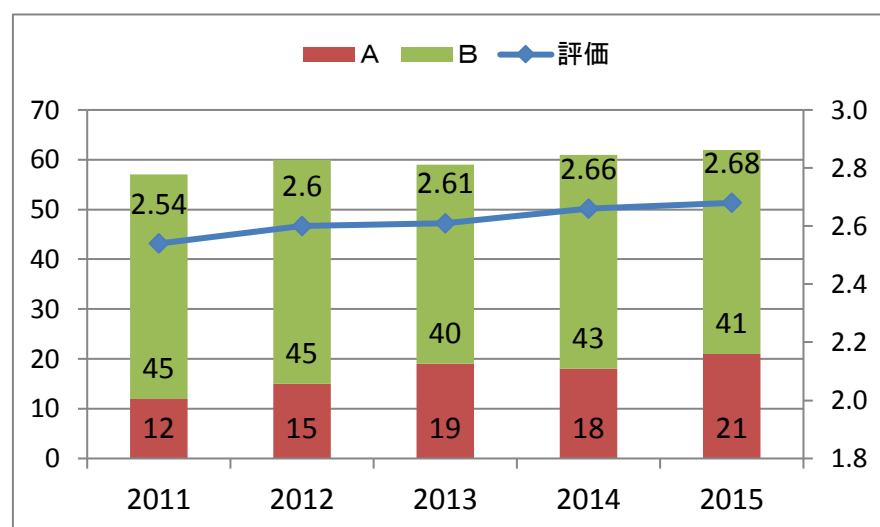
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校生対象)



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか(中学生対象)



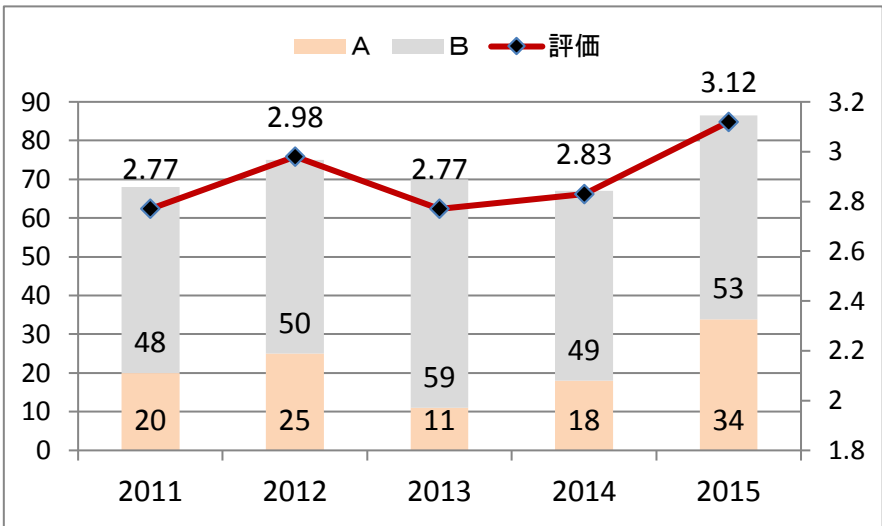
10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学生対象)



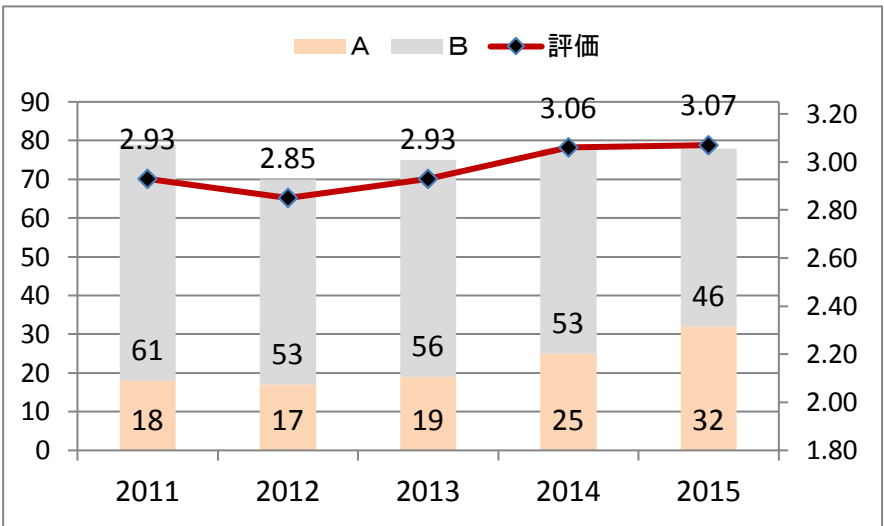
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2011年～2015年）

【グラフ ⑪】

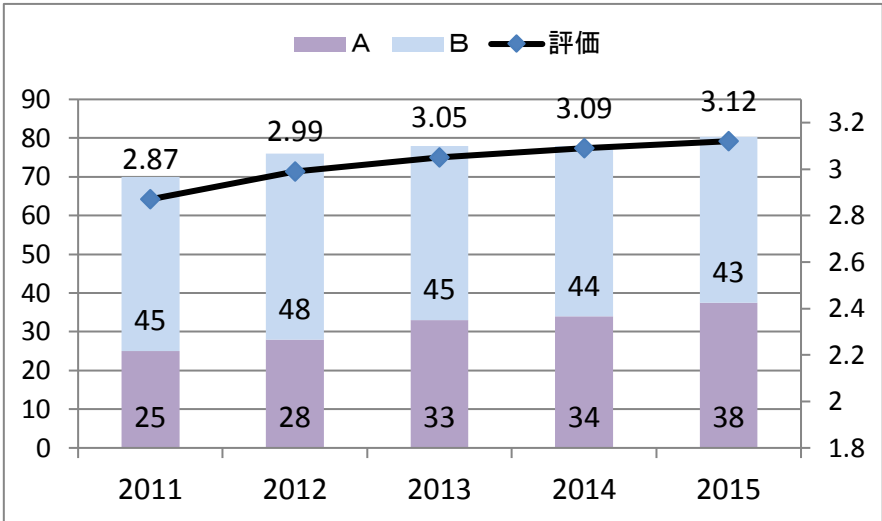
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



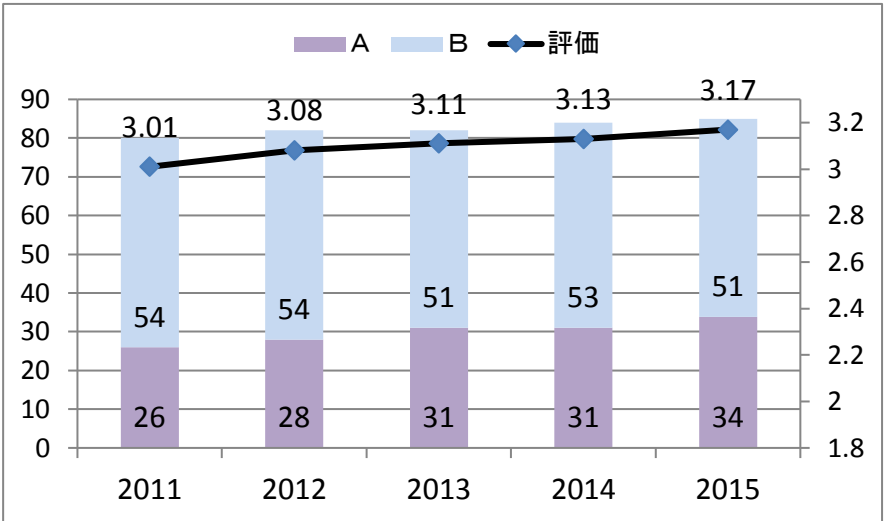
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



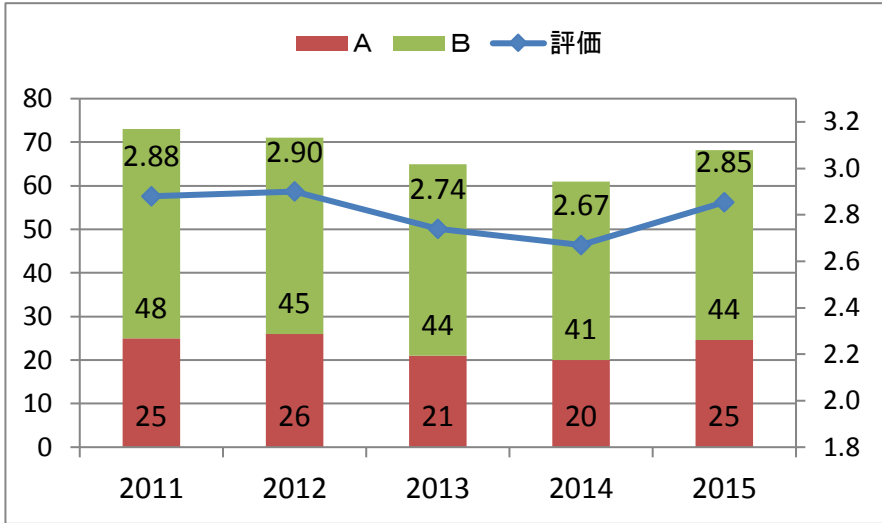
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



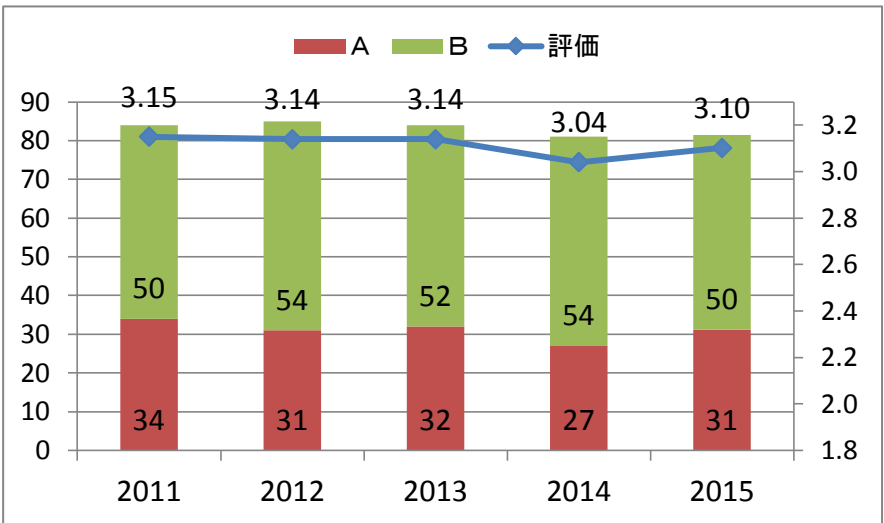
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



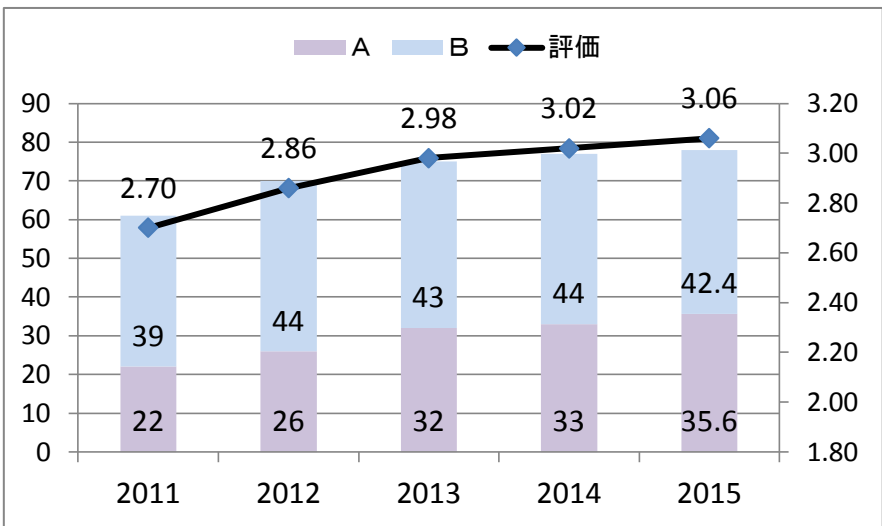
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



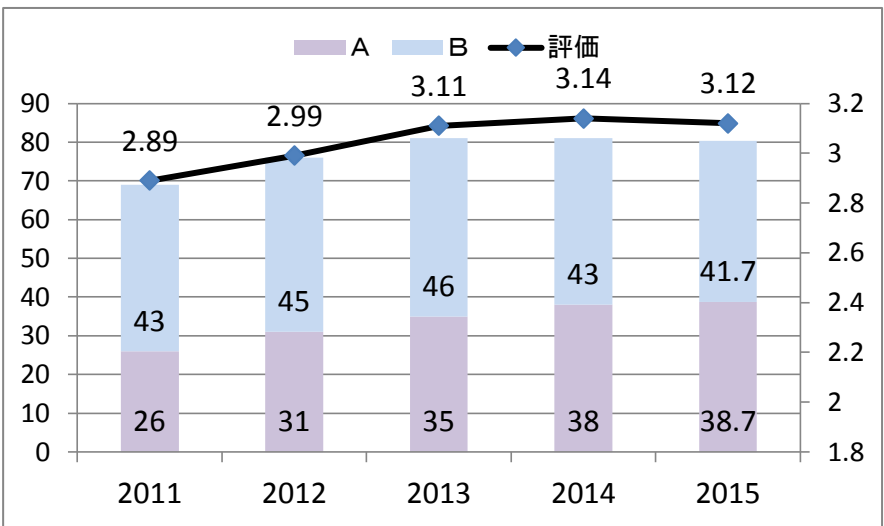
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



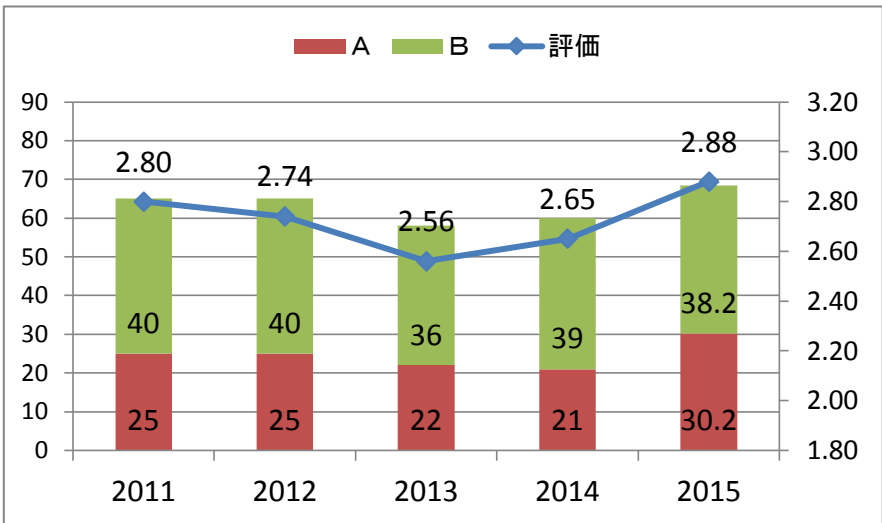
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



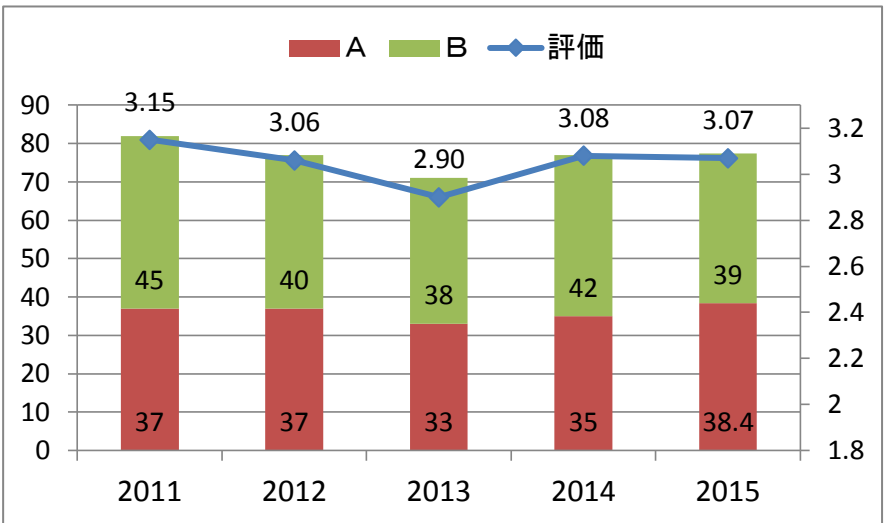
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



平成27年(2015)年度 学校評価 自己点検・評価項目 ―組 織― 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-1】

分類	大項目	No.		小項目	設 問	30項目	評価	A	B	C	D
学校 全般		○	1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。		3.32	33.9	64.4	1.7	0.0
		○	2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。		3.05	10.2	83.1	6.8	0.0
学 校 運 営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。		2.59	6.8	49.2	42.4	1.7
			4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。		2.78	22.0	40.7	33.9	3.4
	教職員間連携	○	5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。		2.59	16.9	44.1	30.5	8.5
			6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。		2.76	22.0	49.2	23.7	5.1
			7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。		2.73	20.3	44.1	32.2	3.4
			8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対する注意喚起および定期的な研修が行われている。		2.83	33.9	27.1	37.3	1.7
	情報公開		9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。		2.85	18.6	52.5	18.6	10.2
	危機管理	○	10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。		2.93	28.8	45.8	22.0	3.4
			11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。		3.20	40.7	44.1	15.3	0.0
	地域との連携		12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。		2.66	18.6	45.8	30.5	5.1
教 育 内 容	知 育	○	13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。		2.83	15.3	54.2	30.5	0.0
		○	14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。		2.59	11.9	49.2	35.6	3.4
		○	15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。		3.02	23.7	50.8	25.4	0.0
	徳 育	○	16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。		2.88	20.3	55.9	22.0	1.7
		○	17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。		2.98	25.4	52.5	22.0	0.0
			18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。		3.00	28.8	45.8	25.4	0.0
	体 育	○	19	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。		3.12	35.6	47.5	15.3	1.7
	人権教育		20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。		2.78	20.3	49.2	28.8	1.7
	学校間連携	○	21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。		2.95	30.5	45.8	20.3	3.4
生 徒 支 援	生徒指導		22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。		2.83	20.3	52.5	25.4	1.7
			23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。		2.73	23.7	35.6	39.0	1.7
	カウンセリング	○	24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。		3.44	49.2	49.2	1.7	0.0
	進路指導		25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。		2.98	23.7	45.8	28.8	1.7
	生徒会活動		26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。		3.12	33.9	52.5	11.9	1.7
			27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。		3.07	32.2	45.8	20.3	1.7
教員研修 資質向上	教員の研修活動	○	28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。		2.71	22.0	45.8	28.8	3.4
			29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。		2.66	16.9	42.4	35.6	5.1
その他	国際化		30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。		2.46	11.9	40.7	33.9	13.6

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない 2.88

平成27年(2015)年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	3.05	22.8	59.6	17.5	0.0
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.32	42.1	47.4	10.5	0.0
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.35	47.4	40.4	12.3	0.0
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.19	38.6	43.9	15.8	1.8
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.11	26.3	59.6	12.3	1.8
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対して的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.09	29.8	49.1	21.1	0.0
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.37	43.9	49.1	7.0	0.0
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.25	35.7	53.6	10.7	0.0
教育内容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.11	28.1	54.4	17.5	0.0
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.25	35.1	56.1	7.0	1.8
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	3.09	36.8	42.1	14.0	7.0
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.86	22.8	43.9	29.8	3.5
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	3.05	29.8	49.1	17.5	3.5
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.88	19.3	50.9	28.1	1.8
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.30	45.6	38.6	15.8	0.0
	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.18	31.6	54.4	14.0	0.0
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互惠関係を築く努力をしている。	3.05	24.6	57.9	15.8	1.8
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対しての理解を深め、積極的に協力をしている。	3.00	22.8	54.4	22.8	0.0
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.19	35.1	50.9	12.3	1.8
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.00	24.6	50.9	24.6	0.0
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.07	31.6	45.6	21.1	1.8
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.09	33.3	47.4	14.0	5.3
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.30	40.4	50.9	7.0	1.8
教員の 資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.88	22.8	49.1	21.1	7.0
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.81	15.8	52.6	28.1	3.5

注:○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

3.11

学校評価(教員対象) ―「組織面の自己評価」の年次比較(過去4力年)― 【資料1-3】

			教員 組織面の自己評価																					
					2012年度					2013年度					2014年度					2015年度				
分類	大項目	小項目	NO.		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校全般		学園生活	○	1	3.00	26.2	49.2	23.0	1.6	2.93	14.1	64.8	21.1	0.0	2.91	15.3	63.9	16.7	4.2	3.32	33.9	64.4	1.7	0.0
			○	2	2.70	8.2	55.7	34.4	1.6	2.73	8.5	57.7	32.4	1.4	2.66	7.0	56.3	32.4	4.2	3.05	10.2	83.1	6.8	0.0
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○	3	2.41	6.6	32.8	55.7	4.9	2.44	7.0	36.6	49.3	7.0	2.43	6.9	41.7	41.7	9.7	2.59	6.8	49.2	42.4	1.7
		合併の精神・併設校としての使命		4	2.51	13.6	35.6	39.0	11.9	2.25	2.8	33.8	49.3	14.1	2.52	9.7	44.4	33.3	12.5	2.78	22.0	40.7	33.9	3.4
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																						
		管理職と教員、教職員同士の間の連携		5	2.22	1.7	36.7	43.3	18.3	1.94	0.0	21.1	52.1	26.8	2.20	8.3	22.2	41.7	27.8	2.59	16.9	44.1	30.5	8.5
	教職員間連携	ミドルマネジメントの組織運営		6	2.12	3.3	30.0	41.7	25.0	2.10	1.4	24.3	57.1	17.1	2.39	6.9	40.3	38.9	13.9	2.76	22.0	49.2	23.7	5.1
		会議の有効性	○	7	2.46	8.2	37.7	45.9	8.2	2.28	5.6	33.8	43.7	16.9	2.54	9.7	40.3	38.9	11.1	2.73	20.3	44.1	32.2	3.4
		ハラスメントに関する研修		8											2.67	22.2	38.9	27.8	11.1	2.83	33.9	27.1	37.3	1.7
	情報公開	ホームページの活用	○	9	2.92	13.3	68.3	15.0	3.3	2.65	11.3	45.1	40.8	2.8	2.64	14.1	46.5	31.0	8.5	2.85	18.6	52.5	18.6	10.2
	危機管理	初動対応		10	2.70	16.7	45.0	30.0	8.3	2.65	15.5	42.3	33.8	8.5	2.66	15.5	45.1	28.2	11.3	2.93	28.8	45.8	22.0	3.4
		避難訓練や安全対策	○	11	3.07	29.5	49.2	19.7	1.6	3.23	36.6	49.3	14.1	0.0	2.98	33.3	43.1	15.3	8.3	3.20	40.7	44.1	15.3	0.0
	地域との連携	地域連携の推進		12	2.63	11.7	48.3	31.7	8.3	2.85	14.1	57.7	26.8	1.4	2.52	6.9	48.6	37.5	6.9	2.66	18.6	45.8	30.5	5.1
	分掌と学年	分掌における役割																						
		学年における役割																						
教育内容	知 育	基礎学力の習得																						
		学力向上における組織的な取組	○	13	2.51	9.8	41.0	39.3	9.8	2.54	7.0	50.7	31.0	11.3	2.37	8.3	40.3	38.9	12.5	2.83	15.3	54.2	30.5	0.0
		模試や入試問題の活用																						
		スローラーナーへの対応	○	14	2.75	16.4	44.3	37.7	1.6	2.63	9.9	47.9	38.0	4.2	2.57	6.9	52.8	33.3	6.9	2.59	11.9	49.2	35.6	3.4
		授業評価の活用																						
	徳 育	保護者との連携	○	15	2.98	23.0	54.1	21.3	1.6	2.83	15.5	52.1	32.4	0.0	2.81	13.9	59.7	25.0	1.4	3.02	23.7	50.8	25.4	0.0
		社会規範の理解とモラルの醸成	○	16	2.77	19.7	45.9	26.2	8.2	2.96	21.1	53.5	25.4	0.0	2.83	15.3	50.0	29.2	5.6	2.88	20.3	55.9	22.0	1.7
		いじめへの対応		17											2.74	15.3	45.8	34.7	4.2	2.98	25.4	52.5	22.0	0.0
	体 育	ボランティア活動の推進		18	2.62	15.0	38.3	40.0	6.7	3.10	31.0	50.7	15.5	2.8	2.89	23.6	52.8	18.1	5.6	3.00	28.8	45.8	25.4	0.0
		健康な身体づくり	○	19	3.05	30.0	50.0	15.0	5.0	3.10	28.2	56.3	12.7	2.8	3.06	22.2	59.7	13.9	4.2	3.12	35.6	47.5	15.3	1.7
人権教育	人権に対する指導体制		20	2.90	21.7	48.3	28.3	1.7	2.86	16.9	56.3	22.5	4.2	2.72	11.1	59.7	22.2	6.9	2.78	20.3	49.2	28.8	1.7	
学校間連携	中高大連携事業の実践	○	21	2.77	30.0	26.7	33.3	10.0	2.93	22.5	52.1	21.1	4.2	2.72	18.1	41.7	34.7	5.6	2.95	30.5	45.8	20.3	3.4	
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性		22	2.53	10.0	48.3	26.7	15.0	2.61	14.1	42.3	33.8	9.9	2.67	16.9	46.5	26.8	9.9	2.83	20.3	52.5	25.4	1.7
		家庭との連携状況		23	2.87	16.7	58.3	20.0	5.0	2.86	16.9	56.3	22.5	4.2	2.54	8.3	48.6	30.6	12.5	2.73	23.7	35.6	39.0	1.7
		組織的な指導体制			2.47	10.0	40.0	36.7	13.3	2.28	5.6	35.2	40.8	18.3										
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○	24	3.11	24.6	65.6	6.6	3.3	3.20	29.6	60.6	9.9	0.0	3.28	38.9	51.4	8.3	1.4	3.44	49.2	49.2	1.7	0.0
	進路指導	進路指導体制		25	2.52	5.0	46.7	43.3	5.0	2.63	7.0	53.5	35.2	4.2	2.67	12.5	50.0	31.9	5.6	2.98	23.7	45.8	28.8	1.7
	生徒会活動	部活動支援状況		26	2.98	25.0	50.0	23.3	1.7	2.77	11.4	58.6	25.7	4.3	2.83	18.1	48.6	30.6	2.8	3.12	33.9	52.5	11.9	1.7
		学校行事指導体制		27	2.85	16.7	53.3	28.3	1.7	2.93	18.6	55.7	25.7	0.0	3.06	25.0	52.8	20.8	1.4	3.07	32.2	45.8	20.3	1.7
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	○	28	2.43	8.2	36.1	45.9	9.8	2.53	8.6	47.1	32.9	11.4	2.48	11.1	36.1	43.1	9.7	2.71	22.0	45.8	28.8	3.4
		教員相互の資質向上体制		29	2.62	13.3	48.3	25.0	13.3	2.44	5.7	41.4	44.3	8.6	2.44	11.1	41.7	33.3	13.9	2.66	16.9	42.4	35.6	5.1
その他	国際化	国際理解		30	2.24	3.4	40.7	32.2	23.7	2.33	7.1	30.0	51.4	11.4	2.44	5.6	47.2	34.7	12.5	2.46	11.9	40.7	33.9	13.6

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): と思う B(3): どちらかといえば思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象) ―「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)― 【資料1-4】

			教員 個人面の自己評価																					
				2012年度					2013年度					2014年度					2015年度					
分類	大項目	小項目		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
学校全般		学園生活																						
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	2.77	16.4	47.5	32.8	3.3	2.90	20.6	52.9	22.1	4.4	2.85	15.3	59.7	19.4	5.6	3.05	22.8	59.6	17.5	0.0	
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.23	36.1	50.8	13.1	0.0	3.19	32.4	55.9	10.3	1.5	3.25	37.5	52.8	6.9	2.8	3.32	42.1	47.4	10.5	0.0	
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.54	63.9	27.9	6.6	1.6	3.32	47.1	41.2	8.8	2.9	3.26	37.5	51.4	11.1	0.0	3.35	47.4	40.4	12.3	0.0	
	教職員間連携	教員間連携	4	2.95	21.3	60.7	9.8	8.2	3.06	33.8	42.6	19.1	4.4	2.99	30.6	41.7	23.6	4.2	3.19	38.6	43.9	15.8	1.8	
		管理職と教員との連携	5	3.07	27.9	54.1	14.8	3.3	3.06	22.1	61.8	16.2	0.0	3.03	23.6	58.3	15.3	2.8	3.11	26.3	59.6	12.3	1.8	
		会議の有効性																						
		ハラスメントに関する研修																						
	情報公開	ホームページの活用																						
	危機管理	初動対応	6	3.02	31.1	44.3	19.7	4.9	3.04	26.5	55.9	13.2	4.4	3.14	37.5	43.1	15.3	4.2	3.09	29.8	49.1	21.1	0.0	
		避難訓練や安全対策																						
地域との連携	地域連携の推進																							
分掌と学年	分掌における役割	7	3.35	45.0	46.7	6.7	1.7	3.21	37.3	47.8	13.4	1.5	3.22	43.1	40.3	12.5	4.2	3.37	43.9	49.1	7.0	0.0		
	学年における役割	8	3.18	29.5	62.3	4.9	3.3	3.19	29.4	60.3	10.3	0.0	3.14	34.7	47.2	15.3	2.8	3.25	35.7	53.6	10.7	0.0		
教育内容	知 育	基礎学力の習得	9	3.10	36.1	39.3	23.0	1.6	3.19	29.4	61.8	7.4	1.5	3.11	30.6	52.8	13.9	2.8	3.11	28.1	54.4	17.5	0.0	
		学力向上における組織的な取組	10	3.28	39.3	49.2	11.5	0.0	3.26	35.3	57.4	5.9	1.5	3.17	38.9	40.3	19.4	1.4	3.25	35.1	56.1	7.0	1.8	
		模試や入試問題の活用	11	3.15	33.3	50.0	15.0	1.7	3.00	22.1	61.8	10.3	5.9	3.04	34.7	40.3	19.4	5.6	3.09	36.8	42.1	14.0	7.0	
		スローラーナーへの対応	12	2.85	23.0	42.6	31.1	3.3	2.81	19.1	45.6	32.4	2.9	2.69	15.3	45.8	31.9	6.9	2.86	22.8	43.9	29.8	3.5	
		授業評価の活用	13	3.11	29.5	55.7	11.5	3.3	2.93	16.2	63.2	17.6	2.9	2.86	18.3	54.9	21.1	5.6	3.05	29.8	49.1	17.5	3.5	
		保護者との連携	14	2.93	26.7	48.3	16.7	8.3	2.71	17.6	45.6	26.5	10.3	2.73	19.7	43.7	26.8	9.9	2.88	19.3	50.9	28.1	1.8	
	徳 育	社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.28	44.3	41.0	13.1	1.6	3.26	32.4	61.8	5.9	0.0	3.28	38.9	52.8	5.6	2.8	3.30	45.6	38.6	15.8	0.0	
		いじめへの対応																						
		ボランティア活動の推進																						
	体 育	健康な身体づくり	16	3.13	36.1	44.3	16.4	3.3	3.15	33.8	48.5	16.2	1.5	3.14	27.8	59.7	11.1	1.4	3.18	31.6	54.4	14.0	0.0	
	人権教育	人権に対する指導体制	17	3.33	45.9	42.6	9.8	1.6	3.22	35.3	52.9	10.3	1.5	3.21	31.9	58.3	8.3	1.4	3.05	24.6	57.9	15.8	1.8	
	学校間連携	中高大連携事業の実践	18	3.00	19.7	60.7	19.7	0.0	3.03	23.5	57.4	17.6	1.5	2.94	25.0	48.6	22.2	4.2	3.00	22.8	54.4	22.8	0.0	
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	19	3.00	26.2	52.5	16.4	4.9	3.16	29.4	58.8	10.3	1.5	3.01	26.4	50.0	22.2	1.4	3.19	35.1	50.9	12.3	1.8	
		家庭との連携状況	20	3.03	31.7	46.7	15.0	6.7	2.96	23.5	54.4	16.2	5.9	2.85	22.2	44.4	29.2	4.2	3.00	24.6	50.9	24.6	0.0	
		組織的な指導体制																						
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制																						
	進路指導	進路指導体制	21	2.72	14.8	52.5	23.0	9.8	2.81	16.2	54.4	23.5	5.9	2.79	19.4	45.8	29.2	5.6	3.07	31.6	45.6	21.1	1.8	
		部活動支援状況	22	2.97	31.1	41.0	21.3	6.6	3.04	38.2	30.9	27.9	2.9	3.01	33.3	43.1	15.3	8.3	3.09	33.3	47.4	14.0	5.3	
	生徒会活動	学校行事指導体制	23	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.13	29.4	55.9	13.2	1.5	3.03	29.2	48.6	18.1	4.2	3.30	40.4	50.9	7.0	1.8	
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	24	2.80	24.6	37.7	31.1	6.6	2.84	17.6	51.5	27.9	2.9	2.97	31.9	38.9	23.6	5.6	2.88	22.8	49.1	21.1	7.0	
		教員相互の資質向上体制	25	2.62	18.0	39.3	29.5	13.1	2.67	7.5	56.7	31.3	4.5	2.67	17.9	40.3	32.8	9.0	2.81	15.8	52.6	28.1	3.5	
その他	国際化	国際理解																						

注： 3.07 3.05 3.02 3.11
「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): と思う B(3): どちらかといえばと思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

平成27年(2015)年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート ―高中別― 【資料2①】

			高等学校					中学校				
		設 問（保護者対象） 20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われますか。	3.31	48.0	37.4	11.7	2.8	3.26	43.2	42.6	11.1	3.0
2		ご子女を本校に入学させて良かったと思われますか。	3.30	46.6	38.5	12.6	2.2	3.05	31.0	47.8	16.7	4.5
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.06	25.7	57.1	14.9	2.4	3.03	23.1	58.4	17.1	1.5
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われますか。	2.83	19.8	51.6	20.5	8.1	2.83	20.1	49.8	23.7	6.3
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思われますか。	2.99	22.5	57.6	16.3	3.6	2.88	23.4	47.4	22.8	6.3
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策などが行き届いていると思われますか。	2.80	16.6	51.5	26.7	5.2	2.75	17.8	45.3	30.5	6.3
7	学力向上における組織的な取組	学力向上のために組織的な取組を行っていると思われますか。	2.88	23.2	48.2	22.4	6.2	2.71	20.3	41.2	28.1	10.4
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われますか。	2.70	15.9	46.0	30.6	7.5	2.53	15.2	37.3	32.8	14.6
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われますか。	3.05	29.6	49.2	18.2	3.0	2.86	22.2	47.0	25.7	5.1
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われますか。	3.22	35.4	52.6	10.9	1.1	2.96	24.0	51.8	21.0	3.3
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われますか。	3.08	25.9	58.0	13.9	2.2	2.93	23.1	52.4	19.5	5.1
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われますか。	3.25	36.5	52.4	10.5	0.6	3.09	26.0	58.4	14.1	1.5
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われますか。	3.14	33.8	48.4	15.8	2.0	2.96	24.4	50.9	21.1	3.6
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われますか。	3.06	27.9	52.6	17.1	2.5	2.83	21.4	46.7	25.3	6.6
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われますか。	2.88	22.2	47.6	26.1	4.1	2.76	20.3	40.9	33.4	5.4
16	カウンセリング体制	必要なときは、保護者もカウンセリングを受けられることをご存知ですか。	2.41	21.6	25.1	28.3	25.1	2.66	32.4	25.2	20.1	22.2
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われますか。	2.84	21.0	48.6	24.3	6.1	2.55	11.1	41.7	38.4	8.7
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われますか。	3.12	37.5	42.9	13.7	5.8	2.85	24.6	43.5	25.2	6.6
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われますか。	3.17	33.8	51.2	13.1	1.9	3.10	31.1	50.3	16.2	2.4
20	教員研修体制	本校の教員に、教材研究や指導力の向上に努めようとする意欲を感じられますか。	2.85	19.7	50.0	25.7	4.5	2.65	18.1	39.5	32.2	10.2
21	事務室の対応	本校の事務室の対応（窓口・電話）は適切であり、誠意をもって対応していると思われますか。	3.30	40.3	50.6	7.7	1.4	3.28	42.2	45.5	10.2	2.1
評価平均 2015年度			3.01						2.88			
2014年度			2.99						2.88			
2013年度			2.98						2.91			
2012年度			3.00						3.05			

評価基準について A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

平成27年(2015)年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) ―過去4カ年比較― 【資料2-1】

				高等学校																				
				2012年度					2013年度					2014年度					2015年度					
分類	大項目	NO		小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.33	48.5	38.8	9.6	3.2	3.36	49.4	39.5	9.0	2.2	3.37	50.0	38.1	10.7	1.2	3.31	48.0	37.4	11.7	2.8
		○	2		3.32	48.4	38.8	9.2	3.6	3.36	49.9	38.3	9.2	2.6	3.33	48.5	38.7	10.3	2.5	3.30	46.6	38.5	12.6	2.2
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.09	26.9	57.3	13.6	2.2	3.05	26.0	55.9	15.4	2.7	3.05	24.9	58.3	14.4	2.4	3.06	25.7	57.1	14.9	2.4
	情報公開	○	4	HPの活用	3.02	28.4	49.5	17.8	4.3	2.68	14.7	48.9	25.6	10.7	2.69	16.5	47.3	24.9	11.2	2.83	19.8	51.6	20.5	8.1
	危機管理		5	初動対応	2.99	20.3	62.0	14.8	2.9	2.95	20.3	58.2	17.6	3.9	3.02	24.1	56.4	16.0	3.4	2.99	22.5	57.6	16.3	3.6
		○	6	避難訓練や安全対策	2.91	15.3	63.2	19.6	2.0	2.76	15.3	51.8	26.4	6.5	2.78	15.7	51.2	27.8	5.3	2.80	16.6	51.5	26.7	5.2
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.91	26.4	45.3	21.7	6.5	2.91	25.3	46.4	21.9	6.4	2.89	23.2	47.4	23.7	5.7	2.88	23.2	48.2	22.4	6.2
		○	8	スローラーナーへの対応	2.72	19.3	41.7	31.2	7.7	2.70	17.6	44.1	28.5	9.8	2.72	15.7	48.2	28.5	7.6	2.70	15.9	46.0	30.6	7.5
		○	9	保護者との連携	3.02	28.7	47.6	21.2	2.6	2.99	27.7	48.6	18.9	4.9	2.98	26.6	49.3	19.8	4.4	3.05	29.6	49.2	18.2	3.0
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.22	35.3	53.0	9.8	1.8	3.22	35.9	52.1	10.0	1.9	3.18	33.4	52.3	12.6	1.6	3.22	35.4	52.6	10.9	1.1
		○	11	いじめへの対応												3.03	22.8	59.8	14.5	2.8	3.08	25.9	58.0	13.9
	体 育	○	11	健康な身体づくり	3.16	31.5	54.8	12.4	1.3	3.21	34.9	52.6	11.2	1.3	3.21	34.7	52.5	11.4	1.4	3.25	36.5	52.4	10.5	0.6
	学校間連携	○	12	中高大連携事業の実践	2.99	26.3	50.2	20.0	3.5	2.99	27.6	48.2	20.2	4.1	3.01	27.0	50.4	19.7	2.9	3.14	33.8	48.4	15.8	2.0
生徒指導・生徒支援	生徒指導		13	指導方針の一貫性	3.04	26.2	55.3	15.0	3.5	3.03	26.4	54.6	15.0	4.0	3.05	27.5	53.1	15.7	3.7	3.06	27.9	52.6	17.1	2.5
			14	家庭との連携状況	2.76	16.6	49.0	28.8	5.7	2.76	17.3	47.7	28.8	6.1	2.78	17.9	47.3	29.7	5.1	2.88	22.2	47.6	26.1	4.1
	カウンセリング	○	15	カウンセリング体制	2.52	27.0	25.2	21.5	26.2	2.53	25.3	26.4	24.0	24.4	2.56	26.1	27.7	25.2	21.0	2.41	21.6	25.1	28.3	25.1
	進路指導		16	進路指導体制	2.82	21.3	46.7	24.8	7.2	2.83	22.1	46.2	24.5	7.2	2.86	22.6	47.4	23.7	6.4	2.84	21.0	48.6	24.3	6.1
	生徒会活動		17	部活動支援状況	2.99	28.4	47.7	19.2	4.8	3.05	33.2	44.7	15.8	6.3	3.09	34.2	44.2	17.6	3.9	3.12	37.5	42.9	13.7	5.8
			18	学校行事指導体制	3.08	28.3	53.9	15.7	2.2	3.11	31.4	50.9	15.0	2.7	3.13	31.1	52.7	14.1	2.0	3.17	33.8	51.2	13.1	1.9
教員研修	教員の研修活動	○	19	教員研修体制	2.86	21.3	49.5	23.1	6.1	2.85	20.1	50.2	24.1	5.6	2.81	18.6	50.3	24.0	7.1	2.85	19.7	50.0	25.7	4.5
その他	窓口対応		20	事務室の対応	3.28	42.1	47.0	8.1	2.8	3.30	43.1	46.1	7.9	2.8	3.26	38.8	50.4	8.4	2.4	3.30	40.3	50.6	7.7	1.4

注：○は併設校共通項目

3.00

2.98

2.99

3.01

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

				中学校																			
				2012年度					2013年度					2014年度					2015年度				
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.35	47.4	42.9	7.2	2.4	3.21	41.6	41.3	13.8	3.4	3.19	44.4	36.4	13.3	5.9	3.26	43.2	42.7	11.1	3.0
		○ 2		3.32	47.4	39.0	11.1	2.4	3.19	39.4	44.3	12.2	4.0	2.98	30.7	43.0	19.7	6.6	3.05	30.8	47.9	16.8	4.5
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.26	37.8	51.4	10.0	0.9	3.11	27.0	58.3	13.2	1.5	3.06	29.1	50.7	17.5	2.7	3.03	22.8	58.5	17.2	1.5
	情報公開	○ 4	HPの活用	3.14	38.1	41.4	16.2	4.2	2.69	17.8	44.3	27.1	10.8	2.84	20.0	52.5	18.5	9.0	2.83	20.0	50.0	23.7	6.3
	危機管理	○ 5	初動対応	2.96	27.0	48.5	18.5	6.1	2.90	26.6	44.3	21.7	7.3	2.99	29.9	46.6	16.4	7.2	2.88	23.4	47.5	22.9	6.2
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.98	22.5	54.7	20.7	2.1	2.68	17.6	42.1	31.3	9.0	2.84	21.0	47.6	26.0	5.4	2.74	17.7	45.4	30.6	6.3
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	3.08	34.4	44.4	15.4	5.7	2.82	24.2	41.6	26.3	8.0	2.71	19.5	42.6	26.7	11.1	2.71	20.1	41.1	28.2	10.6
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.86	25.5	45.0	19.8	9.7	2.71	20.4	39.9	29.7	9.9	2.63	18.0	41.0	26.6	14.4	2.53	15.1	37.2	33.0	14.7
		○ 9	保護者との連携	2.89	23.9	47.1	23.0	6.0	2.87	23.6	46.9	22.7	6.7	2.85	23.1	45.4	24.9	6.5	2.85	21.9	46.9	25.9	5.2
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.13	30.7	53.6	13.3	2.4	3.03	24.8	56.3	16.2	2.8	2.97	26.5	48.8	19.9	4.8	2.96	23.9	51.7	21.1	3.3
		○ 11	いじめへの対応												2.96	25.2	51.6	17.2	5.9	2.93	23.0	52.4	19.6
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.27	38.6	50.9	9.0	1.5	3.21	35.2	52.0	11.3	1.5	3.18	34.3	51.8	11.8	2.1	3.09	25.9	58.5	14.1	1.5
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.13	33.9	47.4	15.9	2.7	3.05	28.7	51.7	15.6	4.0	2.91	24.1	49.7	19.3	6.8	2.96	24.3	50.9	21.3	3.6
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.01	25.1	55.3	15.4	4.2	2.83	20.5	50.8	20.5	8.3	2.78	20.3	47.2	22.4	10.1	2.82	21.2	46.5	25.6	6.7
		○ 15	家庭との連携状況	2.79	20.2	45.5	27.1	7.2	2.80	21.8	42.9	28.5	6.7	2.81	20.2	48.1	24.3	7.4	2.75	20.0	40.9	33.6	5.5
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	2.91	43.4	21.1	18.4	17.2	2.70	37.3	20.5	17.4	24.8	2.76	37.0	25.9	15.4	21.7	2.66	32.4	25.2	20.2	22.2
	進路指導	○ 17	進路指導体制	2.68	14.1	49.2	27.3	9.3	2.55	12.3	40.6	36.9	10.2	2.49	10.1	43.8	31.5	14.6	2.55	10.9	41.5	38.7	8.8
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	2.90	26.0	45.4	20.9	7.8	2.74	20.6	43.7	25.2	10.5	2.67	20.2	41.4	24.1	14.3	2.85	24.5	43.6	25.2	6.7
		○ 19	学校行事指導体制	3.14	31.2	53.8	12.6	2.4	3.14	31.8	52.0	14.4	1.8	3.04	27.0	53.7	15.7	3.6	3.10	31.1	50.2	16.3	2.5
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.92	24.6	49.8	18.9	6.6	2.70	17.5	45.1	27.6	9.8	2.60	15.9	41.7	30.0	12.3	2.65	17.8	39.6	32.3	10.3
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.29	43.8	45.3	7.3	3.6	3.25	42.5	43.2	11.5	2.8	3.30	42.5	46.4	9.6	1.5	3.27	42.0	45.6	10.4	2.1

注：○は併設校共通項目 3.05 2.91 2.88 2.88

評価基準について A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

平成27年(2015)年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ―高中別― 【資料2②】

			高等学校全体					中学校全体				
	小項目	設 問（生徒対象） 20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.21	43.3	39.2	12.7	4.8	3.22	47.3	34.2	12.0	6.6
2		本校に入学して良かったと思いますか。	2.95	31.7	40.0	19.3	8.9	2.96	32.8	40.7	16.0	10.5
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	2.66	19.4	40.3	27.9	12.4	2.66	20.7	39.8	24.7	14.8
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	2.73	22.4	41.2	24.1	12.3	2.81	30.0	34.2	22.8	12.9
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	2.91	24.9	47.9	20.6	6.5	2.80	25.7	40.9	21.7	11.7
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指導を受けていますか。	2.97	27.9	46.7	19.8	5.6	2.97	33.7	38.0	20.3	8.0
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	2.82	22.1	46.4	23.3	8.2	2.86	24.9	47.3	17.2	10.6
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	2.86	25.7	41.5	25.6	7.1	3.07	41.1	33.7	17.1	8.0
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	2.99	31.6	42.0	20.1	6.4	3.05	36.9	40.6	13.7	8.9
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	2.95	28.0	45.3	20.1	6.6	2.81	26.6	40.4	20.9	12.0
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	2.87	26.1	43.9	21.0	8.9	2.75	25.9	39.3	19.7	15.1
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を受けていますか。	3.10	32.9	48.5	13.9	4.7	3.12	40.2	38.8	14.1	6.9
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.00	31.8	44.7	15.4	8.1	3.19	45.6	35.0	12.0	7.4
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.02	30.8	46.9	16.4	6.0	2.97	33.0	40.7	16.0	10.3
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	2.82	23.0	45.6	22.2	9.2	2.87	28.8	39.9	21.4	10.0
16	カウンセリング体制	必要なときは学校でカウンセリングを受けられることを知っていましたか。	2.88	35.9	31.7	16.9	15.5	2.82	42.3	22.6	11.7	23.4
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	2.91	27.0	45.0	20.1	7.8	2.68	21.4	41.1	22.6	14.9
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.06	35.6	42.4	14.3	7.7	2.88	30.2	38.2	20.8	10.8
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.12	38.7	41.7	12.5	7.0	3.07	38.4	39.0	13.8	8.9
20	校内外における教員研修	授業や面談を受けているときなど、先生自身もよく学んでいるなと感じますか。	2.87	25.7	46.0	17.9	10.3	2.80	26.2	41.2	18.7	13.8
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。	3.37	52.3	35.7	8.5	3.4	3.24	50.0	30.1	13.5	6.4

評価平均 2015年度 2.96

2.93

2014年度 2.90

2.89

2013年度 2.87

2.80

2012年度 2.82

2.93

評価基準について

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2015年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） ―3カ年の推移―

【資料2-3】

				2013年度					学年別評価			2014年度					学年別評価			2015年度					学年別評価			
分類	大項目	NO		小項目	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.23	44.7	38.9	11.4	5.0	3.07	3.25	3.37	3.25	44.3	39.9	12.0	3.8	3.09	3.22	3.48	3.21	43.3	39.2	12.7	4.8	3.07	3.15	3.41
		○	2		2.98	30.5	44.6	17.1	7.8	2.84	2.93	3.16	2.94	31.7	39.2	20.3	8.8	2.69	2.93	3.25	2.95	31.7	40.0	19.3	8.9	2.76	2.81	3.27
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	2.64	15.8	44.7	27.7	11.9	2.65	2.64	2.63	2.60	16.1	40.6	30.9	12.3	2.34	2.72	2.78	2.66	19.4	40.3	27.9	12.4	2.60	2.48	2.90
	情報公開	○	4	HPの活用	2.50	13.2	40.0	30.0	16.8	2.41	2.52	2.56	2.60	16.1	43.0	25.5	15.5	2.33	2.68	2.82	2.73	22.4	41.2	24.1	12.3	2.63	2.63	2.93
	危機管理		5	初動対応	2.79	18.7	49.5	23.8	7.9	2.77	2.75	2.85	2.86	22.9	47.0	23.5	6.6	2.65	2.94	3.01	2.91	24.9	47.9	20.6	6.5	2.81	2.83	3.10
		○	6	避難訓練や安全対策	2.91	24.8	47.1	22.0	6.1	2.79	2.95	2.98	2.90	25.3	45.8	22.4	6.6	2.63	2.99	3.10	2.97	27.9	46.7	19.8	5.6	2.87	2.85	3.19
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	2.74	16.5	49.3	25.6	8.6	2.67	2.70	2.85	2.73	20.0	42.4	28.7	8.9	2.46	2.82	2.95	2.82	22.1	46.4	23.3	8.2	2.76	2.61	3.09
		○	8	スローラーナーへの対応	2.69	19.7	40.6	29.1	10.6	2.83	2.54	2.71	2.76	22.2	40.4	28.5	8.8	2.56	2.83	2.92	2.86	25.7	41.5	25.6	7.1	2.85	2.60	3.12
		○	9	保護者との連携	2.92	27.6	43.3	22.6	6.4	2.97	2.92	2.88	2.96	29.7	43.9	19.1	7.3	2.72	3.05	3.13	2.99	31.6	42.0	20.1	6.4	2.93	2.87	3.17
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.92	25.6	47.8	19.9	6.7	2.88	2.89	3.00	2.92	27.7	45.1	19.1	8.1	2.68	3.00	3.12	2.95	28.0	45.3	20.1	6.6	2.85	2.84	3.15
		○	11	いじめへの対応									2.79	23.2	43.1	23.4	10.3	2.58	2.86	2.96	2.87	26.1	43.9	21.0	8.9	2.86	2.72	3.04
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.03	29.9	47.6	17.7	4.8	3.06	3.08	2.94	3.08	31.8	48.3	16.0	3.9	2.90	3.16	3.17	3.10	32.9	48.5	13.9	4.7	3.05	3.03	3.21
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	2.83	25.7	41.6	22.6	10.2	2.89	2.76	2.84	2.91	28.8	42.5	19.5	9.1	2.74	3.01	2.99	3.00	31.8	44.7	15.4	8.1	3.01	2.82	3.17
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	2.98	27.8	47.9	18.5	5.8	2.99	2.96	2.99	2.95	27.0	48.1	17.5	7.4	2.72	3.04	3.11	3.02	30.8	46.9	16.4	6.0	2.95	2.89	3.23
			15	家庭との連携状況	2.70	18.1	43.4	29.3	9.2	2.62	2.75	2.74	2.78	22.9	42.3	25.0	9.8	2.45	2.88	3.06	2.82	23.0	45.6	22.2	9.2	2.72	2.68	3.06
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	2.74	31.3	29.9	20.1	18.7	2.51	2.69	3.01	2.74	31.9	31.1	16.7	20.3	2.32	2.84	3.13	2.88	35.9	31.7	16.9	15.5	2.51	3.01	3.11
	進路指導		17	進路指導体制	2.84	23.4	46.1	22.1	8.5	2.79	2.88	2.87	2.87	25.8	44.0	21.0	9.1	2.58	2.95	3.11	2.91	27.0	45.0	20.1	7.8	2.78	2.76	3.20
	生徒会活動		18	部活動支援状況	2.98	32.0	42.7	16.5	8.8	2.91	3.03	2.99	3.02	32.6	44.4	15.2	7.7	2.77	3.07	3.25	3.06	35.6	42.4	14.3	7.7	2.95	2.90	3.32
			19	学校行事指導体制	3.11	35.2	45.9	13.6	5.3	3.10	3.12	3.10	3.14	38.4	43.2	12.2	6.2	2.92	3.22	3.29	3.12	38.7	41.7	12.5	7.0	3.09	2.94	3.33
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	2.85	23.9	45.5	22.1	8.5	2.83	2.88	2.83	2.86	27.3	42.2	19.9	10.7	2.48	3.01	3.12	2.87	25.7	46.0	17.9	10.3	2.74	2.71	3.16
その他	校内環境		21	学習環境	3.08	37.8	39.7	15.3	7.2	3.13	3.06	3.05	3.34	51.5	35.1	9.5	3.9	3.29	3.37	3.36	3.37	52.3	35.7	8.5	3.4	3.36	3.29	3.46

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4): と思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2015年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) ―3カ年の推移―

【資料2-4】

			2013年度(全学年)					学年別評価			2014年度(全学年)					学年別評価			2015年度(全学年)					学年別評価			
分類	大項目	NO	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	
学校生活	満足度	○ 1	3.06	34.2	44.4	14.2	7.1	3.17	3.13	2.85	3.20	43.0	39.0	13.1	4.9	3.23	3.16	3.22	3.22	47.3	34.2	12.0	6.6	3.36	3.15	3.25	
		○ 2	2.85	27.7	40.5	21.1	10.7	3.01	2.81	2.73	2.86	25.1	44.7	21.3	8.8	3.01	2.72	2.88	2.96	32.8	40.7	16.0	10.5	3.34	2.82	2.86	
学校運営	私学の独自性	○ 3	2.54	12.2	43.6	30.3	13.9	2.76	2.54	2.30	2.65	14.1	47.8	27.3	10.9	2.73	2.65	2.58	2.66	20.7	39.8	24.7	14.8	2.98	2.48	2.61	
	情報公開	○ 4	2.53	17.9	36.4	26.7	19.0	2.78	2.66	2.12	2.74	23.0	40.1	25.3	11.6	2.85	2.69	2.70	2.81	30.0	34.2	22.8	12.9	3.08	2.78	2.66	
	危機管理		5	2.66	19.2	41.8	24.5	14.6	2.78	2.68	2.50	2.83	24.1	44.6	21.4	9.9	2.94	2.78	2.78	2.80	25.7	40.9	21.7	11.7	3.06	2.69	2.75
		○ 6	2.87	26.9	44.3	18.0	10.8	2.93	2.96	2.71	2.92	27.0	46.4	18.8	7.8	2.88	2.89	3.01	2.97	33.7	38.0	20.3	8.0	3.06	2.89	2.99	
教育内容	知 育	○ 7	2.76	21.5	45.3	20.4	12.7	2.94	2.75	2.57	2.80	21.2	45.8	25.2	7.8	2.92	2.73	2.77	2.86	24.9	47.3	17.2	10.6	3.03	2.64	2.95	
		○ 8	3.03	36.8	39.3	13.7	10.2	3.10	3.11	2.86	3.03	33.9	42.0	17.1	7.0	3.11	2.84	3.16	3.07	41.1	33.7	17.1	8.0	3.20	3.04	3.04	
		○ 9	3.05	36.5	39.0	17.0	7.4	3.23	3.10	2.78	3.03	35.5	39.2	18.3	7.0	3.11	2.93	3.06	3.05	36.9	40.6	13.7	8.9	3.28	2.89	3.02	
	徳 育	○ 10	2.82	25.9	42.4	19.8	11.8	2.93	2.91	2.62	2.78	22.2	42.9	25.4	9.6	2.79	2.69	2.85	2.81	26.6	40.4	20.9	12.0	3.10	2.67	2.71	
		○ 11									2.63	16.5	43.8	25.8	13.9	2.63	2.56	2.70	2.75	25.9	39.3	19.7	15.1	2.99	2.60	2.74	
	体 育	○ 12	2.96	32.0	42.8	14.6	10.5	3.05	3.02	2.81	3.05	32.7	46.4	14.9	6.1	3.13	2.99	3.03	3.12	40.2	38.8	14.1	6.9	3.38	3.05	3.05	
	学校間連携	○ 13	3.02	33.4	43.0	16.2	7.4	3.15	3.03	2.88	3.18	40.6	42.6	11.0	5.8	3.19	3.15	3.20	3.19	45.6	35.0	12.0	7.4	3.37	3.12	3.17	
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	2.95	33.4	38.9	16.7	11.0	3.19	3.07	2.55	2.97	27.2	49.0	17.4	6.4	3.03	2.89	3.00	2.97	33.0	40.7	16.0	10.3	3.25	2.86	2.89
			15	2.73	22.3	40.9	24.5	12.4	2.90	2.85	2.42	2.85	26.2	42.3	23.0	8.5	2.94	2.81	2.82	2.87	28.8	39.9	21.4	10.0	3.20	2.68	2.78
	カウンセリング	○ 16	2.74	37.1	23.6	15.7	23.6	2.30	2.99	2.95	2.88	38.6	27.0	18.3	16.2	2.91	2.62	3.13	2.82	42.3	22.6	11.7	23.4	2.47	3.15	2.90	
	進路指導		17	2.61	18.7	39.9	24.5	16.8	2.81	2.63	2.37	2.66	18.4	42.6	26.5	12.5	2.64	2.59	2.75	2.68	21.4	41.1	22.6	14.9	2.87	2.54	2.77
	生徒会活動		18	2.56	21.6	35.6	20.3	22.5	2.70	2.64	2.34	2.65	21.3	39.1	23.0	16.6	2.70	2.59	2.66	2.88	30.2	38.2	20.8	10.8	3.16	2.82	2.77
			19	2.90	32.8	37.5	16.5	13.2	3.11	3.02	2.53	3.08	35.3	42.0	18.4	4.4	3.17	2.98	3.11	3.07	38.4	39.0	13.8	8.9	3.37	2.92	3.05
教員研修	教員の研修活動	○ 20	2.53	18.3	37.5	22.8	21.4	2.72	2.55	2.30	2.68	20.1	41.9	24.4	13.7	2.75	2.66	2.65	2.80	26.2	41.2	18.7	13.8	3.11	2.59	2.83	
その他	校内環境		21	2.92	36.3	33.8	14.9	14.9	3.07	3.00	2.65	3.12	42.1	34.9	17.0	6.0	3.29	2.92	3.19	3.24	50.0	30.1	13.5	6.4	3.40	3.25	3.19

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4: と思う 3: どちらかといえばと思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2015年度 授業評価分析資料(教科別)

2015年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国 語					社 会					数 学					理 科					英 語				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.21→3.30→3.33→3.30					3.35→3.32→3.28→3.37					3.08→3.18→3.17→3.30					3.33→3.35→3.24→3.43					3.25→3.28→3.25→3.33				
1	3.49	59.4%	31.8%	7.3%	1.5%	3.60	65.1%	30.2%	4.6%	0.2%	3.49	59.1%	32.5%	6.9%	1.5%	3.57	64.0%	30.1%	5.1%	0.8%	3.52	59.5%	34.3%	4.9%	1.2%
2	3.42	55.6%	33.1%	9.4%	1.9%	3.54	62.6%	30.2%	6.3%	0.9%	3.35	50.5%	36.1%	11.4%	2.1%	3.48	57.5%	33.7%	7.6%	1.2%	3.39	53.1%	34.6%	10.6%	1.6%
3	2.98	36.3%	34.9%	19.4%	9.4%	2.96	37.0%	31.3%	22.5%	9.1%	3.05	39.8%	34.0%	17.6%	8.5%	3.23	48.5%	30.4%	17.1%	4.1%	3.08	40.5%	33.6%	19.6%	6.3%
授業評価	3.40→3.46→3.53→3.38					3.57→3.54→3.52→3.58					3.27→3.33→3.36→3.43					3.50→3.52→3.36→3.57					3.47→3.52→3.42→3.49				
4	3.44	64.1%	21.5%	8.6%	5.8%	3.57	66.6%	25.4%	6.0%	2.0%	3.57	69.3%	22.3%	4.8%	3.6%	3.70	75.5%	19.7%	3.6%	1.2%	3.54	65.7%	25.7%	6.1%	2.6%
5	3.50	63.4%	26.9%	6.3%	3.4%	3.66	72.3%	23.0%	3.3%	1.4%	3.55	68.8%	21.5%	5.9%	3.8%	3.65	70.3%	25.6%	2.7%	1.4%	3.58	65.3%	28.4%	4.9%	1.3%
6	3.32	54.6%	28.6%	10.8%	6.0%	3.55	66.1%	24.6%	7.0%	2.3%	3.38	59.8%	25.3%	8.3%	6.6%	3.50	62.7%	26.8%	8.6%	1.9%	3.45	59.7%	28.2%	10.0%	2.2%
7	3.23	49.3%	31.4%	12.5%	6.8%	3.62	69.8%	24.1%	4.2%	1.9%	3.42	59.1%	28.9%	7.3%	4.7%	3.55	65.5%	26.2%	6.4%	1.9%	3.46	61.2%	26.9%	8.6%	3.3%
8	3.43	58.4%	30.2%	7.4%	3.9%	3.60	66.8%	27.8%	3.9%	1.6%	3.51	63.8%	26.8%	6.3%	3.0%	3.57	67.5%	23.9%	6.3%	2.4%	3.56	64.4%	28.9%	5.2%	2.8%
9	3.31	54.6%	28.1%	11.2%	6.2%	3.52	66.5%	22.3%	7.5%	3.7%	3.41	60.0%	26.4%	8.4%	5.3%	3.46	61.8%	26.4%	7.8%	4.1%	3.43	57.5%	30.8%	8.9%	2.8%
10	3.42	58.1%	30.0%	7.6%	4.4%	3.65	69.9%	26.1%	3.3%	0.7%	3.48	63.3%	25.5%	6.6%	4.6%	3.66	71.1%	24.8%	3.0%	1.0%	3.60	67.3%	26.7%	4.8%	1.1%
11	3.41	55.4%	33.2%	8.3%	3.2%	3.59	66.7%	27.0%	5.4%	0.9%	3.51	65.4%	23.8%	6.6%	4.1%	3.61	66.6%	28.5%	3.9%	1.0%	3.54	62.1%	31.1%	5.1%	1.6%
12	3.46	60.6%	28.8%	6.5%	4.0%	3.68	72.6%	23.6%	3.2%	0.7%	3.43	60.4%	26.5%	9.2%	3.9%	3.57	67.0%	25.0%	6.3%	1.7%	3.55	63.8%	28.7%	6.0%	1.5%
13	3.48	64.1%	24.1%	7.4%	4.3%	3.57	67.4%	23.8%	7.4%	1.4%	3.34	56.7%	26.8%	10.3%	6.2%	3.62	69.0%	25.3%	4.6%	1.2%	3.56	64.4%	28.9%	5.1%	1.5%
14	3.28	51.3%	31.3%	11.3%	6.1%	3.47	60.6%	28.6%	7.7%	3.0%	3.22	48.3%	32.0%	13.5%	6.2%	3.46	59.1%	30.1%	8.3%	2.5%	3.29	50.5%	31.4%	14.9%	3.2%
15	3.29	52.1%	31.8%	9.3%	6.8%	3.52	61.0%	32.0%	5.1%	1.9%	3.38	57.1%	29.5%	7.7%	5.6%	3.49	60.6%	31.3%	5.1%	3.0%	3.44	57.1%	32.3%	8.3%	2.3%
16	3.31	52.8%	31.0%	10.6%	5.5%	3.59	67.6%	25.8%	4.8%	1.8%	3.38	57.0%	29.2%	8.2%	5.5%	3.54	65.1%	25.8%	6.7%	2.4%	3.41	54.1%	34.8%	8.8%	2.3%

設問\評価	保健体育					芸 術					情 報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.32→3.56→3.59→3.56					3.10→3.36→2.90→3.31					3.50→3.63→3.61→3.74					3.38→3.44→3.30→3.62				
1	3.72	75.2%	22.2%	2.3%	0.3%	3.33	49.0%	35.8%	14.6%	0.7%	3.81	81.5%	17.8%	0.7%	0.0%	3.77	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
2	3.66	71.3%	24.2%	3.8%	0.7%	3.50	61.6%	29.1%	6.6%	2.6%	3.73	76.0%	20.5%	3.4%	0.0%	3.66	67.1%	31.6%	1.3%	0.0%
3	3.30	55.6%	24.4%	14.1%	5.9%	3.11	45.0%	29.1%	17.2%	8.6%	3.69	74.8%	20.4%	4.1%	0.7%	3.42	60.8%	25.3%	8.9%	5.1%
授業評価	3.41→3.63→3.66→3.62					3.02→3.18→2.95→3.06					3.43→3.34→3.34→3.80					3.57→3.47→3.60→3.78				
4	3.67	74.6%	19.7%	3.7%	2.0%	3.04	46.6%	25.7%	12.8%	14.9%	3.83	85.0%	12.9%	2.0%	0.0%	3.80	81.0%	17.7%	1.3%	0.0%
5	3.67	72.5%	23.3%	3.0%	1.2%	3.11	45.6%	30.2%	13.4%	10.7%	3.82	83.7%	15.0%	1.4%	0.0%	3.86	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%
6	3.57	66.2%	26.6%	5.5%	1.7%	2.89	35.8%	29.8%	22.5%	11.9%	3.77	78.9%	19.0%	2.0%	0.0%	3.80	79.7%	20.3%	0.0%	0.0%
7	3.53	65.3%	24.5%	7.7%	2.5%	3.00	37.1%	35.8%	17.2%	9.9%	3.78	80.3%	17.0%	2.7%	0.0%	3.53	64.6%	27.8%	3.8%	3.8%
8	3.68	73.7%	21.7%	4.0%	0.7%	3.23	46.4%	35.8%	12.6%	5.3%	3.81	82.3%	16.3%	1.4%	0.0%	3.76	77.2%	21.5%	1.3%	0.0%
9	3.63	70.9%	22.3%	5.7%	1.2%	3.18	44.4%	35.8%	13.2%	6.6%	3.82	83.7%	14.3%	2.0%	0.0%	3.87	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%
10	3.61	69.0%	24.3%	5.2%	1.5%	3.11	40.4%	37.7%	13.9%	7.9%	3.84	86.4%	11.6%	2.0%	0.0%	3.77	77.2%	22.8%	0.0%	0.0%
11	3.62	71.1%	21.4%	5.7%	1.8%	3.14	45.0%	31.1%	16.6%	7.3%	3.78	81.0%	17.0%	1.4%	0.7%	3.82	83.5%	15.2%	1.3%	0.0%
12	3.68	73.4%	22.2%	3.0%	1.3%	3.14	39.7%	40.4%	13.9%	6.0%	3.76	77.6%	21.1%	1.4%	0.0%	3.86	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%
13	3.54	66.2%	24.7%	6.3%	2.8%	2.87	27.3%	41.3%	22.7%	8.7%	3.78	79.6%	19.0%	1.4%	0.0%	3.73	75.9%	21.5%	2.5%	0.0%
14	3.58	67.6%	24.6%	5.9%	2.0%	3.12	45.0%	31.1%	14.6%	9.3%	3.78	81.6%	16.3%	0.7%	1.4%	3.81	82.3%	16.5%	1.3%	0.0%
15	3.60	68.5%	24.8%	5.2%	1.5%	3.04	37.1%	39.7%	13.2%	9.9%	3.82	83.7%	14.3%	2.0%	0.0%	3.74	75.6%	23.1%	1.3%	0.0%
16	3.64	70.7%	24.1%	3.3%	1.9%	2.93	33.6%	34.2%	24.2%	8.1%	3.77	78.8%	19.9%	1.4%	0.0%	3.81	80.8%	19.2%	0.0%	0.0%

※自己評価と授業評価
黄色の帯のところは、過去4年間の推移
2012年→2013年→2014年→2015年

※A～Dの数値は構成比
単位は%

2015年度 授業評価分析資料(高校・中学校別)

2015年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-2】

			高等学校					中学校				
No.	設 問	△は実習科目における設問	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
生徒自身の自己評価			自己評価平均値:3.42 (昨年 3.33)					自己評価平均値: 3.25(昨年 3.20)				
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。		3.60	66.6%	27.6%	4.9%	0.9%	3.42	51.9%	39.5%	7.5%	1.1%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。		3.48	59.2%	31.0%	8.4%	1.4%	3.43	54.6%	35.4%	8.2%	1.8%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。		3.18	46.1%	31.7%	16.4%	5.8%	2.90	35.2%	30.9%	22.6%	11.4%
教員に対する授業評価			授業評価平均値:3.52 (昨年 3.49)					授業評価平均値:3.42 (昨年 3.31)				
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。		3.63	72.1%	20.9%	4.4%	2.5%	3.36	57.6%	26.7%	9.9%	5.8%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。		3.59	68.6%	24.4%	4.8%	2.3%	3.57	66.7%	25.9%	4.7%	2.7%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。		3.45	62.0%	25.2%	8.8%	4.0%	3.42	57.0%	31.2%	8.8%	3.1%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。		3.50	63.3%	26.2%	7.3%	3.2%	3.28	51.4%	31.3%	11.1%	6.1%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。		3.59	67.9%	24.9%	5.0%	2.2%	3.43	56.2%	33.2%	8.0%	2.6%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。		3.39	59.2%	26.2%	9.4%	5.2%	3.48	59.7%	30.5%	7.6%	2.2%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。		3.66	73.6%	20.6%	4.5%	1.3%	3.40	57.4%	28.7%	10.6%	3.2%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に答えていましたか。		3.57	67.3%	25.1%	5.2%	2.4%	3.49	60.6%	30.2%	6.2%	2.9%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。		3.53	63.3%	28.4%	6.0%	2.2%	3.48	60.1%	30.8%	6.3%	2.8%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。		3.62	71.2%	21.4%	5.5%	1.8%	3.46	63.9%	22.7%	9.3%	4.2%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。		3.53	64.4%	26.5%	6.6%	2.2%	3.52	62.9%	28.5%	5.8%	2.7%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。		3.67	71.7%	24.0%	3.4%	4.4%	3.46	63.1%	24.8%	7.0%	5.1%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。		3.51	65.1%	24.3%	7.4%	3.3%	3.48	59.7%	31.6%	6.2%	2.6%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。		3.63	71.1%	22.5%	4.9%	1.6%	3.00	34.4%	39.1%	18.1%	8.4%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。		3.33	54.1%	29.4%	12.0%	4.6%	3.31	49.5%	35.7%	10.9%	3.9%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。		3.64	72.0%	21.8%	4.3%	1.8%	3.26	51.2%	30.2%	12.1%	6.5%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。		3.41	58.0%	29.8%	7.7%	4.6%	3.42	54.1%	36.4%	6.7%	2.8%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。		3.64	72.0%	21.4%	5.0%	1.6%	3.28	47.2%	39.4%	7.9%	5.6%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。		3.48	62.1%	27.1%	7.5%	3.3%	3.36	52.5%	34.9%	8.6%	4.0%